

豊岡市新文化会館整備基本構想

平成31年3月

豊 岡 市

目次

基本構想策定の背景

1	はじめに	1
2	基本構想策定の背景	1
3	基本構想策定の流れ	2

第1章 豊岡市新文化会館を取り巻く状況

1	文化振興の背景と動向	3
	(1) 国・県の文化政策の動向		
	(2) 文化芸術に関する社会的潮流		
	(3) 豊岡市における関連計画等		
2	豊岡市立文化会館の現状	10
	(1) 施設の現状		
	(2) 利用状況		
3	豊岡市の文化環境	18
	(1) 豊岡市内および周辺における文化施設等		
	(2) 豊岡市内における文化活動・関連事業等の現状		
4	市民意見・関係団体意見の集約	24
	(1) 市民ワークショップ		
	(2) 市民アンケート		
	(3) 関係団体等のヒアリング		
5	文化会館の再整備にあたっての留意事項	30
	(1) 文化会館をはじめとする市内文化施設の役割		
	(2) 新しい文化会館について		
6	市内文化施設の再整理と新文化会館の方向性	31

第2章 豊岡市新文化会館の基本的な考え方

1	豊岡市新文化会館の基本理念	32
	(1) 基本理念		
	(2) 基本的な役割		

第3章 豊岡市新文化会館に必要な機能と考え方

- 1 豊岡市新文化会館の施設の概要 …… 34
 - (1) 施設機能および構成
 - (2) 施設規模
 - (3) 駐車場
 - (4) 施設配置
 - (5) 施設整備における配慮事項
- 2 豊岡市新文化会館の建設地 …… 37

第4章 豊岡市新文化会館の管理運営の考え方

- 1 管理運営に関する考え方 …… 38
 - (1) 管理運営の基本的な考え方
 - (2) 組織
 - (3) 管理運営のシステムを構築
 - (4) 市民参加・市民協働に関する基本的な考え方
 - (5) 運営する上での収入確保方策の検討

基本構想策定の背景

1 はじめに

豊岡市は平成 17 (2005) 年に兵庫県北部但馬地域の円山川流域を中心とした旧 1 市 5 町 (豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町) が合併してできたまちです。各地域にはそれぞれ固有の優れた自然や歴史文化、産業があり、これらの集積によって多様な魅力を備えたひとつの都市圏が形成されています。

そうしたなかで、文化芸術活動については地域ごとに整備された施設を拠点として展開されてきた経緯があり、市全体でみた場合の効率性や公平性、各地域の資源や魅力の連携による豊岡市全体の大きな魅力づくりが求められています。

一方、社会全体に目を向けると、戦後高度成長期から平成の時代を通じてわが国の社会経済情勢は大きく変化し、核家族化や少子高齢化、バブル経済の崩壊やリーマンショック、相次ぐ風水害や震災等を経て、人々の価値観も多様化が進んでいます。IT 技術の発達に伴うグローバル化がますます加速するなかで、成長から成熟の時代に移行し、経済的・物質的な豊かさから環境や心の豊かさへと社会や人々の求めるものが変化しつつあります。

近年、国は心豊かな国民生活、活力ある地域社会の実現に向けて「文化芸術」の機会や環境の改善・整備を推進しています。豊岡市においては、人口減少や都市との格差拡大傾向の緩和を目指し、全国に先駆けて、豊富な資源を活用した環境との共生や文化芸術による地方創生「小さな世界都市」の実現に向けたまちづくりに精力的に取り組んでいます。

新しい文化会館は、旧市町で整備された豊岡市民会館と出石文化会館に代わり、これからの豊岡市の文化芸術活動の拠点となるものです。基本構想づくりにおいても、こうした点に留意しつつ検討を行いました。

2 基本構想策定の背景

豊岡市の文化創造の拠点である豊岡市民会館 (以下、「市民会館」という。) 及び出石文化会館 (以下、「ひぼこホール」という。) は、それぞれ昭和 46 年、平成 6 年に整備されました。開館以来、様々なアーティストによるコンサート等の芸術鑑賞の場や地元住民による音楽会や吹奏楽、芸能祭等、各種発表の場、各種集会や式典の会場として、さらには但馬地域における文化活動拠点として多くの人々に利用されてきました。

しかし、市民会館は開館から 47 年が経過、修繕を繰り返してきたものの施設本体・設備の老朽化が進行し、安全性や快適性、使い勝手やバリアフリー対応等、改修による対応が困難な様々な問題を抱えています。ひぼこホールも開館後 24 年が経過し、老朽化が著しく、引き続き安全性を確保することが難しい等の理由から平成 30 年 7 月末をもって惜しまれながらも閉館に至りました。

こうしたことから、両館のホール機能を統合する形で、新たな文化会館を整備することとなりました。

3 基本構想策定の流れ

基本構想の策定にあたって、市民アンケート調査や関連団体ヒアリング、市民ワークショップ等を通じて市民意見の収集を行い、新たな文化施設の整備を強く望む声をはじめとして、施設の運営や事業、各施設の性格や機能、立地など、多岐にわたるご意見をいただきました。

こうした幅広い市民意見・要望と共に、市民会館とひぼこホールの状況、市内外の公共施設の状況、全国の先進事例や最近の文化芸術に関わる動向などを踏まえ、「地域や世代を超えた交流を生み出し、豊岡市（但馬）の核となる施設」、「市民の生活をより豊かにする機会や場を提供し、豊岡市の魅力を次世代に繋ぎ、また、高め発信していく施設」として、新文化会館整備に向けた基本構想を策定しました。

第1章 豊岡市新文化会館を取り巻く状況

1 文化振興の背景と動向

(1) 国・県の文化政策の動向

市民会館、ひぼこホール両館の開館当時は、劇場やホールに関する法律は整備されていませんが、平成13年に、国は「文化芸術振興基本法」を制定し、文化芸術の振興に関する施策を総合的に推進するための基本理念を定めました。

平成24年には「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（劇場法）を制定し、劇場・音楽堂等の活性化を通じて、わが国の実演芸術の振興等を図り、心豊かな国民生活や活力ある地域社会を実現することとしました。さらには、平成29年に「文化芸術振興基本法の一部を改正する法律」として「文化芸術基本法」が施行されます。これは、文化芸術だけでなく、観光やまちづくり等その他の分野も取り込んで、文化芸術によって生み出されるさまざまな価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用しようとするものです。

平成30年には、障害者の個性と能力の発揮および社会参加を促進することを目的とした「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が制定されました。また、同年、国際文化交流の祭典の実施の推進に関して、心豊かな国民生活や活力ある地域社会の実現・世界の文化芸術の発展に貢献し、日本の国際的地位の向上に資することを目的とした「国際文化交流の祭典の実施の推進に関する法律」も制定され、文化芸術の力を、東京五輪を契機に生かしていこうとする動きも高まっています。

平成13(2001)年	文化芸術振興基本法制定
平成24(2012)年	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律
平成25(2013)年	劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取り組みに関する指針
平成26(2014)年	文化芸術立国中期プラン
平成27(2015)年	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針) 文化プログラムの実施に向けた文化庁の基本構想
平成29(2017)年	文化芸術振興基本法の一部を改正する法律(文化芸術基本法)
平成30(2018)年	障害者による文化芸術活動の推進に関する法律
平成30(2018)年	国際文化交流の祭典の実施の推進に関する法律

兵庫県においては、阪神・淡路大震災において、芸術文化が傷ついた人々の心を癒し、元気づけ、復興に向けた原動力となった経験を教訓として、平成16年に「芸術文化振興ビジョン」を策定しています。これは、「芸術文化立県ひょうご～芸術文化が暮らしに息づき、芸術文化で人や地域を元気にする社会～」の実現を目指して取り組むもので、平成27年には、これまでの成果を検証し、芸術文化を取り巻く近年の諸情勢の変化等を踏まえ、時代にふさわしい芸術文化の展開方向を示すために、ビジョンを改定しています。

また、平成17年には兵庫県立芸術文化センターを開館しています。

平成16(2004)年	芸術文化振興ビジョン(第1期ビジョン)
平成17(2005)年	兵庫県立芸術文化センター開館
平成27(2015)年	芸術文化振興ビジョン(改定)

(2) 文化芸術に関する社会的潮流

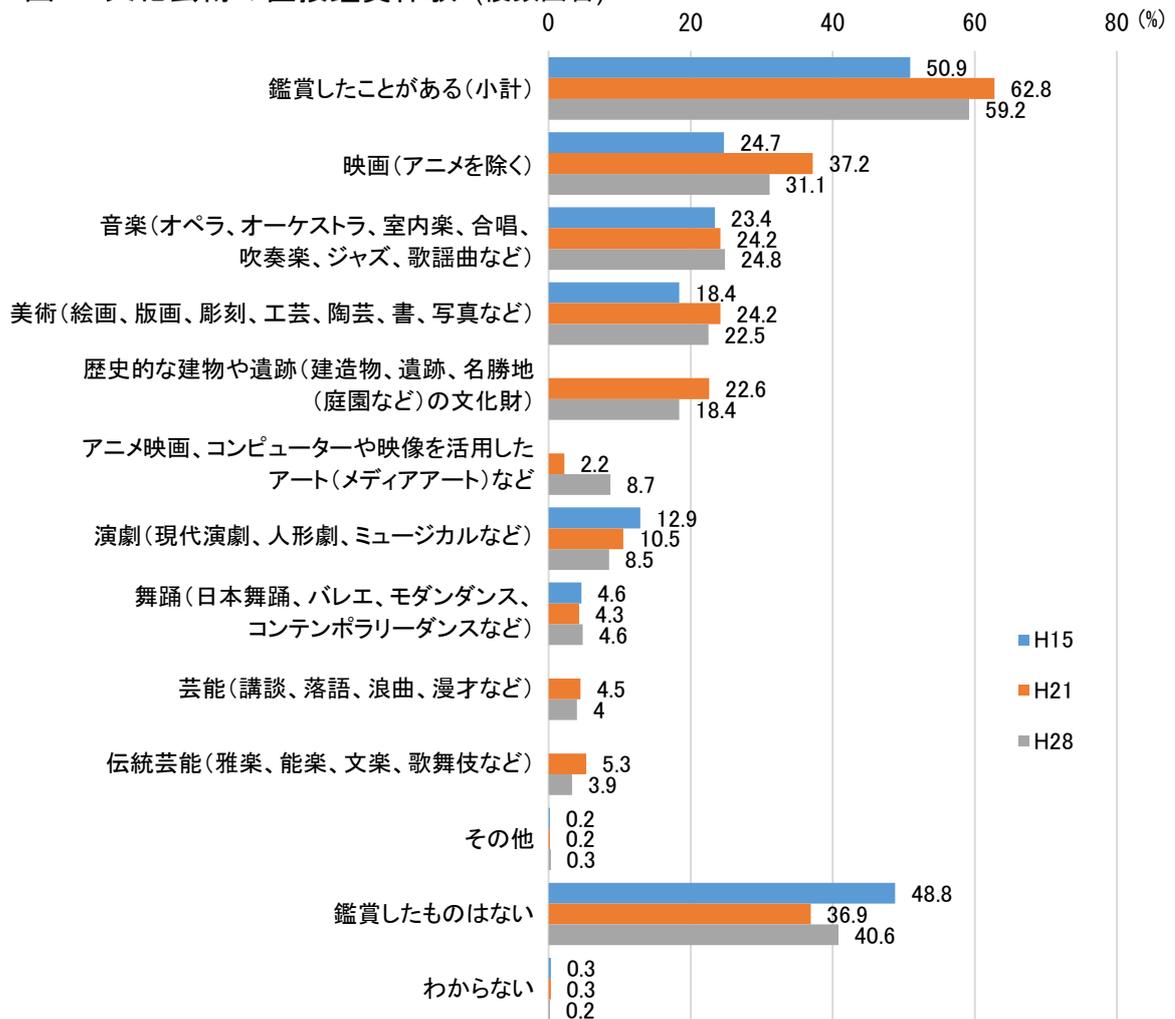
過去3回の内閣府による「文化に関する世論調査」によると、文化芸術を鑑賞した人の割合は、平成15(2003)年から平成28(2016)年にかけて10ポイント近く増加しています。ジャンルにより傾向が異なりますが、音楽は平成15(2003)年度から平成28(2016)年度まで連続して伸びています。(図1)

この傾向はライブ・エンタテインメント市場の動向からも明らかで、音楽関連の公演回数、動員数、市場規模のいずれも増加傾向を見せています。(図2図3)

一方、平成28(2016)年における鑑賞以外の文化活動を経験した人の割合は、鑑賞した人の割合の半分に届かず、芸術文化との関わり方は鑑賞主体であることが伺えます。(図4)

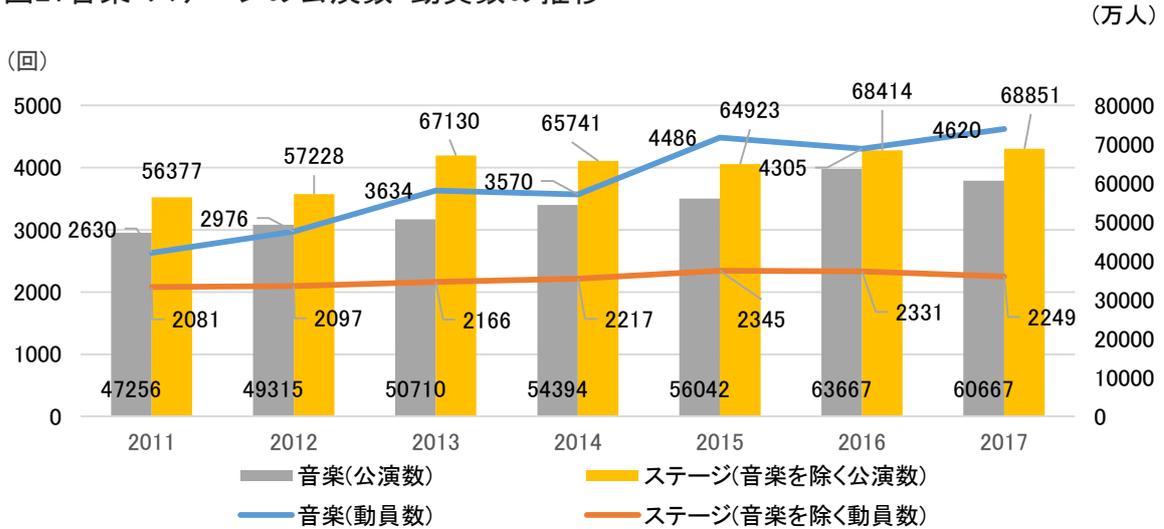
また、平成28(2016)年の調査では、文化芸術振興の効果として、「子どもの心豊かな成長」や「地域社会・経済の活性化」をはじめ様々な効果が挙げられており、社会における文化芸術の役割に対する高い評価を示唆しています。(図5) さらに「子どもの芸術文化体験の効果(図6)」として、「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」など、子どもの教育における様々な効果が認められています。

図1：文化芸術の直接鑑賞体験（複数回答）



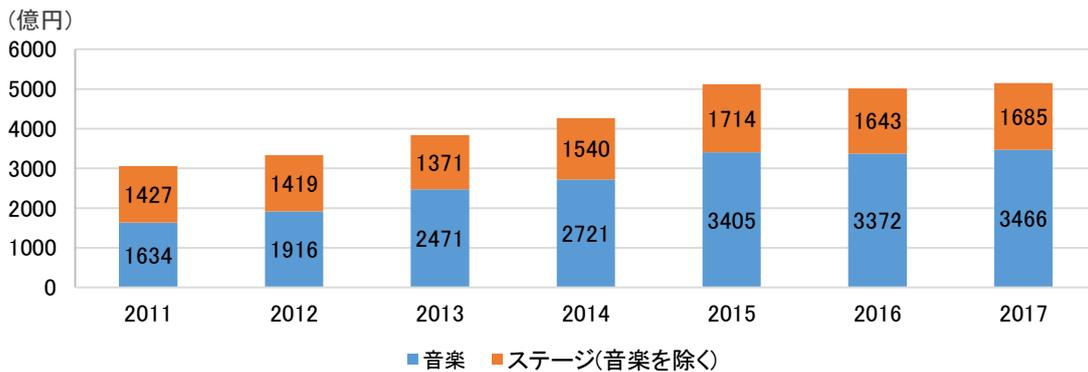
参照：平成15・21・28年度「文化に関する世論調査(内閣府)」

図2: 音楽・ステージの公演数・動員数の推移



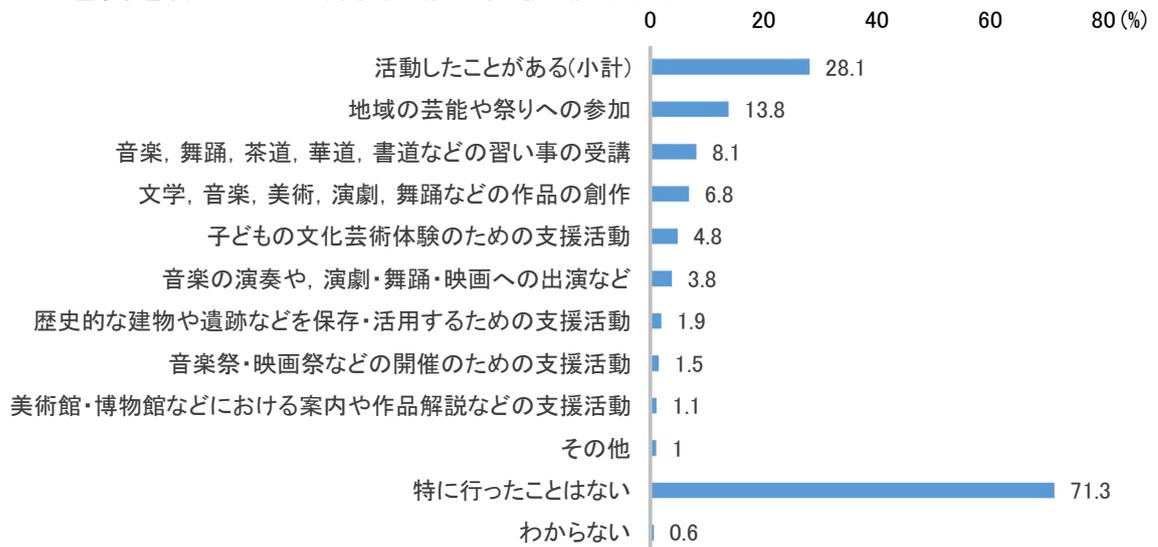
参照:「2018 ライブ・エンタテインメント白書」

図3: 市場規模の推移



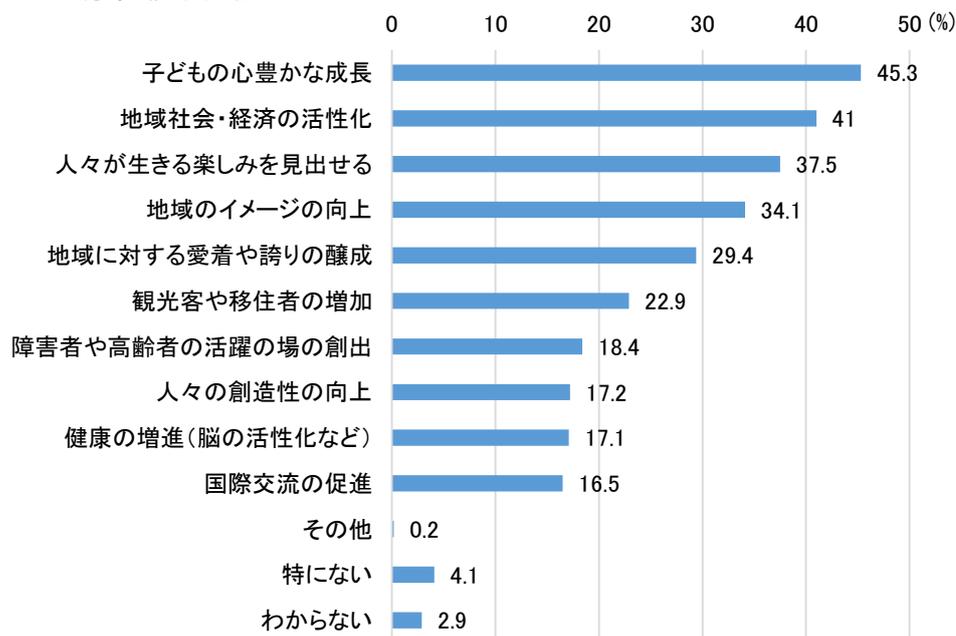
参照:「2018 ライブ・エンタテインメント白書」

図4: 鑑賞を除く文化芸術活動の経験(複数回答)



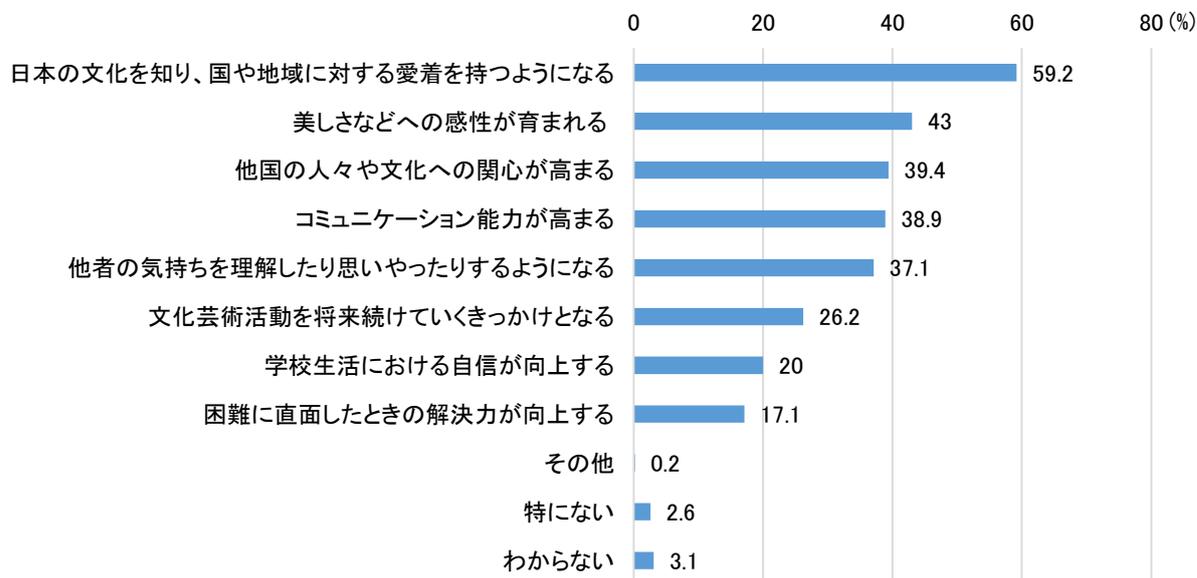
参照:平成 28 年度「文化に関する世論調査(内閣府)」

図5: 文化芸術振興による効果(複数回答)



参照: 平成 28 年度「文化に関する世論調査(内閣府)」

図6: 子どもの文化芸術体験の効果(複数回答)



参照: 平成 28 年度「文化に関する世論調査(内閣府)」

(3) 豊岡市における関連計画等

豊岡市新文化会館に関連する計画として、次のものがあります。(要旨抜粋)

【基本構想・市政経営方針】

○豊岡市基本構想(2018年度～2029年度)

基本構想は、長期目標である「命への共感に満ちたまち」を実現していくに当たり、まちの将来像並びにその実現のための重点的な課題および取組みの方向を示す当面の12年間の指針としている。

○豊岡市市政経営方針(2018年度～2021年度)

市政経営方針は、基本構想に定められたまちの将来像「小さな世界都市」を実現するための重点的な政策およびその戦略的な進め方を示す当面の4年間の方針である。

基本構想におけるめざすまちの将来像
<p>小さな世界都市 - Local & Global City -</p> <p>人口規模は小さくても、ローカルであること、地域固有であることを通じて世界の人々から尊敬され、尊重されるまち</p>
手段と取組方針(抜粋)
<p>地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている</p> <p>(1) 伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている</p> <p>ア 地域固有のもの(こと)に価値があることが認識されている</p> <p>イ 地域資源の価値が高まっている</p> <p>ウ 地域資源の価値の保全や再生の活動が活発になされている</p> <p>(2) 地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている</p> <p>ア 官民連携による新たなツーリズムが生まれている</p> <p>イ 地域間や産業間のつながりが深まっている</p> <p>ウ 必要な情報がターゲットに届いている</p> <p>優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる</p> <p>(1) 優れた文化芸術に身近に触れられる環境が整っている</p> <p>ア 優れた文化芸術が暮らしの中に受け入れられている</p> <p>イ アーティストを応援する風土が育っている</p> <p>(2) 文化芸術による交流が盛んになっている</p> <p>ア 地域の伝統文化が守られている</p> <p>イ 文化芸術と観光の親和性が理解されている</p> <p>ウ 他の観光資源とつながり、まちの魅力が高まっている</p>

【歴史・文化・芸術に関する計画等】

○豊岡市歴史文化基本構想(2017年度～2026年度)

豊岡市歴史文化基本構想は、世界に誇る豊岡市の歴史文化遺産を守り、活かすための、当面10年間のマスタープランである。

基本テーマと方針
<p>“楽しみ”が未来へ伝える ふるさと豊岡の宝もの</p> <p>方針1: 発見・学びを楽しむ 方針2: 楽しみながら、ともに育む 方針3: 活かす楽しみを高め、広げる</p>
取り組みの進め方
<p>“楽しみ”づくりに「地域コミュニティ組織」を活かす 「地域コミュニティ組織」を基本単位とし、「豊岡の宝もの」を活かしたまちづくりに取り組みます</p> <p>“楽しみ”をタテとヨコに広げる 次世代(タテ)に引き継ぐ取り組みと、地域内外(ヨコ)への広がりをつくる取り組みを進めます</p> <p>“楽しみ”を通じて、さまざまな担い手が連携・協力する 市民や行政などが「豊岡の宝もの」を“楽しむ”ための役割を認識し、互いに連携・協力して取り組みを進めます</p>

○豊岡市文化芸術振興計画(2018年度～2023年度)

豊岡市文化芸術振興計画は、市民、各種団体、行政等の役割を明確にし、新たな文化の創造と文化芸術活動を生かしたまちづくり・ひとつづくりにつなげることを目的とした豊岡の文化芸術振興の指針である。

戦略目的
<p>文化芸術による「小さな世界都市」の実現</p> <p>豊岡で優れた文化芸術を創造し、その魅力を発信することで、世界の人々から尊敬され、尊重されるまちを目指し、その取組みを地方創生の核となる若い世代を中心に伝えていくことで、人口減少対策とする</p>
戦略目的達成のための主要ターゲット
<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生の核となる次世代を担う子どもたち ・高校生をはじめとする若い世代（UI ターン希望者を含む） ・子育て世代
主要手段と具体的手段
<p>主要手段① 地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている</p> <p>具体的手段1 伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている 具体的手段2 地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている</p> <p>主要手段② 優れた文化芸術が創造され、発信されている</p> <p>具体的手段1 優れた文化芸術に身近に触れている 具体的手段2 豊岡の優れた文化芸術が内外に知られている</p> <p>主要手段③ 文化芸術による交流が盛んになり、豊岡の魅力が高まっている</p> <p>具体的手段1 文化芸術による交流を通して、文化芸術に携わる人が増えている 具体的手段2 文化芸術による交流を通して、多様性を受け入れ、支え合う風がまちに満ちている</p> <p>主要手段④ 子どもたちが優れた文化芸術に触れ、豊岡で世界と出会っている</p> <p>具体的手段1 子どもたちが優れた文化芸術に身近に触れている 具体的手段2 豊かな表現力を身に付けた子どもたちが増えている</p>

【まちづくりに関する計画】**○豊岡市公共施設再編計画（2016年度～2025年度）**

大規模イベントも可能な市民会館や市独自の文化活動（世界の舞台芸術に触れる）を展開する城崎国際アートセンターは機能維持する。ただし、市民会館については、管理運営のあり方を見直し、有効活用を図る。その他の文化施設については、ホールの稼働率や各館で実施している催しにおけるホールの必要性、機能分担等を検証し、将来的な廃止を含めた施設のあり方を検討する。

○豊岡市立文化会館等個別施設計画(2018年～2025年)

市民会館は築後47年が経過し、法定耐用年数を超過、老朽化による不具合等が目立つ状況である。ひぼこホールは築後24年が経過し、大規模な改修は行っていないことから、老朽化等による施設や設備に不具合が生じ、特に、屋根・外壁は、経年劣化により落下・剥落の危険性が高く、人的被害につながる可能性がある。従って、市民会館及びひぼこホールを廃止し、新たに文化会館を整備する。また、ひぼこホールが担っていた機能の一部（小ホール）の移行を検討する。

【健康・福祉に関する計画】**○豊岡市障害者福祉計画**

本計画の理念でもある「コウノトリとともに、すべての人が自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり」を実現するための施策のひとつとして、「スポーツ・文化活動の推進」を掲げており、レクリエーション及びスポーツ大会の開催などを通じて、障害のある人同士や住民の交流を促進し、兵庫県障害者作品展への出展を促すなど、絵画、写真などの趣味や自主的な文化活動への意欲向上を図り社会参加を促進するとしている。

【防災・安全に関する計画等】**○豊岡地域防災計画**

市民会館、市民プラザ、日高文化体育館は、風水害・地震の指定緊急避難場所として指定されている。

指定緊急避難場所とは、災害から逃れるために緊急的に避難する場所であり、指定避難所とは、災害時に被災した住民等を一定期間滞在させるための施設をいう。

2 豊岡市立文化会館の現状

(1) 施設の現状

ア 市民会館

市民会館は、JR 豊岡駅の東方 1.1km の戸牧川沿いの中央公園内にあり、市役所や市民プラザを含む商業施設に程近い位置にあります。

施設は 1,118 人収容の大ホールと、複数の会議室や練習室等を有し、昭和 46 (1971) 年の開館以来、多くの市民等に親しまれ、文化芸術活動の拠点として広く利用されてきました。

開館以来、必要に応じて修繕を繰り返してきましたが、建設から 47 年が経過し、建物の経年劣化や舞台特殊設備の劣化・陳腐化が著しく利用者の安全性の確保が難しいこと、時代とともに建物・ホールに求められる基本性能が向上する中で、これらへの対応が難しく使いづらいこと、開館後に定められた現行法規に適合していないことなどを理由に新たな文化会館として整備することとしています。

【位置図】



【施設概要】

場 所	豊岡市立野町 20-34	施設機能	文化ホール	1,118 席
用途地域	都市計画公園内		楽屋(3室)	—m ²
建 設 年	昭和 46(1971)年		リハーサル室	163 m ²
敷地面積	8,000 m ²		多目的室	104 m ²
建築面積	2,610 m ²		大会議室	213 m ²
延床面積	6,464 m ² (歩道橋含む)		中会議室	63 m ²
構造階数	RC 造、地上4階地下1階		第1小会議室	31 m ²
ホール形式	プロセニウム形式		第2小会議室	60 m ²
舞 台	W17×D9.3×H7.2(m)		談話室(和室)	27 畳
管理運営	直営		青少年婦人室	42 m ²
駐 車 場	120 台	ギャラリー1	85 m ²	
		ギャラリー2	58 m ²	
		講座室	65 m ²	
		和室	10 畳	

【市民会館の課題】

建物の経年劣化
・屋上からの漏水により、壁面の塗膜剥離やコンクリート劣化が発生
・電気設備や空調・給排水設備の機器や配線配管等の耐用年数が迫る
舞台特殊設備の劣化・陳腐化
・吊物機構の間隔が狭く(音響反射板を増設したため)使いにくい
・照明音響機器が古く、生産や部品供給ができないものがある
・吊物昇降が手引き、照明音響卓の型式が古い等、演出に制限がある
建物・ホールとしての基本性能不足、使いづらさ
・ホールのステージが狭い、空調の音が大い、扉の遮音性能が低い
・舞台照明の管理動線がタラップのみで危険
・バリアフリー環境不備(ホール棟の EV 不備、地下駐車場と建物入口の高低差等)
・駐車場進入路、舞台搬入口付近の通路が急勾配で使いづらい、など
現行法令に適合していない
・特定天井、防火区画不備、避難出口幅不足、など

老朽度調査報告書(平成 30 (2018) 年)より

【これまでの市民会館の修繕概要】

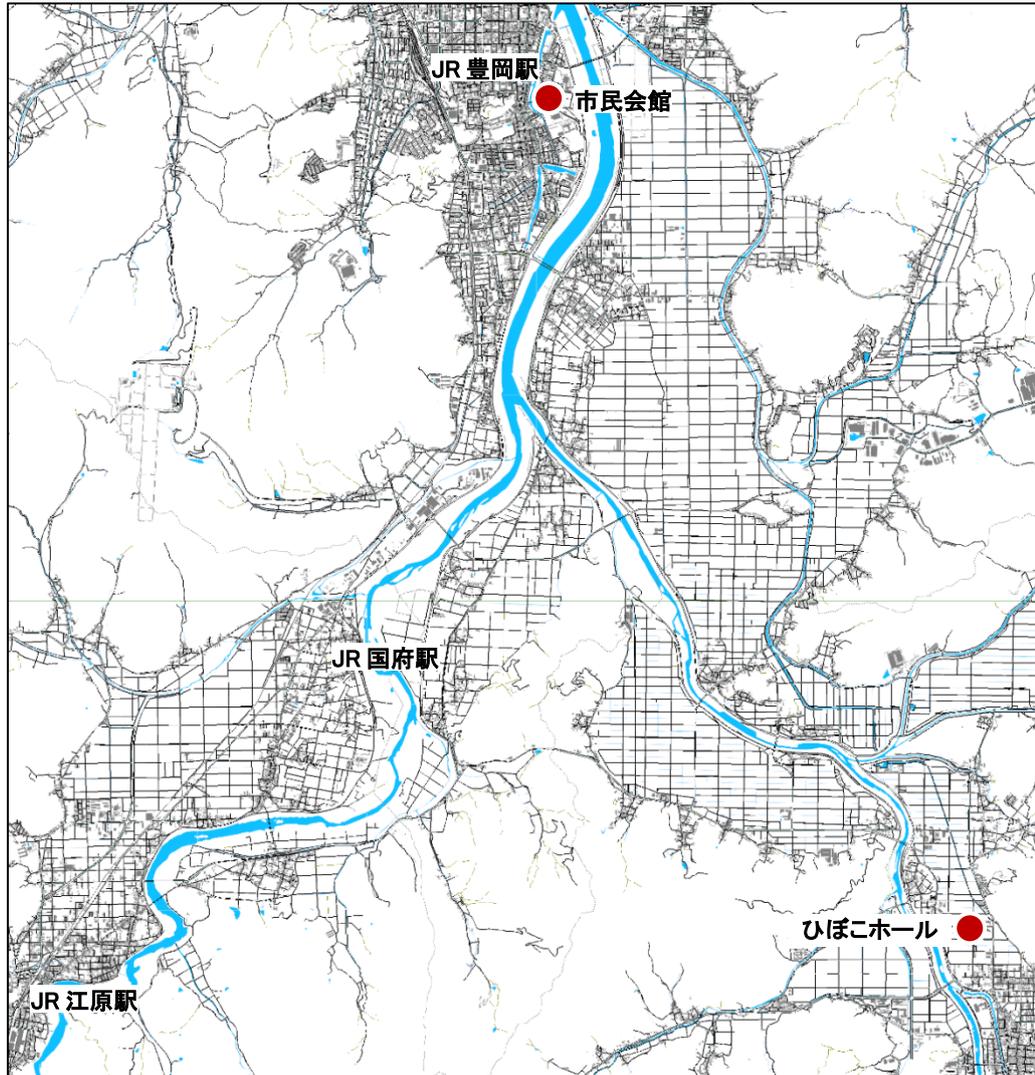
年度	建築	一般設備	ホール、舞台特殊設備等
昭和49年度 ～53年度	救助袋設置場所手摺等 展示パネル吊用レール取付 歩道橋手摺 会館地下補修	ホール棟非常用照明 ばい煙監視装置取付 上水ポンプ滅菌器	
昭和54年度 ～58年度	身体障害者用ホール改良 屋上防水修繕	高架水槽取替 積算電力記録計設置	
昭和59年度 ～63年度	屋上防水修繕 手摺補修 階段上部床取付 ピアノ格納庫新設	会館排水設備設置 ボイラーバーナー取替 給水管引込 暖房温水機取替工事 給水管改修 消防設備改修 排水路整備 エレベーター防災安全装置取付	舞台音響改良改修 側面反響板昇降装置
平成元年度 ～5年度	歩道橋・階段補修 駐車場整備	駐車場等外灯設置 ターボ冷凍機オーバーホール 冷却塔更新 汚水管切替 事務所内部改修 自動ドア設置 非常照明改修	文化ホール椅子取替
平成6年度 ～10年度	駐車場車止め 外壁改修 機械室防水扉取付 コウトリレリーフ設置	消防設備改善改修 ワイヤレスシステム取替 リハーサル室設備設置 空調設備改修 熱交換器取替	ホール音響設備 舞台照明改修
平成11年度 ～15年度	旧図書館改修 バリアフリー改修 会館維持補修	温水ボイラー補修 高架水槽補修 エレベーター入替 高圧配電盤取替	舞台吊物装置等改修 舞台床張替
平成16年度 ～20年度	災害復旧 天井内アスベスト除去		ホール棟改修
平成22年度 ～25年度	東側スロープ通路新設 西側駐車場舗装 耐震リニューアル改修工事	障害者対応トイレ改修	音響改修
平成26年度 ～29年度	耐震リニューアル改修工事	空調用循環ポンプ・劣化部品取替 ホールエアハンユニット整備 給水管漏水修繕 非常用発電機PCヒューズ交換 連絡道街路灯修繕	調光操作卓部品交換 吊物一部改修 舞台照明一部改修

イ ひぼこホール

ひぼこホールは、JR 江原駅から 8.4km ほどの出石市街地からはやや離れた場所にあり、平成 6（1994）年の開館以来、出石および周辺地域住民の文化活動拠点として親しまれてきました。特徴的なデザインの建物で、490 席の大ホールと大ホールの舞台袖に続く小ホール、別棟の多目的ホール等により構成されています。

平成 29（2017）年に実施された老朽度調査で、建物自体の大規模改修が必要なこと、多くの設備・機器類が更新・交換時期を迎えていることが判明し、機能を回復し今後 20 年間維持するためには、当初の建設費に近い約 16.4 億円が必要であることが判りました。「公共施設再編計画（平成 28 年）」では、使用不能と判断した段階で廃止を検討するとしており、平成 30 年 12 月末をもって施設を廃止しました。

【位置図】



【施設概要】

場 所	豊岡市出石町水上 318	施設機能	大ホール	490 席
建 設 年	平成 6(1994)年		小ホール	126.8 m ²
用途地域	なし(都市計画区域外)		ギャラリー	512.6 m ²
敷地面積	18,133 m ²		楽屋 1	14.8 m ²
建築面積	2,094 m ²		楽屋 2	27.2 m ²
延床面積	2,661 m ²		楽屋 3	35.5 m ²
構造階数	RC 造、地上4階地下1階		多目的ホール	403.5 m ²
ホール形式	プロセニウム形式		多目的室	15.6 m ²
舞 台	W12×D10×H7(m)			
管理運営	直営			
駐 車 場	普通車 217 台 大型 8 台			

【ひぼこホールの課題】

建物の経年劣化
・屋根の落下、剥落の危険性大。漏水箇所あり
・外壁等の劣化が進行し、剥落の危険性あり
一般設備の劣化
・受変電設備、非常用電源設備が更新時期
・屋外庭園灯が破損
・機械室が台風等で水没しやすく、劣化を防ぐため機器の移設が妥当
舞台特殊設備の劣化
・舞台機構設備(ワイヤー、滑車、バトン金具等)が交換時期
・舞台照明・音響設備の機器類が生産終了のため部品交換不能でトラブルに対応できない(全面的な入れ替えが必要)
現行法令に適合していない
・特定天井に該当
・バリアフリー環境不備

老朽度調査報告書(平成 29 (2017) 年)より

(2) 利用状況

ア 市民会館

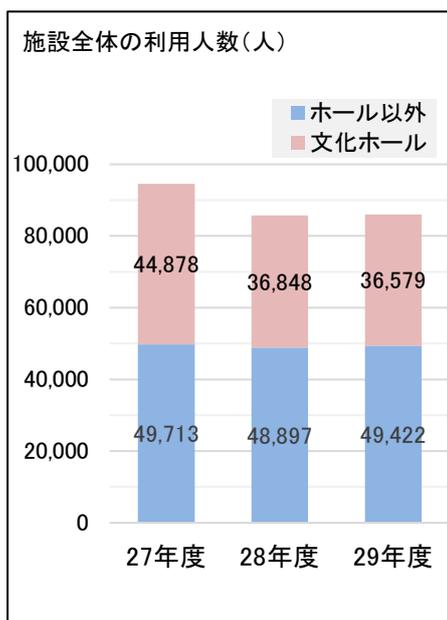
直近3年の利用人数を比較すると、施設全体で平成27年度(94,591人)から平成29年度(86,001人)にかけて減少傾向にあることが分かります。これは、大ホールの利用人数の減少が原因にあり、(平成27年度44,878人、平成28年度36,848人、平成29年度の36,579人となっている。尚、平成28・29年度に一部改修工事を実施している。)その他の諸室については、49,000人前後とほぼ横ばいで推移しています。

稼働率を見ると、文化ホールは34.9%と決して高いとは言えない数値となっています。一方で、大会議室や講座室、青少年婦人室の大中規模の諸室については、50%以上の稼働率となっています。

団体種別において、利用件数が最も多いのは「行政・市民会館」による利用で、学校、企業・団体が続いています。

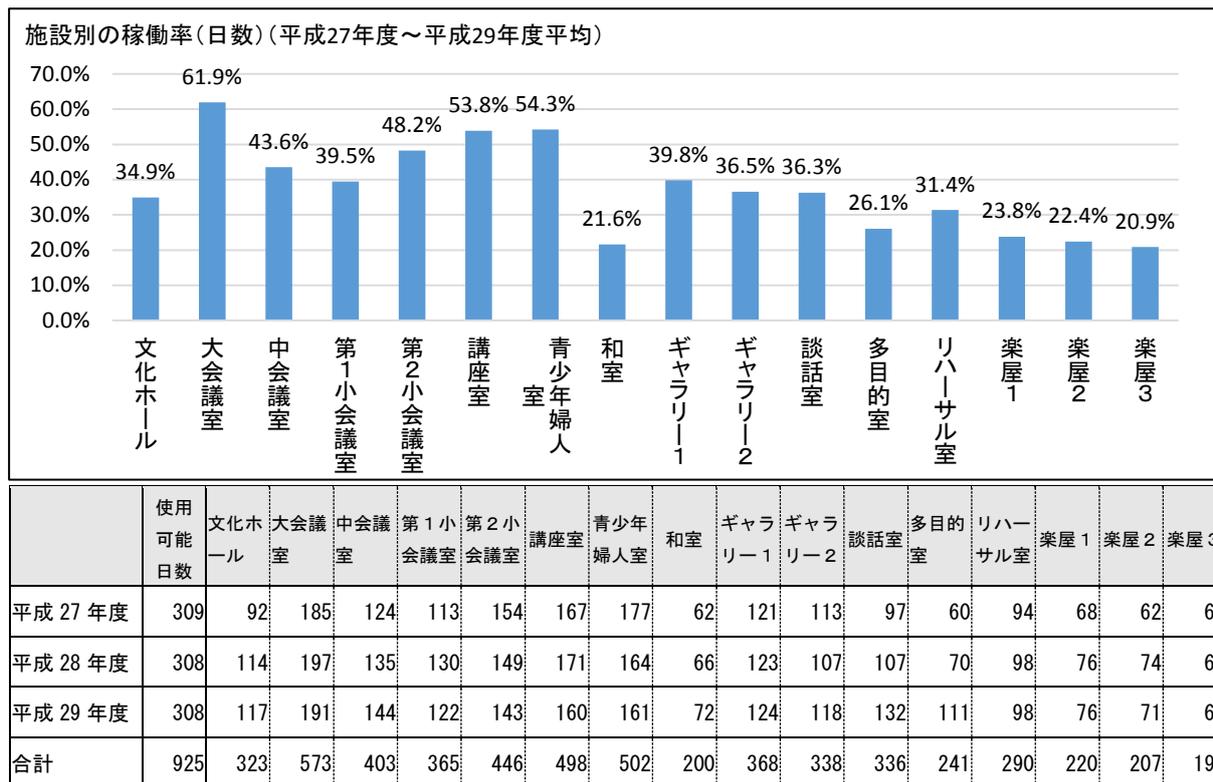
利用ジャンルは、音楽や演劇、ダンス等(公演・発表会)が4割を占めています。本番数に対して練習、準備・撤去日の日数は約半数、本番1回あたりの利用人数は、行政・市民会館の利用を除くと平均約760人で、利用人数がホール定員いっぱいなることはほとんどないことが分かります。

【利用人数】



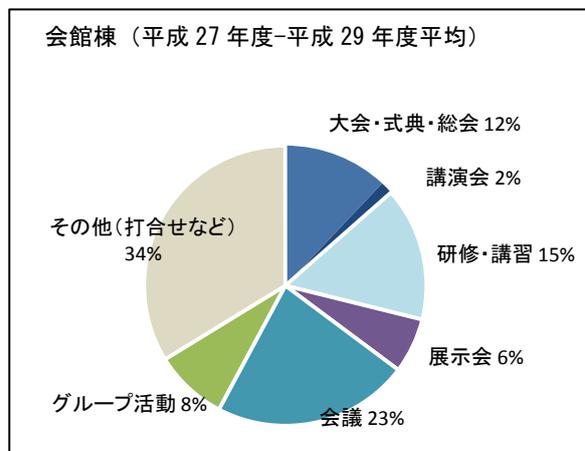
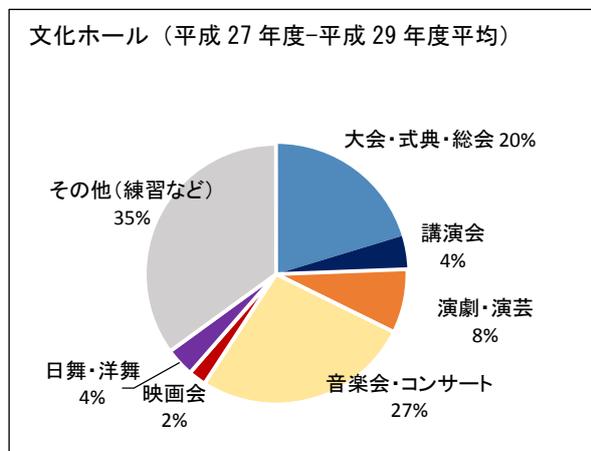
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平均
文化ホール	44,878	36,848	36,579	39,435
リハーサル室	5,038	3,501	3,103	3,881
楽屋	6	2	186	65
大会議室	15,472	15,446	15,041	15,320
中会議室	3,798	3,786	4,087	3,890
第1小会議室	1,546	1,160	1,169	1,292
第2小会議室	1,999	1,772	1,873	1,881
講座室	3,903	3,865	3,360	3,709
青少年婦人室	3,186	3,474	2,842	3,167
和室	834	674	407	638
ギャラリー1	5,102	6,233	6,460	5,932
ギャラリー2	5,080	5,868	6,267	5,738
談話室	1,096	1,032	1,471	1,200
多目的室	2,653	2,084	3,156	2,631
ホール以外 計	49,713	48,897	49,422	49,344
合計	94,591	85,745	86,001	88,779

【利用日数及び稼働率／日】



※使用可能日数には、点検日を含む

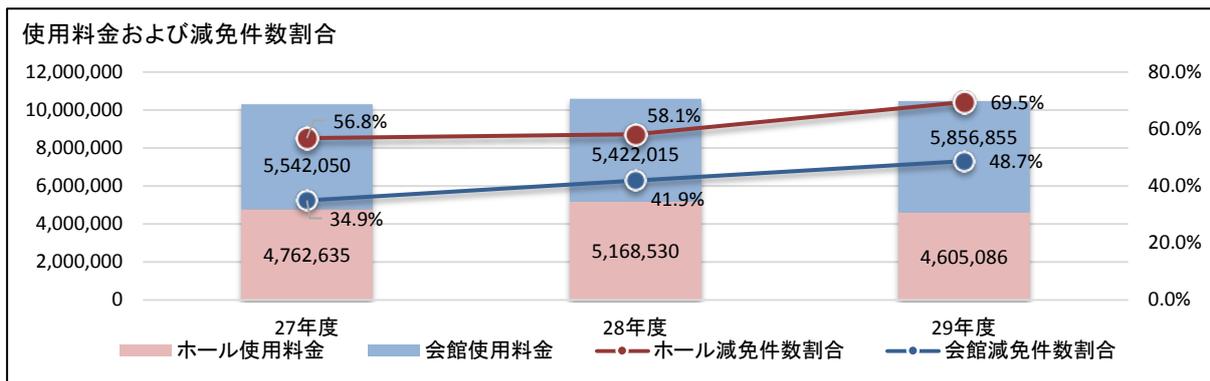
【ジャンル別利用状況】



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
大会・式典・総会	27	25	22	25
講演会	7	5	3	5
演劇・演芸	14	7	8	10
音楽会・コンサート	21	42	35	33
映画会	6	0	2	3
日舞・洋舞	1	4	8	4
その他(練習など)	24	35	69	43
合計	100	118	147	123

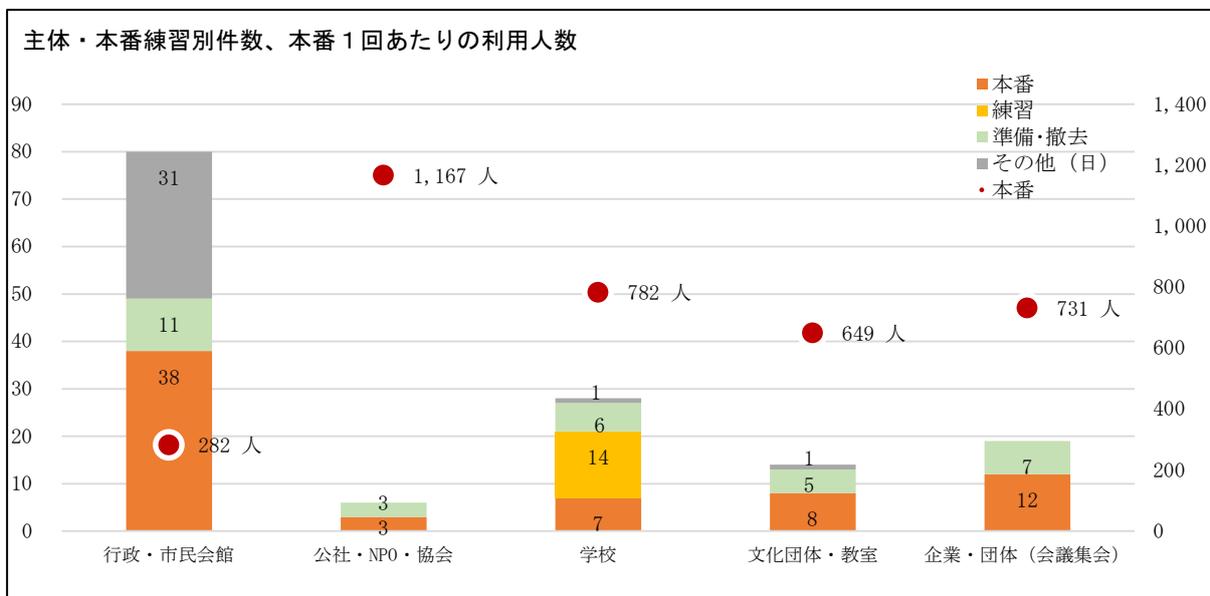
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
大会・式典・総会	188	212	195	198
講演会	27	28	17	24
研修・講習	275	235	254	255
展示会	119	98	97	105
会議	373	380	362	372
グループ活動	248	91	78	139
その他(打合せなど)	365	577	732	558
合計	1,595	1,621	1,735	1,651

【使用料金】



		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平均
ホール	使用件数	199	215	262	225
	うち減免件数	113	125	182	140
	ホール減免件数割合	56.8%	58.1%	69.5%	62.2%
	ホール使用料金	4,762,635	5,168,530	4,605,086	4,845,417
会館	使用件数	1,496	1,524	1,620	1,547
	うち減免件数	522	638	789	650
	会館減免件数割合	34.9%	41.9%	48.7%	42.0%
	会館使用料金	5,542,050	5,422,015	5,856,855	5,606,973
合計	使用件数	1,695	1,739	1,882	1,772
	うち減免件数	635	763	971	790
	減免件数割合	37.5%	43.9%	51.6%	44.6%
	使用料金	10,304,685	10,590,545	10,461,941	10,452,390

【文化ホールの利用団体・催し種別の利用件数／人数(平成 29 年度)】



	件数(=日数)					計	人数				人数(1回あたり)			
	本番	練習	準備 撤去	その他			本番	練習	準備 撤去	その他	本番	練習	準備 撤去	その他
行政・市民会館	38	0	11	31	80	10,710	0	1,045	128	282	0	95	4	
公社・NPO・協会	3	0	3	0	6	3,500	0	80	0	1,167	0	27	0	
学校	7	14	6	1	28	5,473	696	360	18	782	50	60	18	
文化団体・教室	8	0	5	1	14	5,190	0	349	120	649	0	70	120	
企業・団体(会議集會)	12	0	7	0	19	8,768	0	142	0	731	0	20	0	
計	68	14	32	33	147	33,641	696	1,976	266	495	0	62	0	

イ ひぼこホール

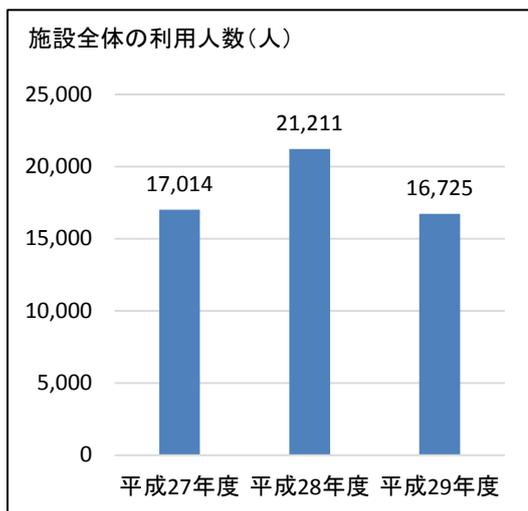
直近3年の利用人数を比較すると、施設全体で平成27年度(17,014人)、平成28年度(21,211人)、平成29年度(16,725人)となっています。その内訳を見ると、大ホールの利用人数は減少傾向にありますが、小ホールおよびその他の諸室の利用人数は総じて増加傾向にあります。

施設別の利用回数を見ると、小ホールの利用回数が最も多く、大ホールの利用回数は小ホールの半分程度となっており、稼働率は24%に留まっています。

団体種別において利用件数が最も多いのは「文化団体・教室」で、次いで、行政、学校、企業・団体が並んでいます。

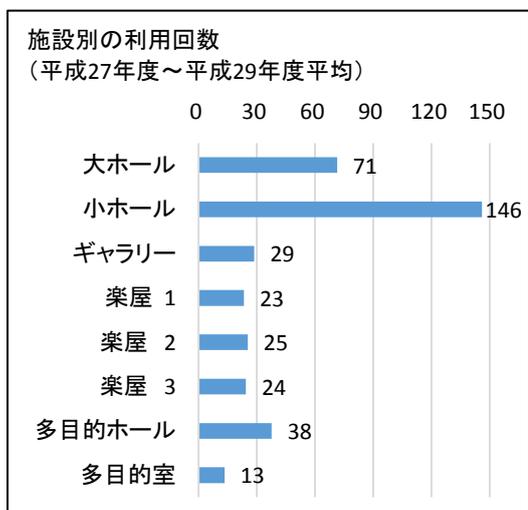
利用ジャンルは、合唱やバンドなどの練習が含まれる「その他」が約7割を占めています。本番数に対して練習、準備・撤去日の日数は半数以上、本番1回あたりの利用人数は、平均して約200人となっています。

【利用人数】

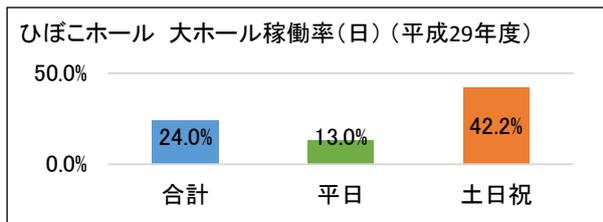


	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
大ホール	13,645	12,109	8,806	11,520
小ホール	2,611	3,675	3,074	3,120
ギャラリー	312	931	1,181	808
楽屋 1	0	161	137	99
楽屋 2	0	396	447	281
楽屋 3	0	461	517	326
多目的ホール	414	3,313	2,445	2,057
多目的室	32	165	118	105
合計	17,014	21,211	16,725	18,317

【利用回数および稼働率/日】

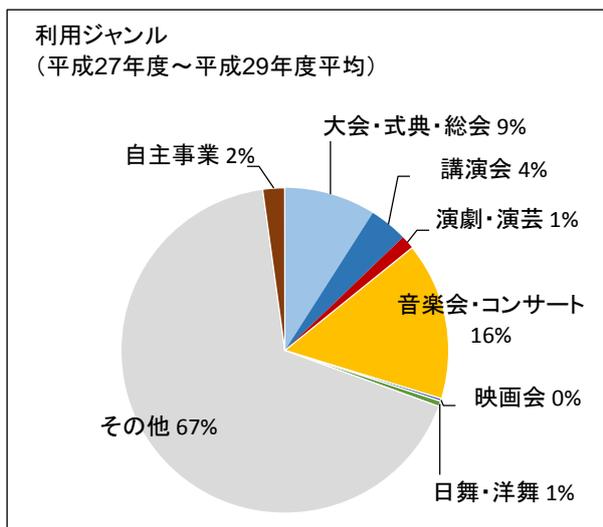


	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均
大ホール	77	63	74	71
小ホール	131	153	154	146
ギャラリー	24	32	30	29
楽屋 1	0	34	36	23
楽屋 2	0	38	38	25
楽屋 3	0	34	39	24
多目的ホール	7	55	51	38
多目的室	5	20	15	13
合計	244	429	437	370



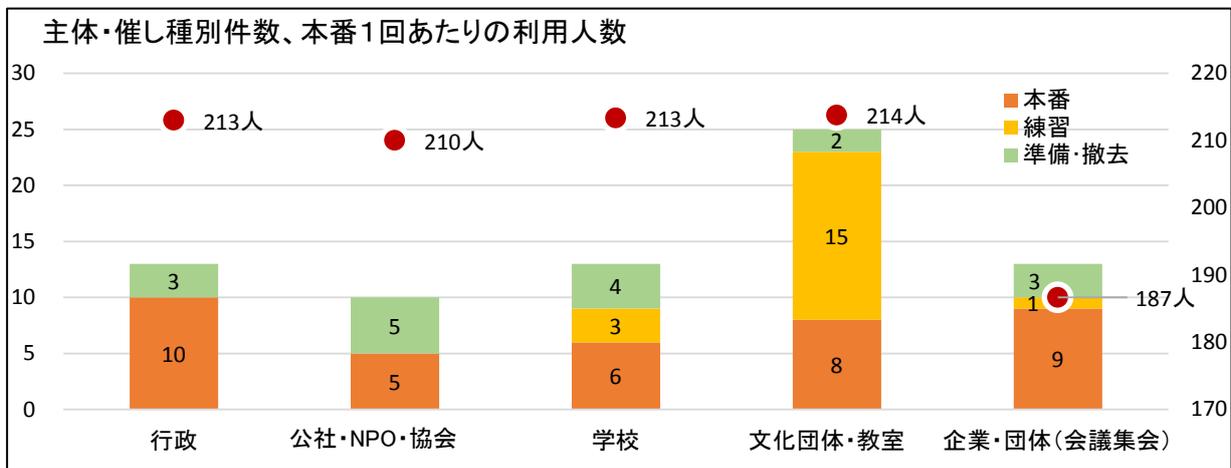
日数稼働率	合計	平日	土日祝
貸出可能日数	308	192	116
利用日数	74	25	49
稼働率(日)	24.0%	13.0%	42.2%

【ジャンル別利用状況】



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均	
大会・式典・総会	10	49	38	32	8.7%
講演会	2	10	30	14	3.8%
演劇・演芸	1	9	6	5	1.4%
音楽会・コンサート	21	65	88	58	15.7%
映画会	1	2	0	1	0.3%
日舞・洋舞	1	0	6	2	0.6%
その他	206	289	251	249	67.2%
自主事業	2	5	18	8	2.3%
合計	244	429	437	370	100%

【大ホールの利用団体・催し種別の利用件数/人数(平成29年度)】



	件数(日)				人数(人)			人数_1回あたり(人)		
	本番	練習	準備・撤去	計	本番	練習	準備・撤去	本番	練習	準備・撤去
行政	10	0	3	13	2,130	0	167	213	0	56
公社・NPO・協会	5	0	5	10	1,050	0	65	210	0	13
学校	6	3	4	13	1,280	100	81	213	33	20
文化団体・教室	8	15	2	25	1,710	478	12	214	32	6
企業・団体(会議集会)	9	1	3	13	1,680	25	28	187	25	9
計	38	19	17	74	7,850	603	353	207	32	21

3 豊岡市の文化環境

(1) 豊岡市内および周辺における文化施設等

ア 市内文化施設およびコミュニティセンターの設置状況

豊岡市内には、市民会館、ひぼこホールのほか、竹野地域を除く各地域にホール機能を有する文化施設が立地しています。

これらの中には、市町合併以前から旧行政区域の文化活動拠点として整備された施設と、合併後に豊岡市の新たな文化芸術創造拠点として整備されたものがあります。

これらのほか、市民の身近なコミュニケーションの場となる地区コミュニティセンターが市域に広く分布しています。

今後、各施設とのすみ分けと連携を図っていくことが必要です。

【位置図】



【市内類似施設の概要】

施設分類	豊岡市民プラザ	城崎国際アートセンター	日高文化体育館	出石永楽館
場所	豊岡市大手町 4-5	豊岡市城崎町湯島 1062	豊岡市日高町祢布 954-6	豊岡市出石町柳 17-2
敷地面積	8,705 m ²	2,797 m ²	4,600 m ²	669 m ²
延床面積	2,436 m ²	3,930 m ²	2,732 m ²	687 m ²
建設年	平成 10(1998)年	昭和 58(1983)年	昭和 62(1987)年	平成 20(2008)年(復原工事)
ホール形式 (主ホール)	平土間形式(可動席)	平土間形式(可動席)	平土間形式(可動席)	芝居小屋
舞台	W11×D7×H4.7(m)	W 18.5×D12.0×H7 (m)	W20×D10×H6(m)	W10.9(m)
管理運営	指定管理	直営	指定管理	指定管理
施設機能	ほっとステージ 294 席 楽屋(2 室) 38 m ² 市民活動室A 34 m ² 市民活動室B 34 m ² 市民活動室C 65 m ² 市民活動室D 65 m ² 練習室A 54 m ² 練習室B 25 m ² 練習室C 16 m ² リハーサル室 105 m ² ふれあい広場 174 m ² 子育て学習室A 78 m ² 交流サロン 250 m ²	ホール(可動席) 500 席 楽屋 - m ² スタジオ1 79 m ² スタジオ2 48 m ² スタジオ3 41 m ² スタジオ4 61 m ² スタジオ5 55 m ² スタジオ6 27 m ² レジデンス 22 名 キッチン - m ² カフェダイニング - m ²	大ホール(可動席) 780 席 小ホール 132.88 m ² ミーティングルーム 27 m ² 会議室 54.6 m ² トレーニング室 61.2 m ²	客席 368 席 衣裳部屋 - m ² 道具方部屋 - m ² カヅラ部屋 - m ² 化粧部屋 - m ² 湯殿 - m ² 附属棟控室 A - m ² 附属棟控室 B - m ²
備考	・複合施設内 ・豊岡駅前	・既存施設改修		・近畿最古の芝居小屋

施設分類	出石市民ホール	但東市民センター	じばさんTAJIMA
場所	豊岡市出石町内町 1	豊岡市但東町出合 150	豊岡市大磯町 1-79
敷地面積	8,856 m ²	8,112 m ²	3,292 m ²
延床面積	2,830 m ²	1,099 m ²	3,816 m ²
建設年	平成 5(1993)年	平成 6(1994)年	平成元(1989)年
ホール形式 (主ホール)	平土間形式	平土間形式(可動席)	平土間形式
舞台	-	W12×D7×H4.6(m)	W9.2×D4.5×H4.0 (m)
管理運営	直営	直営	第三セクター
施設機能	市民ホール 106.9 m ²	ホール 248 席 楽屋 41 m ²	多目的ホール 322.6 m ² 多目的小ホール 64.4 m ² 第1交流センター 92.1 m ² 第2交流センター 33.7 m ² 第3交流センター 89.3 m ² デザイン開発研修室 86.4 m ² コンピューター室 89.3 m ² 経営研修室 92.1 m ² 講座室(和室) 28 畳
備考	・出石庁舎内	・但東庁舎内	・市民会館近接

【豊岡市内のコミュニティセンター】

豊岡地域					
豊岡地区	神美地区	八条地区	三江地区	五荘地区	新田地区
集会室 1 集会室 2 会議室 研修室 相談・会議室 和室 1 和室 2 総合学習室 調理室 レッスルルーム スタッフルーム	教養講座室 調理実習室 会議室（和室） 会議室（洋室） 図書館兼展示資料室	小会議室 文化ホール 教養講座室 研修室 会議室 栄養実習室	会議室（1） 教養講座室 会議室（2） 調理実習室 大会議室 A 大会議室 B	多目的ホール 1 多目的ホール 2 会議室 研修室 和室 1 和室 2 総合学習室 調理実習室 レッスルルーム スタッフルーム	講座室（和） 研修室 調理室 大会議室

豊岡地域			城崎地域		竹野地域
中筋地区	奈佐地区	港地区	田鶴野地区	城崎地区	竹野地区
和室 集会室 講座室 青年室 調理室	多目的ホール 会議室 和室 調理室	研修室 講座室 調理実習室 図書室兼資料室 大会議室	講座室（和） 小会議室 大会議室 青年室 調理教室	多目的ホール 1 多目的ホール 2 和室研修室 調理実習室	多目的ホール 第 1 研修室 第 2 研修室 和室 調理実習室

竹野地域		日高地域			
中竹野地区	竹野南地区	国府地区	八代地区	日高地区	三方地区
青年研修室 第 1 研修室（和室） 第 2 研修室 調理室 集会室	多目的ホール 研修室 和室 調理室	多目的ホール 調理実習室 洋会議室 和会議室	多目的集会室 調理実習室 会議室 和室会議室	多目的ホール 調理実習室 展示ホール 青年の家 農業研修室 老人休養室 生活研修室 会議室（和室） 会議室（洋室） 保育室 会議室（大） 活動室	多目的ホール 調理実習室 研修室 和室会議室

日高地域		出石地域			
清滝地区	西気地区	弘道地区	福住地区	寺坂地区	菅谷地区
多目的集会室 調理実習室 会議室 和室会議室	多目的ホール 研修室 和室 調理室	多目的ホール 研修室 和室 調理実習室	研修室 資材室兼活動室 和室 調理室 多目的ホール	研修室 和室 調理室 多目的ホール	機能回復訓練室 交流室 研修室 食生活指導室

出石地域		但東地域		
小坂地区	小野地区	合橋地区	高橋地区	資母地区
相談室 会議室（和室） 生活改善実習室 農事研究室 大会議室	和室 調理実習室 多目的ホール	会議室 研修室 和室 学習活動室 調理実習室 多目的ホール	大会議室兼練習場 和室 1 和室 2 調理実習室	研修室 和室 調理実習室 多目的ホール

イ 周辺市町における文化施設の設置状況

豊岡市周辺市町(市民会館 30 km圏の施設)における文化施設の設置状況は、下図および下表の通りです。

1,000 席を超える施設は、京都府の福知山市厚生会館のみとなっており、その他は、約 300 席の中ホールと約 600～850 席の大ホールとなっています。

また、朝来市文化会館と計画中の養父市文化会館（仮称）を除けば、そのほとんどが開館より 30 年以上経過しています。

【位置図】



【周辺市の類似施設概要】

施設分類	養父市文化会館((仮称) (計画中)	養父市立関宮公民館	養父市立ピバホール
場所	養父市八鹿町八鹿538-1	兵庫県養父市関宮 637	兵庫県養父市広谷 250
敷地面積	27,702 m ² (予定)	9,432 m ²	16,672 m ²
延床面積	4,352 m ² (予定)	1,544 m ²	1,118 m ²
建設年	平成 33(2021)年(予定)	平成元(1989)年	平成 2(1990)年
ホール形式 (主ホール)	プロセニウム形式	プロセニウム形式	プロセニウム形式
客席数	650 席	362 席	336 席
舞台	W 16. 2m×D 13m	W10m×D 6m×H 5m	W 11m×D 9m×H 8m
管理運営		直営	直営
施設機能	併設施設： 図書館 公民館 公園	付属施設： 会議室:1 和室:1 展示室:1 楽屋:1 視聴覚室:1 研修室:1 図書室:1	付属施設： 控室 2 室 併設施設： 公民館、 福祉センター 就業改善センター

施設分類	朝来市文化会館 (和田山ジュピターホール)	香美町立香住区中央公民館	新温泉町文化体育館夢ホール
場所	朝来市和田山町玉置 877-1	美方郡香美町香住区香住114-1	美方郡新温泉町湯 990-8
敷地面積	9,090 m ²	2,258 m ²	12,000 m ²
延床面積	3,955 m ²	3,230 m ²	2,934 m ²
建設年	平成 4(1992)年	昭和 60(1985)年	昭和 63(1988)年
ホール形式 (主ホール)	プロセニウム形式	シューボックス型	プロセニウム形式
客席数	800 席	712 席	600 席
舞台	W 19m × D 10m × H 10m	W 12m × D 10m × H 6m	W 13m × D 7.9 × H 5.8m
管理運営	直営	直営	直営
施設機能	付属施設： 研修 1 応接 1 浴室 2 小ホール 200 席	付属施設： 楽屋:2 視聴覚室:1 研修室:3 図書室:1 その他室数:1	併設施設： 新温泉町総合支所 (新温泉町民センター)

施設分類	京都府丹後文化会館	福知山市厚生会館	福知山市民ホール
場所	京都府京丹後市峰山町杉谷 1030	京都府 福知山市 字中ノ(西中ノ町) 170-5	京都府 福知山市 字内記(内記三丁目) 100
敷地面積	7,698 m ²	2,964 m ²	14,693 m ²
延床面積	2,627 m ²	3,763 m ²	3,294 m ²
建設年	昭和 55(1980)年	昭和 37(1962)年	昭和 47(1972)年
ホール形式 (主ホール)	プロセニウム形式	プロセニウム形式	—
客席数	858 席	1,002 席	369 席
舞台	W 16m × D 13 m × H 8m	W 19m × D 10m × H 6m	W7
管理運営	指定管理	直営	直営
施設機能	付属施設： リハーサル室:3 楽屋:4 食堂・喫茶:1 オケピット:1	付属施設： 会議室:3 和室:1 楽屋:3	付属施設： 会議室:6 和室:1 その他室数:5

(2) 豊岡市内における文化活動・関連事業等の現状

豊岡市は、地域の特色を活かした文化芸術活動など様々な文化事業等を行っています。「豊岡市芸術文化参与」も設置し、特に以下の先進的な取り組みが評価され、平成28年度文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）を受賞しています。

【豊岡市の先進的な取り組み】

- 地方創生の拠点「城崎国際アートセンター」
- 演劇によるコミュニケーション教育の推進
- 芝居小屋「出石永楽館」の再生を核とした出石地域の活性化
- NPO 法人プラッツによる中間支援と施設運営
- 「豊岡アートシーズン」による合併後のアイデンティティ形成

また、豊岡市では、多数の市民が参加している文化団体の多種多様な文化芸術活動や、文化施設を活用した、市民主体の創作活動が展開されています。その活動は、文化芸術振興はもちろん、地域の文化交流を通じて地域づくりや地域コミュニティの活性化にもつながるものです。

【主な文化団体・文化振興を目的とする NPO 法人】

- 豊岡市文化協会
(構成団体：豊岡文化協会、城崎文化協会、竹野文化協会、日高文化協会、
出石文化協会、但東文化協会)
- NPO 法人プラッツ
- NPO 法人コミュニティ日高

しかしながら、今回実施したヒアリング等によれば、文化協会に所属する文化団体の活動の多くは地域ごとに行われる傾向が強く、他地域の文化団体との連携や全市域での一体的な活動はあまり行われていません。また、多くの文化団体において、会員の高齢化や会員数の減少が進行しています。

【国際観光芸術専門職大学（仮称）】

兵庫県により、JR 豊岡駅から約 600m の位置に観光と芸術文化分野で事業創造を展開する専門職人材を育成する 4 年生大学の創設が平成 33 年(2021 年)開学を目指し進められています。

4 市民意見・関係団体意見の集約

(1) 市民ワークショップ

第一回 2018年12月9日 参加者18名 テーマ「豊岡のまちじまん・文化じまん」

第二回 2018年12月20日 参加者18名 テーマ「年間スケジュールを考えよう」

第三回 2019年1月26日 参加者17名 テーマ「必要な機能や施設を考えよう」

市内で文化活動に取り組む社会人や高校生などが参加し、新しい文化会館について考えました。優れた舞台芸術鑑賞、市民の文化活動の練習や発表の場であるとともに、季節の行事や地域の産業に関わるイベントの場、子どもからお年寄りまで誰もがいつでも安全に気軽に利用できる場となることで、世代や地域、分野を超えたつながりを生み出す拠点としたい、といった提案がありました。

ア 新文化会館でやりたいこと（第二回ワークショップ「年間スケジュールを考えよう」より）

活動ジャンルなど	内容
○音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通年、季節ごとの音楽会・コンサート(第九・クリスマス、新年演奏会など) ・ 世代ごとのコンサート(学生向け鑑賞会、0歳から・子供・シニアの為のコンサート等) ・ 吹奏楽コンクール、吹奏楽祭り、ブラスフェスタ ・ 高校生バンドバトル、バンドフェスティバル ・ ポップス・ロックコンサート ・ 市民音楽祭、発表会、合唱祭 ・ 気軽な触れ合い(学校・会社帰りにミニコンサート、訪問コンサートなど)
○伝統芸能、舞踊など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民芸能祭発表会(おどり、詩吟、歌など) ・ 子供芸能発表会(舞踊、ダンス、バレエ) ・ 各種ステージイベント(バレエ、ミュージカル、オペラ、ダンス等)
○文化祭、展覧会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美術展、絵画展、全国かな書展、手工芸展、いけば花
○季節の祭り、行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひなまつり、七夕、ハロウィン、盆踊り大会、秋のお茶会、観月会 ・ 映画上映会、子供映画まつり(親子)
○参加型活動 (講習、練習、教室等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器(奏法)講習会 ・ アーティストによるワークショップ講座(ダンス、ミュージカル) ・ カルチャースクール(お花、お茶、ダンス、楽器、合唱等) ・ 夏休み工作教室
○まちづくり・交流活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉フェスタ、みんなおいでよ(障害者と健常者の集いと交流)福祉まつり ・ フリーマーケット、ハンドメイド市 ・ 骨董市、カバン見本市、かばんファッションショー ・ 地域文化を考えるシンポジウム
○望まれる施設や環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽練習室、AV ルーム、楽譜・CD・DVD(貸し出しあり)、 ・ レクチャールーム、レストラン、市民活動センターなど ・ 市民が集える、子育てのお母さんが集まり和む、ふらっと立寄れる

イ 新文化会館に欲しい機能・施設（第三回ワークショップ「必要な機能や施設を考えよう」より）

ホール	
○大ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在と同程度の1000～1200席 ・ 観客が少なくとも客席の空気が分からないような工夫 ・ 小ホールと舞台を共有、又は併設(大:800席 小:300席) ・ 大きな展示空間にもなる、平土間可動式の多機能ホール ・ 袖の広い、フルオーケストラが演奏できるステージ ・ 音の良いホール、残響はクラシック対応でステージと客席の音響を同じに ・ バック幕等がはね上がる天井高、ステージにせり(中ホールも)
○中ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 400～500席/500～600席/600席

○小ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 200～300席/200～350名程の可動式ホール/多目的で300～500席 ・ 周辺地域独自の催物にも対応した、使いやすい発表の場
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホールは大・中・小あると良い。2つなら、大・中ホール。小ホールは他地区でも可 ・ 固定席/可動席の設置 ・ 車椅子席、入口に車椅子用スロープ ・ ガラス張りの親子用鑑賞ルーム ・ 室内音楽専用ホール/バレエも出来る柔らかい舞台 ・ 花道、所作台/映画鑑賞の為の機能/2台のグランドピアノの保管庫 ・ 最新の音響照明機材、ホール全体を演出可能 ・ スムーズに搬入できるスペース・設備
諸室	
○楽屋	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホール横に設置 ・ 個室5、大部屋(20名程度、男女)2～3、中部屋、小部屋、洗面場、トイレ、シャワールーム ・ 衣装の着付け部屋、化粧部屋、桂・小道具部屋、本部
○リハーサル室、練習室	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホール・舞台に近く、遮音完備で舞台と同サイズのリハーサル室 ・ コンクールの際などにチューニング出来る部屋 ・ ソロ使用できる部屋を5～10室、吹奏楽団・室内楽団が練習できる部屋 ・ ピアノ、ドラム(バンド用)の設置 ・ 全面ガラス張りで2段のバーを設置、リノリウムを常備
○展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣装、楽器、美術本等の展示スペース/大・小ギャラリー ・ ロビー等、ギャラリーとしても使えるような展示設備 ・ 天井高4m以上を確保したオープンスペースで、照明設備を充実させる ・ 展示パネルが天井のレールに沿って移動し、大きさの可変が出来る
○工房 /アートファクトリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ アトリエ(工作室) ・ アート(画・彫刻工芸)ワークショップやイベントの出来る部屋と準備室(材料置場) ・ 絵画作品や工芸作品が収蔵できる小部屋
○フリースペース /図書室/学習室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強、談話、作業のできる無料スペース ・ 芸術系CD・DVDが豊富な図書室兼、他ホール・美術館等の情報スペース ・ 遊具を備えた、子供が来たいと思うような場所 ・ 自販機コーナー
○飲食スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽食・お弁当を食べられる場 ・ 子供メニューのあるレストラン・喫茶店、コンビニエンスストア
○事務 /市民活動スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体用事務所・常駐スタッフの部屋 ・ 多目的室(音楽、美術、集会、芸能)、会議室、和室、スタジオの設置 ・ 文化活動室(市民活動のための安価で使用できる諸室)
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大ホール利用時に混雑しないトイレ数 ・ 車椅子スペースを広くする等、高齢者・障害者に優しいバリアフリーの充実 ・ 非常時の避難所とするために、水・保存食・毛布を常備 ・ 市民会館と合わせて同じ場所に美術館を設置 ・ メンテナンスのしやすい施設/デザインよりも機能(構造)重視
その他	
○屋外	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舞台に繋がる広場 ・ 屋外ステージになるような公園兼、子供が遊べる広場
○駐車場、アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直接建物に入れる、500台以上収容可能な立体駐車場(雷雨対策) ・ 大型バスが駐車できるスペース ・ 自転車でも立ち寄れるようにして、高校生も来場しやすいようにする ・ 公共交通の便利な場所に設置し、車のない人々も集合しやすいように
○管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホール・練習室共に、使用料を安くする市民割制度を設ける ・ 専門性の高いスタッフの常駐(音響・照明、舞台、展示) ・ 館長、事務員などは、舞台芸術に造詣が深い人が望ましい
○地域における役割等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 但馬の中心となり、地元愛が育まれる、市民が誇れる施設にしたい ・ 文教連携の観点から、新設大学と文化ホールは近接したほうが良い
○キャッチフレーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日も行こうよ！コウノトリ文化ホール ・ コウノトリ芸術文化センター ・ 繋がる！！

(2) 市民アンケート

実施時期 2018年11月29日
 対象 豊岡市民 3,000人
 回収数 992(回収率 33.1%)

市内在住の高校生以上の3,000人の市民に、文化活動の現状と市内の文化施設についての利用状況や評価、新しい文化会館についての要望等をお聞きしました。

調査対象者は豊岡市民の年齢別人口、居住地域別人口の割合にあわせて抽出しました。その結果、回答者の属性は右に示す通り、年齢は若年層が少なく中高年層が多くを占め、居住地は豊岡地域が過半を占めています。

アンケートの結果は概ね以下の通りです。

属性別の回答者数と割合

(無回答者分は未記載)

性別	人数	割合
男性	412	42.4%
女性	554	55.9%
年齢	人数	割合
10代	24	2.4%
20代	42	4.2%
30代	81	8.2%
40代	137	13.8%
50代	170	17.1%
60代	235	23.7%
70代	190	19.2%
80代	100	10.1%
居住地	人数	割合
豊岡	512	51.6%
城崎	38	3.8%
竹野	50	5.0%
日高	197	19.9%
出石	118	11.9%
但東	55	5.5%

ア 公演鑑賞および文化活動について

○公演鑑賞について

- ・公演鑑賞を体験している市民は1/3程度で、年代別では10代と中高年世代の体験率が高く、子育て世代では低い。
- ・鑑賞回数は年間1～3回がほとんどで、日常的に鑑賞する市民は少ない。
- ・公演鑑賞のジャンルは多岐にわたるが、全般的にオーケストラや吹奏楽などの音楽の割合が高く、若い世代では映画、中高年では演劇や演芸の割合が高い。
- ・公演を鑑賞しない市民の約半数が観たい演目がないことを理由としており、また、鑑賞自体に関心のない市民も多い。

○文化活動について

- ・文化活動に取り組んでいる市民は15%程度で、鑑賞に比べてその割合は低い。鑑賞と同様に10代と中高年世代の参加率が高く、子育て世代の参加率が著しく低い。
- ・活動を実践している人にとっては、活動により日常生活が充実したものとなっている様子が伺われる。また、文化活動に取り組んでいない市民の中にも、きっかけがあれば参加する可能性のある市民の存在が示唆される。
- ・公演鑑賞や文化活動に関する情報は得られているものの、観たい演目や参加したい活動が十分ではない状況が示唆される。

○公演鑑賞、文化活動施設について

- ・公演鑑賞の場としては全市的に市民会館が最も良く使われている。2割程度の市民が市外の施設を利用しており、神戸、大阪、京都など、観たい演目があれば遠くても足を運んでいる。
- ・一方、文化活動の場としては各地域の文化施設やコミュニティセンターがよく利用されている。
- ・文化活動の場として必要な要件としては、活動内容に適した広さの部屋があること、施設の雰囲気が良いこと、駐車場・駐輪場の充実が上位に挙げられる。
- ・公演鑑賞の前後に訪れたい場所としては、カフェやレストランを挙げる割合が高く、ホール周辺に飲食機能のあることが望まれている。

イ 市内の文化施設について

○利用状況

- 市全体では市民会館、市民プラザの利用が多いが、各地区では地元の施設が使われている。

○利用目的

- 各施設とも公演の鑑賞や聴講の利用が主体だが、出石市民ホール、日高文化体育館、但東市民センターはグループ活動の場としての利用が多い。

○鑑賞ジャンル

- 出石永楽館がプロによる舞台に特化し、ひぼこホールは発表会・コンクールが多い。
- 日高文化体育館、但東市民センターは発表会・コンクールや大会・式典の割合が高く、豊岡市民プラザ、出石市民ホールも同様の傾向である。
- 市民会館、城崎国際アートセンターは舞台が最も多いが他ジャンルの利用も多い。

○施設の魅力

- 自動車での行きやすさを施設の魅力に挙げる市民が多く、アクセス環境の大切さが伺われる。
- それ以外では、出石永楽館(魅力的な催し、施設の雰囲気、舞台の見やすさ)、ひぼこホール(舞台の見やすさ)、市民会館・城崎国際アートセンター(魅力的な催し)、市民プラザ(公共交通機関)などが魅力として認識されている。

○施設に対する満足度と不満要因

- 多くの市民が市内の文化施設に満足しているが、満足していない市民の多くは、鑑賞したい演目や参加したい事業がないこと、駐車場の不足をその理由としている。
- 施設により、公共交通のアクセス(ひぼこホール、出石永楽館、城崎国際アートセンター、但東市民センター)、チケット取得の容易さ(出石永楽館)、音響(日高文化体育館)などが挙がる。

ウ 新しい文化会館に望むこと

○鑑賞したいこと

ライブ・コンサート、舞台、映画が多数。ジャンルは、クラシック、ミュージカル、演劇、伝統芸能、演芸が多く、有名人気アーティストやプロの公演を期待する意見が多い。
また、親子、多世代で楽しめるものを望む意見も複数。

・ライブ、コンサート	クラシック(オーケストラ、室内楽、ピアノ等)、オペラ、ミュージカル、ダンス、バレエ、合唱、声楽、コーラス、吹奏楽、ブラスバンド 軽音楽(ポップス、ジャズ等)、歌謡曲、演歌
・舞台	演劇、伝統芸能(歌舞伎、能、狂言等)、演芸(落語、漫才、講談、お笑い等)
・映画	
・発表会、コンクール	合唱、ピアノ、子どもたちの文化活動、のど自慢
・美術展、展覧会	絵画、書道、写真等
・展示会	お宝、カバン等
・その他	スポーツ、サーカス、ディズニー、人形劇、野外フェス

○参加したいこと

鑑賞したいことに比べて意見は少数。健康づくり・スポーツ、音楽や演劇、趣味のサークルなど。子どもと参加できる活動も望まれている

- ・スポーツ系 各種スポーツ、健康づくり
- ・芸術系 音楽(合唱、楽器演奏)、演劇
- ・文化系 趣味サークル活動(料理、園芸、手芸、朗読など)
- ・子どもと参加できるもの(ダンス、ワークショップなど)

○期待すること

施設へのアクセス、劇場・ホールとしての基本性能に加えて、子どもから高齢者・障害者まで誰でも気軽に使える施設とすることについての意見が多数

- ・市民にとって行きやすいこと(駐車場の確保、交通の利便性)
- ・音響照明や舞台装置の充実、座りやすく舞台が見やすい客席
- ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン
- ・だれでも気軽に入りやすい施設(カフェや図書施設等の併設、自由な雰囲気)
- ・演劇や音楽などに興味のある一部の人だけでなく、幅広く市民が利用できる施設
- ・市民が集える「公共の場」

○公演鑑賞の機会や環境を充実させるために必要なこと

- ・ホール規模については、「現状と同程度」「無回答」が各 4 割で、「現状より大きなホール」が「現状より小さなホール」を数ポイント上回る。年代別で集計した場合もその構成比はほとんど変わらない。公演鑑賞や文化活動を行う市民の方が、大きなホールに対する意向は低い(小さなホールを望む割合が高い)。
- ・機能、諸室については、「バリアフリー」、「カフェやレストラン」、「自由に利用できるラウンジ」を望む割合が高く、公演鑑賞や文化活動を行っている市民は、リハ室、練習室、展示ギャラリー、会議室等を望む割合が高い。
- ・立地条件としては、十分な駐車場への要望が 65%、公共交通機関への要望が 35%

エ 自由意見

- ・施設の要不要、立地場所、施設やホールの機能や附属施設、料金、公演ジャンル、賑わいづくりやまちづくりまで多岐にわたる意見が多数

主な意見(テーマ・項目)

- ・多様な公演ジャンル、人気アーティストの公演
- ・市民が参加できる公演、各種教室、子どもから大人まで
- ・ホール席数(大、小ささま)、音響照明等の充実
- ・利用料金を安く、無料に(市民優遇など)
- ・附属施設(カフェ・飲食施設、公園や広場、図書スペース、美術館・博物館、スポーツ施設など)
- ・キッズスペース、託児施設
- ・幼児・子どもから高齢者まで過ごせるところ
- ・バリアフリー
- ・十分な駐車場、公共交通の利便性を確保すること
- ・災害に強いこと・避難所となること

(3) 関係団体等のヒアリング

- 実施時期 2018年11月9日、10日 計4回
 実施場所 豊岡稽古堂交流室、市役所庁議室
 参加団体 地域・教育福祉関係団体、文化団体、楽器店、商工観光団体・事業者、
 劇場施設管理運営団体など、計22団体

市内の文化団体をはじめ関連団体を対象としてヒアリングを実施し、現市民会館の利用状況および新しい文化会館の立地や施設等についての意見要望等をお聞きしました。主な意見は以下の通りです。

ア 現市民会館について

【利用ジャンル】 <ul style="list-style-type: none"> ・文化団体発表会(合唱、アカペラなど) ・音楽コンクール(エレクトーンアンサンブルなど) ・学校の定期演奏会・音楽会 ・公式行事(成人式など) ・記念公演(著名アーティストのコンサート経験あり) 	【利用しない理由】 <ul style="list-style-type: none"> ・会場が大きすぎて使いづらい (集客困難) ・利用料金が高い
【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・文化団体が大中会議室、ギャラリー、リハ室、会議室等利用(展示発表、練習、教室など) ・会館の事務局は配置換えが頻繁にあり、コミュニケーション取りづらい 	

イ 新文化会館について

○ 立地について <ul style="list-style-type: none"> ・6地域にとって交通網の良いところ ・市街地内、街なかで歩けること、駅の近くなど交通の便の良いところ 	
○ ホールについて <ul style="list-style-type: none"> ・大多数が中小規模(最大800席程度)希望。小規模ホールの希望も複数 ・吹奏楽関係団体、商工関係団体が1200席以上を希望 ・音響が良いこと、舞台や袖が広いこと、フラットで出入りしやすいこと ・マルチ利用、多目的多機能に使えること ・コンパクトで会場費が安いこと 	
○ 附帯施設についての意見(必要な諸室) <ul style="list-style-type: none"> ・練習室、スタジオ、リハーサル室 ・ゆとりのある楽屋、更衣室 ・会議室、レクチャースペース ・展示室、ギャラリー ・図書館、美術館 ・レストラン、カフェ ・交流、フリースペース ・駐車場 	○ その他の意見 <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に市民が利用しやすい ・城崎国際アートセンター、大学との連携 ・市民プラザとのすみ分け、地域バランス、既存施設とのネットワーク ・地域の文化を発信する拠点であること ・リーズナブルな利用料金 ・遠方利用者への配慮 ・半官半民が良い ・若者を呼び込むしくみ ・人口減少の歯止めとなること

5 文化会館の再整備にあたっての留意事項

市内文化施設の現状、文化会館の利用状況および市民の意見集約などから、文化会館の再整備にあたって留意すべき事項は概ね以下のように整理されます。

(1) 文化会館をはじめとする市内文化施設の役割

市民会館は市町合併後も、市内最大のホールとして広く市民に認識され利用されており、新たな施設においても同様の位置付け、役割が求められています。具体的には、音楽や演劇をはじめとした様々な舞台芸術鑑賞、市民文化団体や学校等の発表会や式典などの場として、但馬の中核施設に相応しい役割を果たすことが期待されています。

また、ひぼこホールの廃止に伴い、そのホール機能は新文化会館に統合されることとなりますが、合併以前に各地域で整備された既存文化施設も老朽化が進みつつあることから、新文化会館の整備とあわせて、これらの施設の役割や機能分担等のあり方などについても、考え方を整理しておくことが必要です。

(2) 新しい文化会館について

新しい文化会館の整備に伴い、現市民会館の抱える諸課題を解消することはもとより、現在の文化芸術環境を改善強化し、豊岡市が推進する「文化芸術による『小さな世界都市』の実現」に資する施設とすることが求められます。

市民の意見集約からは、多くの市民が新文化会館に対して、公演鑑賞や様々な文化活動を行う文化芸術活動の機会の提供とともに、子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる日常的な居場所の提供、地域や世代を超えた多様な交流機会の創出などを期待していることがわかりました。多くの市民にとって、新文化会館が、市民の一体感の醸成やまちづくり・地域の活性化などにつながる施設となることが望まれています。

同時に、文化芸術環境や文化活動への取り組み状況が、地域や世代・ライフスタイルの違いにより異なることも明らかとなり、新文化会館の整備にあわせて、これらへの対応が必要なことも確認されました。

ホールの規模や運営方法については、多様な意見があり、人口減少や少子高齢化が進展する中での適切な規模や形式など、市内外の施設等との役割分担を踏まえつつ検討することが求められます。

これらの点に加えて、文化芸術によるまちづくりに取り組み、すでいくつかの先端的な文化芸術事業を展開している豊岡市の文化芸術拠点として相応しい姿が求められます。

これまでの各種調査結果より、市内文化施設の役割、新文化会館の方向性を示すキーワードを次項のように整理します。

6 市内文化施設の再整理と新文化会館の方向性



第2章 豊岡市新文化会館の基本的な考え方

1 豊岡市新文化会館の基本理念

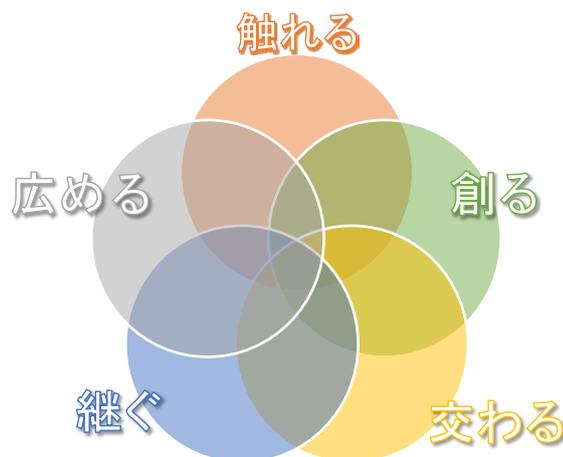
(1) 基本理念

豊岡市は、文化芸術によるまちづくりで「小さな世界都市—Local & Global City—」を目指します。

新たな文化会館は、市民やアーティスト等の安定的で継続的な文化芸術創造活動を支える豊岡市の中核施設として、優れた文化芸術の振興普及や創造はもとより、文化芸術を通じて人々に安らぎや活力を与え、創造力や表現力を引き出し、市民生活を豊かにする様々な機会と場を提供します。また、地域や世代を超えた交流活動を生み出し、豊岡市の魅力を内外に発信しながら、賑わいのあるまちづくりに繋げていきます。

上記より、基本理念と5つのキーワードを定めます。

人・地域・世代 を繋ぐ
文化芸術交流拠点



(2) 基本的な役割

基本理念を実現するために、新たな施設が果たすべき役割を定めます。

ア 市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供する

子どもから大人まで身近に優れた文化芸術に親しみ楽しむ機会を提供し、市民が豊かさを実感できる場とします。誰もが安全快適に鑑賞できる環境を整えるとともに、多彩で良質な公演ができるような舞台環境づくりを行います。

また、来館者に対してだけでなく、文化芸術を地域に直接届けるなど、さまざまな方法で多くの市民が文化芸術に触れることのできる機会づくりを目指します。

イ 多様なレベルの文化芸術活動・創造拠点となる

はじめての人から更なる高みを目指して本格的に取り組む活動、さらにはプロとしてのステップアップを図る若手アーティストの活動まで、幅広い文化芸術活動を支えます。日常的な練習・創作活動の場であると同時に、それらの成果を発表・披露する“ハレ”の場とすることで、文化芸術の創造と発展を支援します。

また、専門職大学や他施設などと連携しながら、作品づくりや施設運営・事業等に市民が主体的に参加・参画する機会を提供するなど、市民の文化芸術活動の底上げを図ります。

城崎国際アートセンターや専門職大学等で生まれた作品を国内外に発信する前に最初に発表する場とすることや芸術監督の登用なども検討します。

ウ 地域文化を次世代に引き継ぐ

文化の中核施設として、市域を構成する各地域に古くから受け継がれてきた伝統芸能など、豊かな自然や歴史とともに地域に根ざす各地域固有の文化を再発見し、市域全体に広げること、次世代に引き継ぎます。さらには、新たな価値を付加することで、市域全体の文化の持続的な発展を目指します。

エ 交流を生み出す、市民の居場所となる

だれでも気軽に立ち寄り、文化芸術に触れながら快適に過ごすことができる環境づくりに取り組みます。世代や地域、文化芸術ジャンル等を超えて、新たな発見や出会いが生まれる場とします。

オ 文化芸術による「小さな世界都市づくり」を発信する

市民のサークルからプロのアーティストまで、様々な文化団体や活動の紹介、各種イベント・企画の広報など、幅広い文化芸術の情報を発信します。様々な機会や交流を通じてにぎわいを創出し、豊岡ならではの魅力を発信し続けることで、内外から人を呼び込み、まちに活気をもたらし、市民の誇りが醸成されるサイクルづくりを目指します。

カ 他の文化芸術施設と有機的に連携し、文化芸術の力を最大化する

豊岡市においては、出石永楽館、城崎国際アートセンター、豊岡市民プラザ、専門職大学などの文化芸術関連施設の設置や学校教育における演劇の活用など、全国に先駆けた先進的な取り組みが行われています。

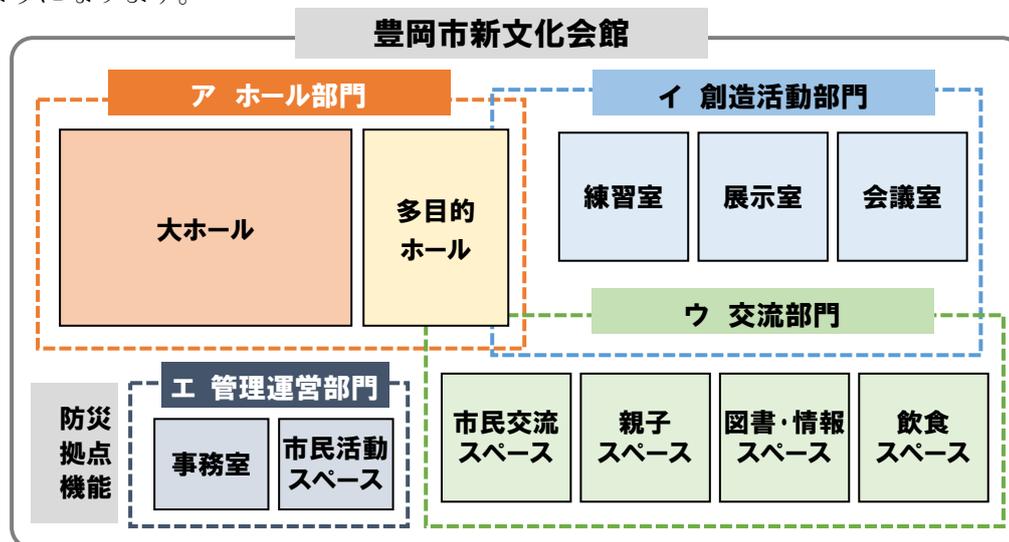
新しい文化会館は、市民会館とひぼこホールの統合再整備を図るものであり、オール豊岡の文化芸術交流拠点として、これらの先端的施設や活動、教育福祉をはじめ観光やまちづくりなどの関連分野との協力を図りながら、豊岡市の総合的な文化芸術環境の充実・強化に貢献します。

第3章 豊岡市新文化会館に必要な機能と考え方

1 豊岡市新文化会館の施設の概要

(1) 施設機能および構成

新文化会館の基本的な役割を果たすために必要な機能を集約・整理すると、以下のようになります。



ア ホール部門

<大ホール>

大ホールは音楽利用性能を向上させる技術を取り入れた多機能ホールとし、音楽をベースに様々な舞台芸術に対応します。文化団体や学校利用、成人式等の各種式典利用を想定し、収容人数は600人～1000人程度とします。

客席の構造は複層化し、利用人数が少ない時は1階のみで利用できるようなシステムの導入を検討します。また、客席を移動観覧席として、多用途に対応する平土間ホールとして利用可能な形態もあわせて検討します。

座席自体もゆとりのある客席とするとともに、障害者や高齢者にも配慮します。

その他、十分な舞台の大きさや楽屋数、搬入のしやすさなど、バックヤードの充実を図ります。

【大ホール関連諸室】

部門	分野	具体的に想定される諸室
大ホール部門	客席関係	客席、親子室など
	ホワイエ関係	ホワイエ、主催者事務室、客用便所など
	舞台及び舞台裏	舞台、備品庫、搬入ヤードなど
	技術諸室	調光操作室、音響調整室など
	楽屋関係	楽屋、スタッフ控室、楽屋用便所、備品庫など

<多目的ホール>

多目的ホールは、公演のリハーサルや市民の日常的な練習のほか、小規模な発表会や展示会、大人数での会議等、さまざまな用途に利用可能な平土間形式のホールとします。

収容人数は200～300人程度とし、大ホールの舞台と同程度の規模とします。

大ホール同様に、バックヤードの充実を図ります。ホールとして本番利用を行う時の楽屋については、大ホール附帯の楽屋や、その他の諸室を楽屋として転用することで対応できるよう、動線や諸室配置に配慮します。

なお、大ホールと多目的ホールの2つのホールを設置することにより、市内の既存文化施設のホール機能をカバーすることが可能となるため、新たに他の施設での小ホール機能の確保は行いません。

イ 創造活動部門

市民の日常的な活動を支援する部門として、創造活動部門を設けます。

日常的な活動・練習・発表の場として、楽器演奏やダンス等、音の出る活動にも対応した防音・遮音性能を備えた練習室、その他会議室等の設置を検討します。

ウ 交流部門

交流部門は、施設全体の賑わいを創出し、催し物がなくても誰もが気軽に施設へ訪れることができるような部門として計画します。

市民の憩いの場となるような市民交流スペース、子どもが遊べるスペースや子育てに関する情報コーナーを設けた親子ひろば、文化活動に関連する図書や県内外の文化情報を集めた図書スペースの他、カフェ・レストラン等の設置を検討します。

エ 管理運営部門

管理運営部門には、施設全体の維持管理、諸室貸出の管理を一体的に行う管理事務室の他、市民活動団体の荷物置き場や活動拠点となるような市民活動スペースの設置を検討します。

(2) 施設規模

施設全体の規模は、各部門の面積に廊下や階段、便所の共用部分と機械室を加えて、概ね6,000～7,200㎡程度と想定します。

具体的な諸室の規模・数については、基本計画段階で検討することとしますが、諸室や空間はさまざまな機能に対して柔軟な対応ができる「多機能」な設備とし、「重ね使い」することで、規模やランニングコストを抑えたコンパクトな計画を目指します。

例えば多目的ホールを会議室としたり、利用がないときには大ホールの楽屋を練習室としたりするよう検討します。

【施設規模】

			想定面積	備考
機能部分	ホール部門	大ホール	3,000～3,800 m ²	客席 600～1,000 席(2層構成) 楽屋、ホワイエ等含む
		多目的ホール	300 m ²	平土間 200～300 人収容 倉庫含む
	創造活動部門		300 m ²	練習室、会議室、展示室等
	交流部門		200 m ²	市民交流スペース、親子ひろば、 図書スペース、カフェ・レストラン、ロビー
	管理運営部門		100 m ²	事務室、市民活動スペース
	小計		3,900～4,700 m ²	
共用部分			1,300～1,600 m ²	廊下、共用便所、階段 等 小計(機能部分面積)の35%
機械室			800～900 m ²	延床面積の15%
合計(延床面積)			6,000～7,200 m ²	

(3) 駐車場

市民アンケートや関係団体ヒアリング、市民ワークショップのいずれにおいても、十分な駐車場の確保を望む声が多く、法で定められた附置義務駐車台数にとどまらず、敷地の立地や広さにあわせて最大限の駐車台数を確保することを目指します。

建設費用との兼ね合いはありますが、立体駐車場の整備や敷地周辺における公共施設駐車場の供用、時間貸し駐車場の活用等についても検討します。

(4) 施設配置

施設及び諸室の配置に関しては、敷地周辺環境に配慮するとともに、建物内においては、観客、出演者、主催者、搬出入等の動線を考慮します。

特に敷地周辺が住居系市街地の場合は、ホール建物による日影、搬入大型車両やバス、来場者の自家用車や人の集中による騒音や振動等の影響を極力抑えるような配置を検討します。

(5) 施設整備における配慮事項

上記に加えて、今後の施設整備においては、以下に留意しながら検討します。

- ・安全性 地震や水害等の自然災害に対する強度、避難所機能
- ・利便性、快適性 ユニバーサルデザイン、バリアフリー
- ・経済性、効率性 建設費のみでなく、維持管理費の抑制
- ・環境共生 ゼロエネルギー、自然エネルギーの活用
- ・デザイン 地域性、施設コンセプトとの整合 など

2 豊岡市新文化会館の建設地

現時点においては、建設地は決定していませんが、市の財政状況および整備スケジュール等を勘案して、現有市有財産を活用する方針としています。

建設地を選定するにあたっては、公共交通機関や道路等のアクセス条件や周辺環境をはじめ、以下に示す様々な観点から検討します。

【建設地選定の評価項目】

評価項目			評価内容
立地	都市計画	用途地域など	劇場用途の建設可否 ・商業地域、近隣商業地域、準工業地域であれば可 ・特別用途地区(文教地区等)の指定がないこと
		その他	景観地区、高度地区等の指定による建築高さ等への影響
	アクセス	来館者	鉄道、バス等公共交通の利用可能路線数および運行頻度 高速道路のインターチェンジからの距離および経路 最寄り駅等からの距離、歩行環境
		搬入車両等	大型車両(11トントラック、バス)のアクセスのしやすさ
	周辺地域	補完機能の状況	飲食施設、商業施設 学校・大学等の教育機関 文化施設などの類似機能施設 時間貸し駐車場
		周辺地域状況	劇場利用者(歩行者、車)の集中、搬入大型車両の通行、劇場からの騒音振動等の影響
敷地	土地の性格	地盤	支持地盤深さ、液状化の可能性の有無
		地歴	土壌改良の要否
		自然災害危険性	津波、浸水の危険性の有無
		その他	騒音・振動発生源(鉄道、飛行経路)の有無/発生源からの距離
	土地の広さ・形状等	必要最低寸法	十分な舞台・客席の確保、諸室配置の可否等
		高低差	入出庫経路等への影響
		駐車場可能台数	必要駐車可能台数の確保の可否
	接道条件	接道面数	入出庫経路の確保
	建物規模、高さ制限	建蔽率 容積率	必要建築面積の確保の可否 延床面積の確保の可否
		斜線制限	道路斜線、隣地斜線、北側隣地斜線、日影規制による高さへの影響
	その他	土地所有	民有地の場合、土地取得費、事業手法・期間等に影響
政策との整合性		上位関連計画との整合性(都市計画マスタープラン等)	
新文化会館のコンセプト実現性		新文化会館の目指す役割が実現できるか	

第4章 豊岡市新文化会館の管理運営の考え方

1 管理運営に関する考え方

(1) 管理運営の基本的な考え方

基本理念で掲げたように豊岡市新文化会館は、関心のある人だけが訪れる施設ではなく、老若男女、障害の有無に関わらず、あらゆる人が日常的に集い、文化芸術を通じた交流を生み出し、市民の暮らしをより豊かにしていくことが求められます。

そのためには、単に施設を貸し出すだけでなく、公演等の様々な事業企画の提供、市民の文化活動や参加を推進していくよう、継続的に働きかけていくことが必要です。

さらに、市内の公共施設はもちろん、専門職大学、市外の文化施設等も広域的な連携協力を積極的に図ることで求心力を高め、市民はもちろん周辺自治体住民に対する積極的な広報活動を行うことも必要です。

これらの内容については、「管理運営計画」として、施設整備の基本構想、基本計画の考え方を踏まえながら、広く市民の意見を聞き、詳細をまとめて行くこととなります。

(2) 組織

ア 組織体制の考え方

基本構想を実現するための運営体制として、各種事業やサービスを積極的に提供していくための部門と人員が必要です。

中でも、専門職大学との連携、専門性を持った人材の確保と適正な配置、市民の主体的な活動や参加を推進・促進していくような人材が、より良い運営を実現するために重要です。

イ 管理運営主体の考え方

現在、公の施設の管理運営をする方法として、設置者である市が直接運営を行う「直営」と特定の事業者運営を委任する「指定管理者」による運営があります。文化施設の主な管理運営業務については、下表のとおりですが、いずれの業務においても求められる専門性が異なるため、業務毎にそれぞれ専門性をもった人員を配置する、あるいは異なる主体で個々の業務を分担するなどの方法が考えられます。業務分担の検討にあたっては、社会包摂の観点から障害者の雇用の場や活動の支援も含め考える必要があります。今後、新しい文化会館の基本理念を実現するためにふさわしい管理運営主体のあり方を比較検討します。

【業務項目と内容】

項目	業務内容
(ア)貸館事業	ホール部門・創造活動部門・共用部の貸出管理
(イ)自主事業	各種事業の企画・制作・実施
(ウ)市民参画・協働	市民参画・協働の相談窓口・調整・促進
(エ)広報・券売	広報・マーケティング、チケット販売管理
(オ)舞台技術管理	舞台機構・照明・音響の機器操作・管理、安全管理
(カ)ビルメンテナンス	施設・設備の維持管理・メンテナンス、清掃、防災管理
(キ)共用スペース管理	交流部門、飲食スペース、情報・図書コーナー等

(3) 管理運営のシステムを構築

市民の文化活動を促進させていくためには、施設の利用機会を広く提供していく必要があります。施設利用にあたっては、規則に則した運営のシステム構築が必要です。利用者の意見を取り入れながら、文化芸術活動の拠点として、柔軟性をもった内容と運用が求められます。

検討項目			
・開館時間	・休館日の設定	・利用申請方法	・利用申請時期
・利用区分の設定	・利用の許可方法	・使用料金設定の考え方	
・使用料金減免の考え方		・使用料の加算の考え方	等

(4) 市民参加・市民協働に関する基本的な考え方

劇場・ホールにおける市民参加として、施設利用者の日常的な活動、観客としての公演鑑賞やイベント参加、さらに自主的・主体的な運営に関わるホールサポーターの他、事業パートナーや企画・運営に参画する等、多様な関わり方があります。

多くの市民が「わたしたちのホール」と捉えられるよう、開館前からの積極的な市民参加・参画を進めながら、開館後も発展的に関わっていけるよう、環境整備や仕組みづくりを検討します。

(5) 運営する上での収入確保方策の検討

豊岡市新文化会館の主な収入源として、施設や設備等の貸出に伴う利用料金収入、自主事業のチケット代・参加費等の収入が挙げられます。

また、国や民間からの補助金・助成金の積極的な活用はもちろん、施設名称の選択肢として施設名称をつける権利を提供する代わりに、命名権者から一定の対価を得る「ネーミングライツ」、コンサート等の公演名に企業名をつけて実施する「冠コンサート」、共催・協賛事業の資金協力、屋内や紙面等での広告スペースの運用など、さまざまな外部からの資金獲得の手法があります。豊岡市新文化会館に適切な手法を検討していきます。

資料編

- | | | | | |
|---|---------------------|---|----|----|
| 1 | 豊岡市新文化会館整備基本構想策定の経緯 | … | 資料 | 1 |
| 2 | 団体ヒアリングの結果 | … | 資料 | 3 |
| 3 | 市民アンケートの結果 | … | 資料 | 19 |
| 4 | 市民ワークショップの結果 | … | 資料 | 55 |

1 豊岡市新文化会館整備基本構想策定の経緯

(1) 豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会

年月日	議事
第1回策定委員会 (平成30年10月22日)	(1) 市文化会館整備基本構想・基本計画策定スケジュール (2) 文化芸術に関する社会的潮流の分析 (3) 文化会館の現状と課題の整理 (4) 文化会館(利用状況)の現状と課題の整理 (5) 市民・利用者の意見聴取の取り組み状況(進め方)
第2回策定委員会 (平成30年11月19日)	(1) 市民意見の収集状況 ・関係団体ヒアリング結果(中間報告) (2) 市内のホールの現状整理および新文化会館の方向性(案)
第3回策定委員会 (平成31年1月29日)	(1) 市民意見の収集状況 ・市民アンケート結果(中間報告) (2) 市内のホール構成及び新文化会館の方向性(案) (3) 文化会館整備基本構想スケジュール(案) (4) 新文化会館整備基本構想(素案)
第4回策定委員会 (平成31年3月18日)	(1) 新文化会館整備基本構想(案)

(2) 市民・利用者の意見収集

ア) 団体ヒアリング	○文化協会、関係機関等ヒアリング調査 (平成30年11月9日、10日)
イ) 市民アンケート等	○市民アンケート調査 (平成30年11月29日～平成31年1月8日) ○庁内アンケート調査(参考) (平成30年12月10日～平成30年12月26日)
ウ) 市民ワークショップ	・第1回市民ワークショップ (平成30年12月9日) ・第2回市民ワークショップ (平成30年12月20日) ・第3回市民ワークショップ (平成31年1月26日)
エ) パブリックコメント	・パブリックコメント公募 (平成31年2月22日～3月7日)

(3) 豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画策定委員会名簿

区 分	氏 名	所 属
学識経験者	◎藤野 一夫	神戸大学大学院教授
学識経験者	杉山 至	舞台美術家
学識経験者	碓井 俊樹	上野学園大学客員教授
文化団体代表	平岡 康正	豊岡市文化協会会長
文化関係者	赤澤 誠一	豊岡市文化会館運営委員会会長
文化関係者	○田村 晃子	豊岡市文化会館運営委員会副会長
文化関係者	樋口里代子	豊岡市文化会館運営委員会委員
文化関係者	與田 恭子	豊岡市文化会館運営委員会委員
文化関係者	木村 尚子	文化協会 社会教育委員
文化関係者	宮下 典子	文化協会 社会教育委員
文化関係者	大西 恵子	豊岡市文化会館運営委員会委員
行政代表	平田オリザ	豊岡市芸術文化参与

(敬称略、◎…委員長、○…副委員長)

2 団体ヒアリングの結果

(1) 実施概要

第1回	2018年11月9日14:00～16:00	豊岡稽古堂交流室
第2回	2018年11月9日19:00～21:00	市役所庁議室
第3回	2018年11月10日10:00～12:00	市役所庁議室
第4回	2018年11月10日14:00～16:00	市役所庁議室

(2) ヒアリング参加者一覧（計24団体32名）※順不同

No.	カテゴリー	団体名称	人数
1	1. 地域	豊岡市区長連合会	1人
2		豊岡市社会教育委員会	1人
3		豊岡市体育協会	1人
4		子育て総合センター	1人
5		豊岡市PTA連合会	1人
6		豊岡市老人クラブ連合会	1人
7		但馬障害者通所施設連絡会	1人
8	2. 文化団体	豊岡文化協会	2人
9		城崎文化協会	1人
10		竹野文化協会	1人
11		日高文化協会	3人
12		出石文化協会	2人
13	3. 吹奏楽	但馬吹奏楽連盟	2人
14	4. 楽器店	株式会社岡楽器店	1人
15		田中音友堂	2人
16	5. 商工観光	豊岡商工会議所	1人
17		豊岡市商工会	1人
18		豊岡観光協会	1人
19		たけの観光協会	1人
20		全但バス株式会社	1人
21	6. 施設管理運営	NPO法人コミュニティアートセンタープラッツ	2人
22		城崎国際アートセンター	1人
23		NPO法人コミュニティ日高	1人
24		豊岡劇場	2人

(3) ヒアリング結果

設問項目
ア 団体概要
イ 活動状況
(ア) 日常活動
(イ) 公演・発表など
ウ 豊岡市民会館について
エ 新しい施設について
(ア) 立地
(イ) ホールの機能（規模）
(ウ) 附帯設備
(エ) その他



ア 団体概要

- ・ 特に文化団体は、会員が減少傾向にある
 詳細は9ページ以降参照

イ 活動状況

- ・ 文化団体については、合併後も旧市町単位の文化協会でも活動しており、文化祭等の催事も各地域で開催している
 個別の団体活動状況については、9ページ以降参照

ウ 豊岡市民会館について

- 文化ホールを利用する・利用したことがある （9団体）
- 文化ホールを利用しない （8団体）

【利用ジャンル】

- ・ 文化団体発表会（合唱、アカペラなど）
- ・ 音楽コンクール（エレクトーンアンサンブルなど）
- ・ 学校の定期演奏会・音楽会
- ・ 公式行事（成人式など）
- ・ 記念公演（著名アーティストのコンサート経験あり）

【利用しない理由】

- ・ 会場が大きすぎて使いづらい（集客困難）
- ・ 利用料金が低い

【その他】

- ・ 文化団体は大中会議室、ギャラリー、リハーサル室等を利用（展示発表、練習、教室）
- ・ 会館の事務局は配置換えが頻繁にあり、コミュニケーションが取りづらい

- ・ 申し込み時点でキャンセル料が発生する

エ 新しい施設について

(ア) 立地

- 豊岡市内 (6 団体)
- 旧豊岡市内(合併前) (1 団体)
- 市街地 (3 団体)
- 街なかで歩ける (2 団体)
- 駅の近く (2 団体)
- 交通の便 (2 団体)
- 駐車場が十分にとれる (1 団体)
- 特になし (13 団体)

【ご意見 (具体案)】

- ・ 旧 6 地区の交通網の良いところ
- ・ 出石と豊岡の中間など、中途半端は良くない
- ・ 市街地にあって、出石の方も足を運びやすいところ
- ・ 高校生が利用できる駅近くがよい
- ・ 雪のことを考慮したところ
- ・ 中心地は周縁部からは遠い
- ・ 全ての施設が豊岡に集中するのは問題

(イ) ホールの機能 (規模)

- 1200～1500 人 (1 団体)
- 1200 (1 団体)
- 800 (1 団体)
- 600～700 (1 団体)
- 500～600 (1 団体)
- 300～400 (1 団体)
- 200～300 (5 団体)
- ～200 (1 団体)
- 市民が使い易い (1 団体)
- こじんまり (1 団体)
- 大規模施設は不要 (3 団体)
- 特になし (6 団体)

【ご意見 (具体案)】

- ・ 「茅野市民館」のようにマルチ・展示会利用可能な施設
- ・ 多目的に対応できるように多機能にすべき
- ・ スポーツを取り込むくらいの奇抜なもの
- ・ 映画上映できるもの、映像との連携を望む

- ・ 大きいものは市民には使えない
- ・ クラシックなら小・中ホールが欲しい
- ・ 音響が良いもの
- ・ 気候に合わせて音質管理できること
- ・ 舞台・袖が広いもの
- ・ フラットで搬入出や舞台転換しやすいこと
- ・ コンパクトで会場費が安いもの
- ・ 中核都市にふさわしいもの

(ウ) 附帯施設について

- | | |
|----------------|--------|
| ○ リハーサル室 | (3 団体) |
| ○ 練習室・スタジオ | (6 団体) |
| ○ ゆとりある楽屋・更衣室 | (2 団体) |
| ○ 衣裳部屋・器具庫 | (1 団体) |
| ○ 会議室 | (3 団体) |
| ○ レクチャースペース | (1 団体) |
| ○ 展示室・ギャラリー | (3 団体) |
| ○ 図書館・美術館 | (3 団体) |
| ○ レストラン・カフェ | (4 団体) |
| ○ 交流・フリースペース | (2 団体) |
| ○ 託児施設・子供が遊べる所 | (1 団体) |
| ○ 駐車場 | (9 団体) |
| ○ 特になし | (7 団体) |

【ご意見（具体案）】

- ・ 武道館との併用
- ・ 葬儀ができる場所
- ・ 子供と高齢者が集まれるところ
- ・ 大型バスの乗入れ可能な駐車場
- ・ バリアフリーのバス停
- ・ 創造的な空間はまち全体のレベルアップにつながる

(エ) その他

【ご意見（具体案）】

- | | |
|------------------------|--------|
| ○ 日常的に市民が活動しやすい | (2 団体) |
| ○ 著名アーティストより市民活動の成果を発表 | (1 団体) |
| ○ 城崎国際アートセンター、大学との連携 | (2 団体) |
| ○ 地域バランス、既存施設とのネットワーク | (3 団体) |
| ○ 市民プラザでできないことをやって欲しい | (1 団体) |

- | | |
|------------------------|---------|
| ○ メインホールで何をやるか | (1 団体) |
| ○ 豊岡の特徴あるもの | (1 団体) |
| ○ ほんものを作ること | (1 団体) |
| ○ 但馬の中の豊岡であること | (1 団体) |
| ○ 地域の文化を発信する拠点であること | (2 団体) |
| ○ 文化と生活を連動させること | (1 団体) |
| ○ 親子で足を運ぶ施設とすること | (1 団体) |
| ○ リーズナブルな利用料金とすること | (2 団体) |
| ○ ホール直行バス、遠方利用者の交通費助成 | (2 団体) |
| ○ 半官半民の運営が良い、採算性だけではない | (2 団体) |
| ○ 会館スタッフのスキルアップ | (1 団体) |
| ○ バリアフリー | (1 団体) |
| ○ 若者を呼び込むしくみ、人口減少の歯止め | (2 団体) |
| ○ 特になし | (10 団体) |

(4) 豊岡市新文化会館整備基本構想・基本計画 グループヒアリング記録

日 時：2018年11月9日 14:00～16:00

ところ：交流室 3-1・2

ヒアリング先（敬称略）：豊岡市区長連合会、竹野文化協会、日高文化協会、子育て総合センター、豊岡市商工会、豊岡観光協会、たけの観光協会、NPO 法人コミュニティ日高、(株)岡楽器店、豊岡劇場、全但バス(株)但馬空港

NPO 法人コミュニティ日高

- ・ 平成 20 年に法人化
- ・ 2つの施設を指定管理している。（日高文化体育館、植村直己記念スポーツ公園）
- ・ 市民活動団体（文化協会、体育協会、スポーツクラブ 21 等）の事務局機能も担っている。市民団体の各種イベントのサポート等である。
- ・ 予算規模は例年、約 3300 万円程度
- ・ ベーゼンドルファー製のピアノを所有しており、ピアノが中心の音楽会を年間 1 回開催している。日常的に市民がピアノを弾くことの出来る取組みも行っている。
- ・ 文化体育館にて、大阪音大の北野先生を指導者に招き小中高、一般の吹奏楽 100～120 人規模の演奏会を年に 1 回開催している。その他、大阪音大出身者 4 人のグループにより、6つの学校に打楽器を中心とした訪問コンサートも行っている。他、新春落語会なども実施（団体としては、市民会館は利用していない。）
- ・ 文化体育館の年間来場者は約 26000～27000 人。文化と体育と両方合わせた設計がなされているため、利用効率が悪い。
- ・ 利用する器具の借り入れ等も行い、各種展示での模様替えが大変
- ・ 新文化会館について、立地として適当なのかを人口密度、交通状況の集約状況から判断することが大切だと考える。
- ・ 但馬の気候の問題で、音質などの管理を出来るといい。
- ・ 豊岡市の立地を生かした駐車場機能が整っているのが望ましい。
- ・ 他施設、旧公民館とのネットワークについてどのように考えているのか。
- ・ 高齢化社会(移動が難しい)について、どのように対応していこうと考えているのか。

豊岡市区長連合会

- ・ 豊岡市内、約 360 地区の区長のまとめ役。市内の区長協議会、町内会長会の相互の連絡調整を行っている。
- ・ 市民会館は普段あまり使用しない。公式行事のみ足を運ぶ。
- ・ 新施設については、200～300 人入る施設が欲しい。持ちまわりの大会はあるものの、大きい施設がいるか否かは疑問である。

日高文化協会

- ・ 豊岡市文化協会に属しながら、日高文化協会として活動をしている。18グループ約400名が加入している。文化協会主催の文化祭・作品展を開催
- ・ 所属している団体によっては、練習会場、発表会、展示会で利用していると思うが、日高文化協会としての利用はなし。
- ・ (発言者①) 個人的には、書道関係、川柳の関係に所属しており、豊岡市の文化協会展内の書道展、工芸展での展示を行っている。
- ・ (発言者②) 生花関係に所属しており、研究会・華展を行っている。毎月1度の研究会を行っているが、市民会館の会議室系の予約は3ヶ月スパンなので、1年間のスケジュールが特定できず、困っている。毎月同じ場所で研究会などを出来るようにしたい。華展を4年に1回するにあたって、1年前から準備しなくてはならないが、市の施設は、市民会館にしても予約を取ることが出来ない。体育館は設営費が高い。
- ・ 新施設の立地については、広大な市域なので、全て満足させるのは厳しいだろう。
- ・ 新施設については、1000名の収容施設は足りない。500～600の施設で音響効果の良いものが望ましい。一流歌手や一流オーケストラが公演できるようにして欲しい。
- ・ 展示会場は今の会館の4階程度の大きさで、部屋はもう少し増やして欲しい。
- ・ 身体の不自由な方、高齢者にとって利用しやすいものが良い。
- ・ 日高文化体育館は、文化的なもの、スポーツ的なものが分離出来ない状態なので、文化関係団体については、新施設はありがたい。
- ・ 大きなホールではなく、500～600名収容できるホールが望ましい。文化的なことに対応する、こじんまりした、使い勝手の良い施設が欲しい。
- ・ 会議室・練習室などの充実
- ・ 文化を中心とした展示室(美術室)が欲しい。
- ・ 文化祭などの衣装や、機具を保管する場所、会場場所兼更衣室的なものもある程度の大きさが欲しい。
- ・ パネルなどの収容場所を必要とするのか、収容場所を必要とせず、3ヶ月、半年と作品を入れ替えていけるのか。
- ・ 遠方から利用する方の為に、交通費などの助成・対策も必要

豊岡観光協会

- ・ 旧豊岡市の観光事業の振興を図り、観光資源の紹介・宣伝に寄与することを目的として設立。関係団体と提携しながら、観光資源の開発・調査・研究、観光事業及び施設の調査・研究並びに計画促進、郷土文化及び風光の紹介宣伝、観光土産品の改善指導及び紹介宣伝等を行い、関連する種々の事業活動を実施している。
- ・ 市民会館の利用は特にない。発表会なども特に行ってはいない。
- ・ 新施設については、過疎化が進む中で、抗える仕組みをつくる必要である。1200～1500人収容・集客できるものがないと意味がない。

- ・ 本物をつくらなくてはならない。

豊岡市商工会

- ・ 平成 21 年に発足
- ・ 旧豊岡には 5000 以上の事業所がある内、2600 を管轄
- ・ 組織率は 69%
- ・ 伴走型の経営支援。地域支援・地域の町興しを行っている。
- ・ 発表会等は特に行っていない。
- ・ 市民会館は使用していない。当団体の施設を来年以降、平田オリザ氏の練習場として使用予定
- ・ 中核都市として、劇場をどのような規模にするのかは重要
- ・ 現在の市民会館は多目的で、音響が不十分。そこで、文化芸術でいくのか、多目的・講演などで活用していくのか、目的を何にするかが課題
- ・ 城崎国際アートセンターとの関わり方も重要

竹野文化協会

- ・ 豊岡市文化協会に属しながら、竹野文化協会としての活動が主である。各文化団体のまとめ文化協会主催の文化祭・作品展の開催
- ・ 市街地近くの建設であれば、徒歩で利用可能。大きい施設であれば、郊外が望ましい。
- ・ 新施設は大きなホールはいらない。600～700 人くらいが良い。
- ・ 会議施設の充実を求める。

(株)岡楽器店

- ・ ヤマハ音楽教室を運営している。講師数約 20 名、生徒数約 600 名
- ・ 年間 6～7 回。小さいものまで含めれば約 10 回
- ・ 毎年エレクトーンのアンサンブルコンサート、コンクールを開催。市民会館を利用。
- ・ 新施設の立地については、交通の便がいいところが望ましい。
- ・ 500～600 人規模がちょうど良い。コンパクトで、会場費が安いホールが良い。
- ・ 練習が出来る練習室・リハーサル室の充実を求める。
- ・ 今の市民会館の駐車場規模を維持して欲しい。
- ・ 事前打ち合わせの通りに物事が進行されるようにして欲しい。
- ・ 会館で働く人のスキルアップも必要である。

豊岡劇場

- ・ 豊岡市で映画館を経営している。母体会社は不動産業の「有限会社石橋設計」。飲食業も行っている。年間観客数は約 16000 人
- ・ 市民会館の利用はなし。
- ・ 新施設は、スポーツを取り込む位の奇抜さ、他と差別化する特色のあるものが良い。
- ・ 既存の文化施設と連携していける施設になると良い。
- ・ 映画上映できる施設が欲しい。映画祭を企画したいので、その用途で使えると良い。
- ・ 35mm の映写機が可能であれば欲しい。
- ・ 映像のアーカイブがあるといい。

たけの観光協会

- ・ 竹野町内の観光振興、観光事業者が中心の団体で、観光振興事業を行っている。
- ・ 個人的に公的行事に参加したことはある。団体での使用は特になし。
- ・ 後で後悔しない立地にして欲しい。
- ・ 100 名くらいが入れる「コミュニティ会館」「ふれあい会館」はあるが、大きな集会施設がないので、もう少し大きいホールが欲しいが、人口規模を考えると難しいのかもしれないと考えている。

子育て総合センター

- ・ アイティの 7 階にセンターがあり、親子が自由に遊べる場所の提供を行っている。
- ・ 子育てに関する情報提供、育児相談、地域支援を行っている。職員は 9 名
- ・ 1 年間の登録グループは、約 150 組くらいである。
- ・ 月に 3~4 回の親子遊び、育児に関する講座、月に 2 回ほどの母親同士の交流、情報交換を実施している。
- ・ 直接の利用はないが、年に 1 度、お出かけ訪問コンサートという形で、センターに来てもらっている。
- ・ 新施設については、子どもが使いやすいトイレ、親子で入れるトイレ、オムツ交換台の充実を求める。子どもが少しでも遊べる場所の併設、託児施設の併設。親子で足を運びやすいといい。

全但バス(株)

- ・ 但馬の公共交通機関、乗合バス、高速バス等の事業の展開している。
- ・ 昨年で 100 周年を迎えた。
- ・ 市内施設や近隣市の指定管理も行っている。(豊岡市立出石総合スポーツセンター等)
- ・ 組織としての利用はなし。
- ・ 大型の乗り入れバスが入れる、充実した駐車場の併設
- ・ バス停でのバリアフリー機能も充実させて欲しい。

日時：2018年11月9日19:00～21:00

ところ：庁議室

ヒアリング先（敬称略）：出石文化協会、豊岡市社会教育委員会、但馬障害者通所施設連絡会、豊岡商工会議所、田中音友堂

田中音友堂

- ・ 楽器の販売、調律。豊岡、但馬全域で約10箇所の音楽教室の運営している。
- ・ 発表会やコンクールを実施している。
- ・ 市民会館は、当団体のイベント規模には大きすぎる、費用が高いという問題で、今は利用していない。集客力がないので、市外の300～400人のホールを使用している。
- ・ コンクールなどを豊岡でやりたい。
- ・ 大きいイベントをするのであれば、1000人規模が必要なのだろうが、大ホール・中ホールが出来るのであれば、300～400人のホールがあれば良い。
- ・ 図書館、練習スタジオ、カフェなど、劇場に興味のない方、若い方が気軽に寄れる施設になればよい。
- ・ 城崎のアートセンターと同じようなものでは意味がない。
- ・ 日頃から演奏出来、芸術家を育てられる施設があると良い。

豊岡商工会議所

- ・ 市内の商工業者の総合的な改善発展を図るとともに、社会一般の福祉の増進に資することを目的として設立
- ・ 現在の会員事業所は1400余を数え、商工会議所の運営をささえ又事業活動の推進力となっている。
- ・ 事業所経営に関する様々な手伝いや相談を無料で行い、地域の活性化のためのイベントや街づくりも行っている。
- ・ 発表会などは特に行っていない。記念公演をするくらいで、過去に市民会館で周年記念公演を行い、名のあるコンサートも実施したようである。
- ・ 新施設は、街中の方がありがたい。
- ・ 「茅野市民館」のようなマルチ機能がある、展示会が出来るようなスペースがあるといい。
- ・ 葬儀が出来る場所があるといい。
- ・ 駐車場をしっかりと確保して欲しい。
- ・ 寄付されたものをギャラリーなどで常時展示し、市民に楽しんでもらいたい。
- ・ プロによるレクチャースペースなどの設置して欲しい。
- ・ 専門職大学、城崎アートセンターとの連携も大切である。

出石文化協会

- ・ 文化団体 24 が加盟、加盟数は減少傾向にあり。加盟団体のとりまとめを行う。北但・南但、隔年で合唱際などを行っている。
- ・ 市民会館は、ひぼこホールに比べて音響が悪い。1100 余り客席のある会場は使いにくい。利用料金についても、ひぼこの 4～5 倍の費用がかかるのは厳しい。申し込み(仮押さえ)した段階で、キャンセル料が 100%かかるのが厳しい。
- ・ 町から近い、歩いてでも行ける場所が望ましいが、地域がら難しいだろう。
- ・ 中心につくるというのは納得出来るが、全ての施設が豊岡市内に出来るという一極集中には問題がある。中心地は遠方の方にとって交通の便が悪い。
- ・ 楽屋周りと駐車場の充実
- ・ 200～300 人が発表会などで使用できるホール。
- ・ 大きいホールは地元の人では使用できない。

但馬障害者通所施設連絡会

- ・ 但馬全域で、障害のある方達が使用するサービスを提供している。
- ・ 豊岡市内の施設を使用して年に数回催事を行っている。
- ・ 新施設については、旧豊岡市がいいだろう。
- ・ 多目的で多機能が望ましい。
- ・ 障害者が観客として使用できるように、バリアフリーが望ましい
- ・ 文化の発信地として行きやすい場所がいい。
- ・ リーズナブルに使えるといい。採算だけではないことを考えて欲しい。
- ・ 但馬の中の豊岡であることを忘れないで欲しい。

豊岡市社会教育委員会

- ・ 学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から構成
- ・ 個人としては、中学・高校で大きな行事、著名なアーティストが来たときに鑑賞している。自ら何かをするのに使う対象ではない。実行委員の立場にあったアカペラ団体で使用したことがあるが、集客が厳しい(せいぜい 500～600 人)。
- ・ 市民会館の事務局は配置換えが頻繁にあるので、コミュニケーションが取りにくい。
- ・ 250 人くらいの規模だと、自ら公演を行っていこうと思える。
- ・ 新施設の立地は、高校生が利用できるような駅近の場所がよい。雪のことも考えた立地がよい。
- ・ 駐車場の設置も必要
- ・ 半官民の運営がされるといい。
- ・ 他施設との兼ね合いで、どのような形態で行っていくのか。

日 時： 2018 年 11 月 10 日 10:00～12:00

ところ：庁議室

ヒアリング先（敬称略）：豊岡市体育協会、豊岡市老人クラブ連合会、城崎文化協会、豊岡市 PTA 連合会

豊岡市体育協会

- ・ 豊岡のスポーツ施設の指定管理をしている。2 年前までは、出石も管理していた。
- ・ 25 の種目団体が加盟、2800 名を超える会員を擁する。
- ・ 豊岡地区の社会体育の育成及び普及振興を図り、豊かなスポーツライフの実現に寄与することを目的に活動
- ・ 加盟団体の活動へ支援や、協会が実施する事業を通して、豊岡地区におけるスポーツ文化の振興と発展に向けた活動
- ・ 豊岡市立総合体育館・豊岡市立市民体育館・豊岡市総合スポーツセンター（陸上競技場・野球場・テニスコート）などのスポーツ施設の管理、運営
- ・ 豊岡体育協会独自事業を実施し、市民の健康意識を高めるとともに、豊岡市体育協会や兵庫県体育協会と連携し、スポーツに親しめる環境づくりを行っている。
- ・ 年に一回、ひぼこホールにて親子が楽しめる学芸会のようなものを実施。収容数は一杯にはならなかった。
- ・ 市民会館は利用していない。
- ・ 新施設規模は、自主事業等を見ているとあまり大きいものは必要ない考える。市民が使いやすい規模の施設を希望する。
- ・ じばさんホールの多目的ホールは、300 人ほどの会議に利用するが、舞台が高く人を見下す形になり使い勝手が悪かった。新施設ではそのような事がないようにして欲しい。
- ・ 総合体育館は古く雨漏り等の欠陥が出ているが、改築費用がない為建て替えの時期だと考えていた。
- ・ 豊岡には武道館がない為、柔道や剣道のできる武道館の併用を希望する。文化と体育を一つにして考えたい。
- ・ 住民もリハ室をもっと有効活用できる様にしたい。
- ・ 地域の文化を発信する拠点になって欲しい。
- ・ 著名なアーティストを呼んで活性化するのではなく、地域の人々が活発に活動できる場所にするべき。
- ・ 各地区での活動を披露することが大切である。

豊岡市老人クラブ連合会

- ・ これまで市民会館を利用したことはないが、今年度から健康セミナーで講座室を利用している。30 人規模の部屋で、小さいと感じている。
- ・ 新施設は、日常使いと併せて、ステージを使った発表会（カラオケ、踊り、寸劇等）

の利用の為に、150人程度収容できる部屋を希望する。

- ・ 現在駐車場が狭い為、新施設では広くして欲しい。
- ・ 使用料金が問題であると考え。原資は会員の会費の為、会員減少の中、財政が厳しい。もっと利用特典が欲しい。

城崎文化協会

- ・ 城崎の参加文化協会は28団体の160人から19団体の150人に減少
- ・ 文化協会は合併し「豊岡」を作ったが、結局は地区ごとに従来の文化協会において活動をしているという現状
- ・ 普段の活動は城崎コミュニティセンターを利用している。この施設が無いと活動できない。
- ・ 城崎国際アートセンターを利用している。概ね満足しているが利用料金が高い。
→行政では、中学校等の他の施設を利用することが出来ないかと言われている。
→アートセンター利用は、レジデンスは利用無料だが、市民は有料。政策の為仕方がない部分もあるが、格差を気にする人もいる。KIACを利用させて欲しい（2日間20万）
→市民は貸し出し優先順位が低い。
- ・ 市民会館は2年に1回、ひぼこホールと市民会館を交互に利用している。全市域の文化協会の催事、発表等の場として6団体合同で利用
- ・ ひぼこホールは音楽関係の団体等に大変評判が良い。
- ・ 但東、出石はひぼこホールが無くなったことで、文化祭が大変様変わりした。
→コミュニティセンター、永楽館を利用した。芸術関係の発表が多く、音楽関係の発表が少なかった。
- ・ 旧6地区の交通網の良い所。豊岡舞鶴線（高速道路）決定などを踏まえて検討して欲しい。
- ・ 今、一番人の集客が大きいのは成人式や講演会。吉本等の事業、学生発表会に当たったの利用も考えられる。大ホールは800人程度が適当であると考え。
- ・ 200～300人規模の小ホールがあれば、市民団体等が日常使い出来る。
- ・ 現市民会館では駐車場が問題。解決して欲しい。
- ・ 高校を卒業し、大学に進学すると8割の人が豊岡に帰ってこないという現状。人口減少の歯止めになる事を期待したい。

豊岡市PTA連合会

- ・ 市民プラザの300人のホールで他団体と共に講演会で利用。今年の12月にも実施する予定。ひぼこホールでの実施もあり。
- ・ 12年前に、JCとして労働会館とじばさんホールを使っていた。税理士のセミナーを実施したことがあるが、机を入れると人数が入らないということがあった。
- ・ PTAとして市民会館を使用することはない。
- ・ 旧市域内にある方がいい。全員が車でしか行けないというのは不便。広域から集客し

ないといけないとは思わない。

- ・ 北上のホールはとても良いと思うが、そこに若者にとっての魅力があるとは思わない。
- ・ 箱物を建ててあとはどうなるのかという声もある。
- ・ 駐車場が必要。公共交通機関があまりあてにならない為都市部よりも重要
- ・ 市民プラザのフリースペースはとても良い。
- ・ 岡崎の図書館と一緒にしているホールは雰囲気良かった。このような創造的な空間は全体のレベルを上げると考える。
- ・ これからの若者を呼び込む仕組みが必要だと考える。
- ・ 美術館やレストランなどもあればいい。

日 時： 11 月 10 日 14:00～16:00

ところ：庁議室

ヒアリング先（敬称略）：豊岡文化協会、城崎国際アートセンター、但馬吹奏楽連盟

但馬吹奏楽連盟

- ・ 上位組織は兵庫県吹奏楽連盟の下位団体にある組織。小・中・高・大人、現段階では学校単位、一般の吹奏楽愛好家団体で構成。32 団体の加盟。
- ・ コンテスト、コンクールの 1 週間、2 週間前からホールを貸しきって練習を行う。
- ・ 但馬内の学校を集めた吹奏楽祭、コンクールなども行っている。年間 3 回の大きな行事を持つ。
- ・ 他団体の定期演奏会、音楽会などもある(豊岡総合高校など)。
- ・ 豊岡ブラスフェスタは軌道に乗りかけている。
- ・ 楽屋、フロアからステージまでの会館内全ての動線がオールフラットであるといい。舞台袖周りが広いといい。
- ・ 反響板を組んだときの入りとはけの間の淵が開くといい。
- ・ 客席数 1200 位がいい。
- ・ オーケストラよりも吹奏楽の使用が多く、打楽器などの使用も多いので、舞台が広ければ広いほどいい。
- ・ 他団体との合同演奏も多いので、大人数がのれる舞台が良い。
- ・ 練習室が充実しているといい。

豊岡文化協会

- ・ 豊岡市全体で取り組めることを目指している。
- ・ 各地域の芸能を集めている。
- ・ 芸能 74 団体を抱える。10 年位前は会員数 5000 人くらいだったが、高齢化のため、会員数は減少中
- ・ 加盟しているそれぞれの団体が教室などを運営
- ・ 毎年 11 月くらいに 1 度、芸能祭を行う(カラオケ、詩吟、舞踊等)。
- ・ 市民音楽祭も実施した(今年度は 13 団体演奏)。
- ・ お茶、生花、美術展を会館棟の大会議室、中会議室、ギャラリーなどを展示に使用している。
- ・ 個別の 4～5 団体、市民会館 3 階のギャラリーを使用して展示を行っている。
- ・ バレエ団体が発表会の 1～2 ヶ月前に市民会館のリハーサル室を使うことはある。
- ・ 機能的な面では専門家に任せたらいいのではないかと。
- ・ 多機能が理想
- ・ クラシックに特化するのであれば、小ホール・中ホールが欲しい。しかし、専門ホールはなくてもいいと考える。
- ・ 展示の団体が多いので、ギャラリーが欲しい。

- ・ 市民が交流できる場が欲しい。
- ・ リハーサル室・音楽練習室の充実
- ・ 軽食の取れる喫茶室が欲しい。
- ・ ご飯を食べられるスペースが欲しい。
- ・ 舞台に裏から入れる大きめの楽屋が欲しい。
- ・ 駐車場の充実
- ・ 人の出入りのしやすい、フラットな施設が良い。
- ・ ホール直行のバスがあればいい。
- ・ 地方の公共ホールは指定管理には向かない。
- ・ 都会に行かずに都会の芸術を手ごろな価格で提供するのが市民会館の自主事業の目的だが、これと指定管理者の求める収益性は両立が難しいので、どのように運営管理していくのが課題となってくるだろう。
- ・ 各施設での行う催事などの形態の住み分け・機能分担が必要
- ・ メイン施設としてのリーダー的ポジションを担うべき。
- ・ 今の市民プラザで出来ないものを出来る施設がいい(市民プラザとの住み分け)。

城崎国際アートセンター

- ・ 温泉街の中に位置する舞台芸術を中心とした滞在型の創造活動、アーティスト・イン・レジデンスの拠点。ホール、スタジオ、レジデンス（宿泊施設）で構成されている。
- ・ 舞台芸術の発表の場としてだけでなく、アーティストが城崎のまちに暮らすように長期滞在できるアートの拠点を運営している。
- ・ 新施設の立地は、豊岡の市街地がいい。

3 市民アンケートの結果

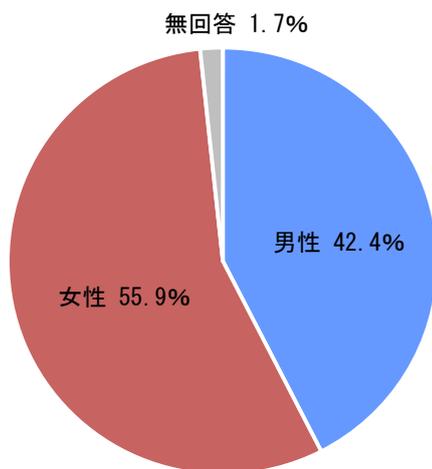
(1) 実施概要

- 発 送 日 平成 30 年 11 月 29 日(木)
- 対 象 市民 3,000 人(人口割合に応じて、各地域、性別、年齢層ごとに配布数を調整)
- 回 収 数 992 通(回収率 33.1%)
- 設問内容
 - I. 属性
 - II. 鑑賞について (鑑賞ジャンル・良く行く施設・その理由など)
 - III. 文化芸術活動について (文化活動の有無・活動場所など)
 - IV. 既存施設について (日常的によく訪れる場所、施設に対する意見など)
 - V. 新施設に望むこと (施設規模・機能など)

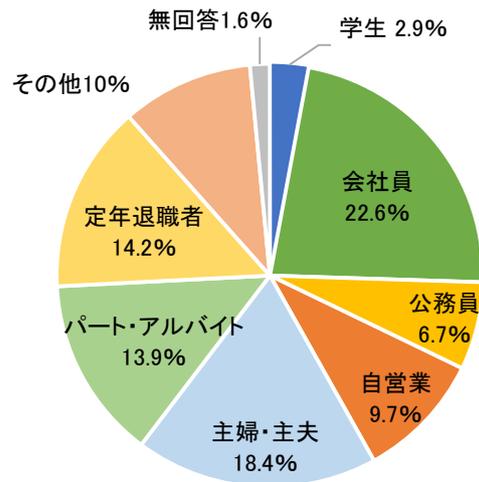
(2) 回答者属性

- ・ 性別は女性が約 6 割、男性が 4 割
- ・ 年齢層別では 50、60、70 代の回答が多い

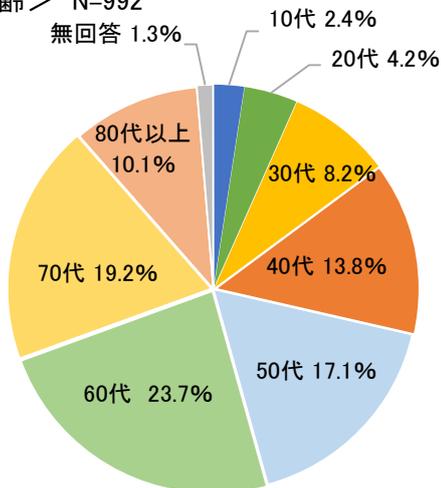
<性別> N=992



<職業> N=992



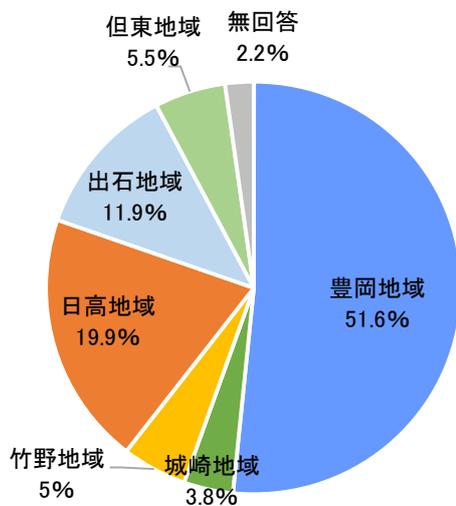
<年齢> N=992



	配分割合	回答割合
10 代	5.3%	2.4%
20 代	7.7%	4.2%
30 代	12.0%	8.2%
40 代	14.8%	13.8%
50 代	14.8%	17.1%
60 代	18.2%	23.7%
70 代	14.0%	19.2%
80 代	13.2%	10.1%
無回答	—	1.3%

- 豊岡地域の回答が多いは人口割合に応じた配分割合によるものである。

<居住地> N=992



	配分割合	回答割合
豊岡	52.2%	51.6%
城崎	4.4%	3.8%
竹野	5.7%	5.0%
日高	20.2%	19.9%
出石	12.2%	11.9%
但東	5.3%	5.5%
無回答	—	2.2%

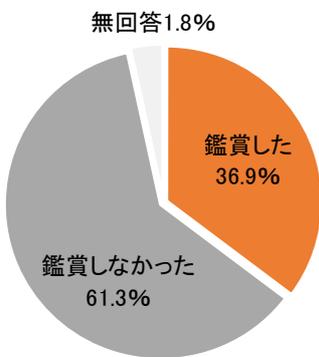
(3) 鑑賞について

市民の芸術文化鑑賞経験の有無、その回数や鑑賞内容などの詳細は下記の通りです。

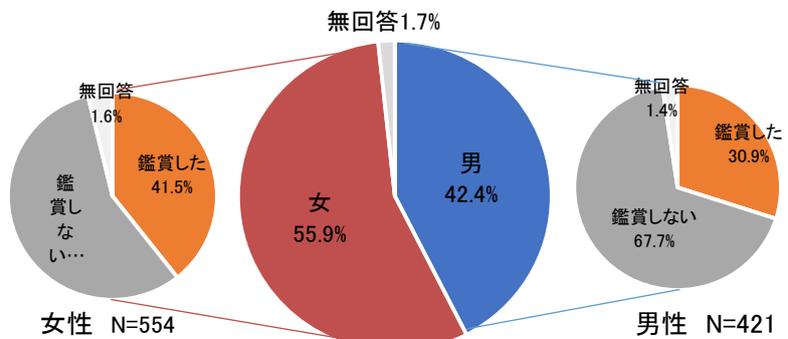
ア 鑑賞経験

- ・ 「鑑賞しなかった」が「鑑賞した」を上回り、その内「鑑賞した」と応えたのは、男性が3割、女性が4割であった。
- ・ 学校の芸術鑑賞会のためか、10代の鑑賞率は高くなっているが、20代で一度低下し、年齢とともに増加、40代以上は4割弱と若干の増加が見られる
- ・ 職業別では、公務員・学生の鑑賞率が高く、会社員、パート・アルバイトの鑑賞率は低くなっている。
- ・ 居住地域別では、竹野・豊岡地域の鑑賞率がやや低い。

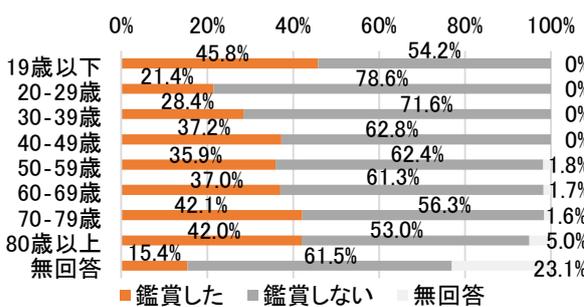
<過去1年の鑑賞経験の有無> N=992



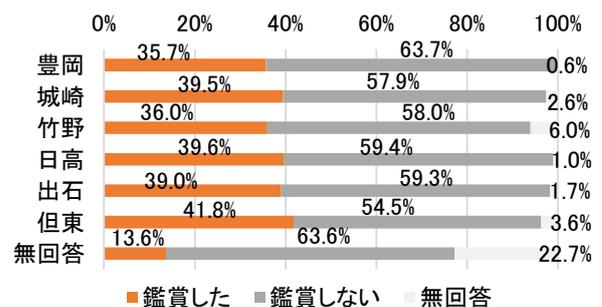
<性別×鑑賞した・しない> N=992



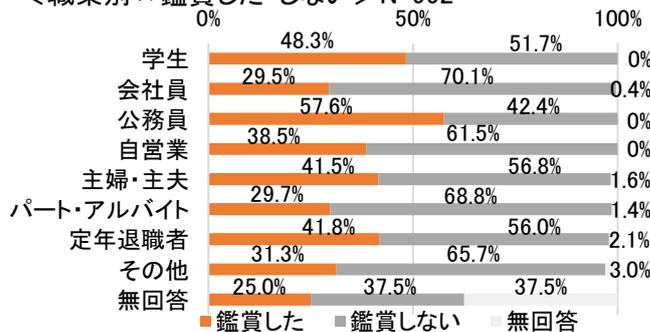
<年代別×鑑賞した・しない> N=992



<地域別×鑑賞した・しない> N=922



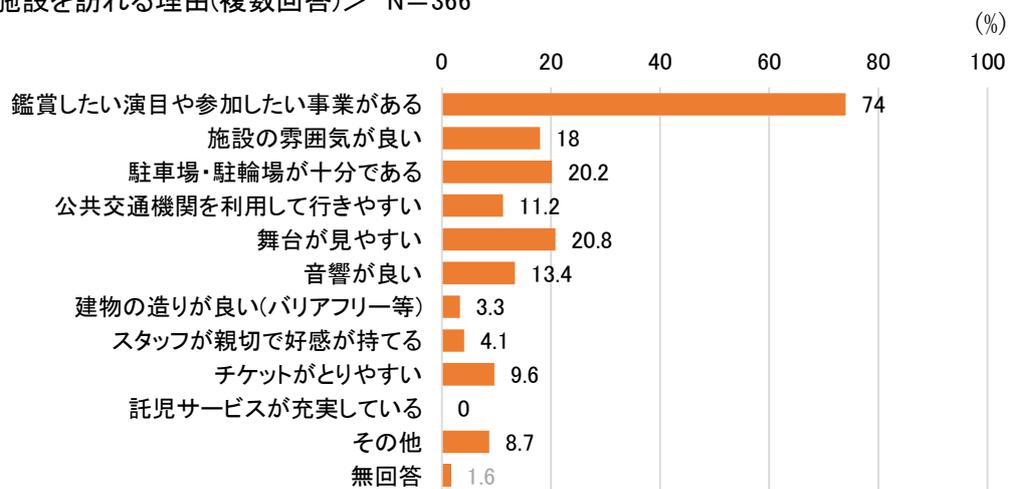
<職業別×鑑賞した・しない> N=992



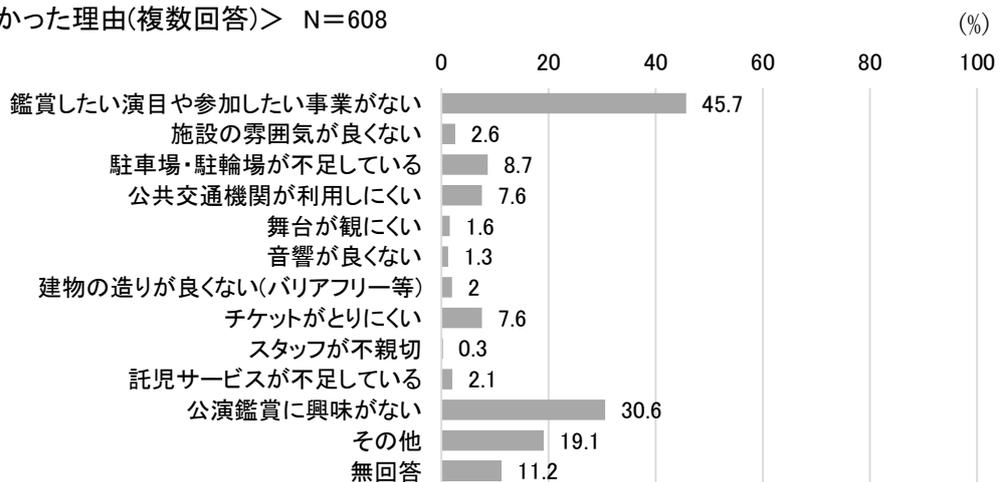
イ 鑑賞した・しない理由

- ・ 鑑賞した施設を訪れた理由は、「鑑賞したい演目や参加したい事業があるから」について、「駐車場・駐輪場が十分」、「舞台が観やすい」が続いている。
- ・ 鑑賞しない理由は、「鑑賞したい演目や参加したい事業がない」が最大となっているが、5割に留まっている。
- ・ 駐車不足や公共交通機関を理由とする割合が各1割弱となっており、「公演鑑賞に興味がない」も全体の3割強となっている。
- ・ 総体的に、魅力的な演目や事業の提供が課題となっており、具体的なニーズの把握が必要である。「公演鑑賞に興味がない」層への働きかけ、アクセス環境の確保にも課題が残る。

<鑑賞した施設を訪れる理由(複数回答)> N=366



<鑑賞しなかった理由(複数回答)> N=608



<その他・鑑賞した施設を訪れる理由>

- 近い (14)
- 知人に誘われたから (3)
- 学校行事の一環 (2)
- 仕事上の関係／資格試験の会場／チケットの義理買い／知人・自分の出演／料金が手ごろ／便利／旅行先の鑑賞／封切が全国と同じだから (1)

<その他・鑑賞しなかった理由>

- 忙しくて時間がない (68)
- 高齢・病気・怪我のため(14)
- 情報不足(10)
- アクセスが悪い(7)
- 引っ越してきたばかりであるため(5)
- 観劇するお金がない(3)
- 一緒に行く人がいない(2)
- 気持ちのゆとりがない／知り合いが多くて気を遣う／自営業のため／近すぎて利用しようと思わない(1)

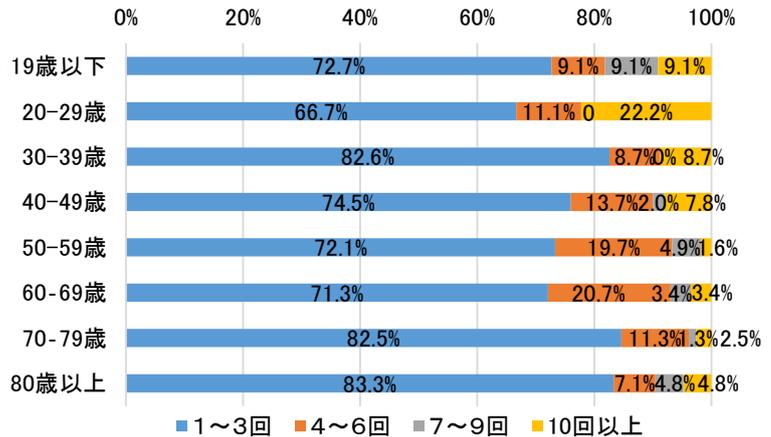
ウ 鑑賞回数

- ・ 劇場・ホールの来訪数は1～3回が8割を超え、4回以上は少ないことから、日常的に劇場・ホールを来訪する習慣は浸透していない様子が見受けられる。
- ・ どの年代も1～3回の割合が多く、子育て世代の30代、70代以上の高齢者は、4回以上鑑賞した割合が低くなっている。それ以外の年齢層では4回以上が3割前後となっている。

<鑑賞回数> N=366



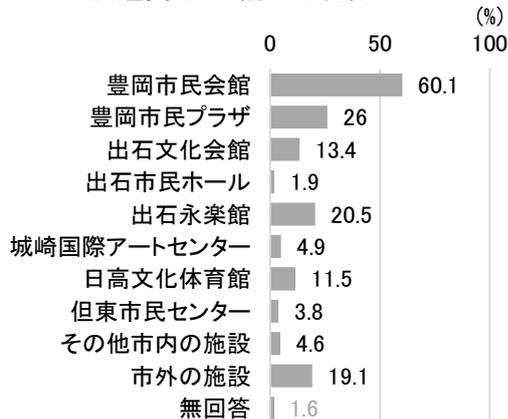
<年齢×鑑賞回数> N=350



エ 鑑賞施設

- ・ 公演鑑賞に訪れる場所は、市民会館が7割で最大、市民プラザが3割、出石永楽館が2割、その他の施設は、豊岡劇場（映画）が多数となっている。
- ・ 2割程度の人が市外施設を利用し、神戸・大阪・京都の大規模施設を訪れており、近隣の養父、八鹿、和田山の施設利用者は大都市施設より少数となっている。このことから、見たい演目があれば遠方まで足を運ぶ傾向にあるといえる。
- ・ 豊岡市民会館は城崎・竹野・日高・但東地域住民に地元の施設以上に利用されている。
- ・ 出石地域のみ豊岡市民会館の利用よりも地元施設の利用が多く、ひぼこホールの閉館に伴い、豊岡市民会館の利用増が見込まれる。

<公演鑑賞でよく訪れる施設> N=366



<地域別×公演鑑賞でよく訪れる施設> N=360

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
豊岡市民会館	71%	46.7%	72.2%	52.6%	34.8%	43.5%
豊岡市民プラザ	35.5%	6.7%	38.9%	16.7%	10.9%	17.4%
出石文化会館	8.2%	6.7%	5.6%	9%	34.8%	30.4%
出石市民ホール	1.6%	0%	0%	0%	8.7%	0%
出石永楽館	15.3%	20%	27.8%	10.3%	50%	34.8%
城崎国際アートセンター	5.5%	33.3%	0%	2.6%	2.2%	0%
日高文化体育館	2.2%	0%	0%	43.6%	4.3%	4.3%
但東市民センター	2.2%	0%	0%	0%	0%	34.8%
その他_市内の施設	4.4%	0%	5.6%	5.1%	4.3%	8.7%
その他_市外の施設	15.8%	20%	16.7%	24.4%	28.3%	13%

<その他・市内の施設>

- 豊岡劇場(12)
- 豊岡総合体育館(1)
- 豊岡短期大学(1)
- 豊岡(1)
- 五荘コミュニティセンター(1)

<その他・市外の施設>

【兵庫】

- 和田山ジュピターホール(7)
- 八鹿文化会館／神戸国際会館／兵庫県立芸術文化センター／宝塚大劇場(3)
- 神戸文化ホール／イオンシネマ三田ウッディタウン／あましんアルカイックホール(2)
- アースシネマズ姫路／姫路市文化センター／養父市立ビバホール(1)

【大阪】

- 梅田芸術劇場／フェスティバルホール(7)
- 大阪城ホール／京セラドーム大阪(6)
- 大阪四季劇場／ザ・シンフォニーホール(2)
- なんばグランド花月／新歌舞伎座(1)

【京都】

- 京都四篠 南座／福知山の映画館(2)
- 京都シネマ／京都コンサートホールロームシアター京都(1)

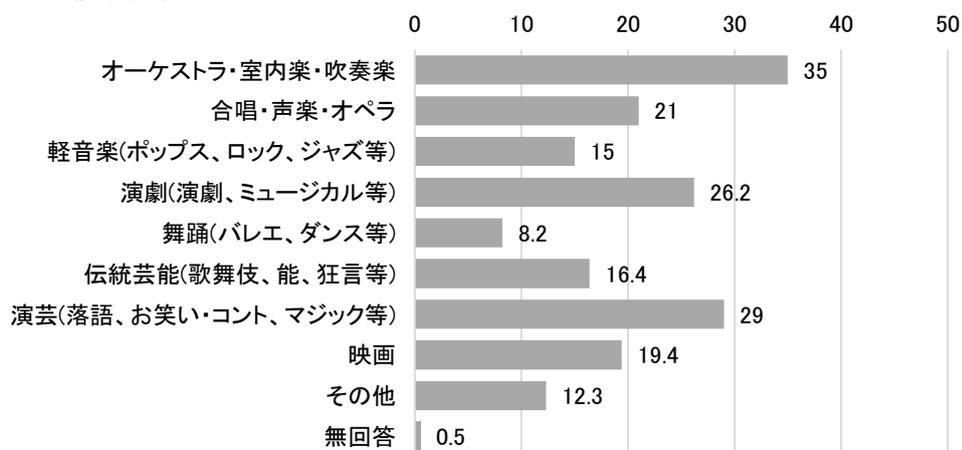
【その他】

- キャッツ・シアター／新橋演舞場／明治座／NHKホール／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール／サンドーム福井／スポーツ体育館(1)
- 大阪／神戸／京都／東京／さいたま市(1)

オ 鑑賞ジャンル

- ・ 鑑賞ジャンルは、「オーケストラ・室内楽・吹奏楽」といった器楽が約4割と最も多く、次いで「演芸」、「演劇」が約3割となっている。
- ・ 学校の芸術鑑賞の影響か、10代の演劇鑑賞率は約8割にのぼり、70代以上も3割を越している。
- ・ オーケストラ等の鑑賞率は、いずれの世代も約3割を超えている。
- ・ 60代以上の各世代では演芸が、30代以下では映画が約3割の鑑賞率を超えている。

<主な鑑賞ジャンル(複数回答)> N=366 (%)



<世代別×鑑賞ジャンル(複数回答)> N=366

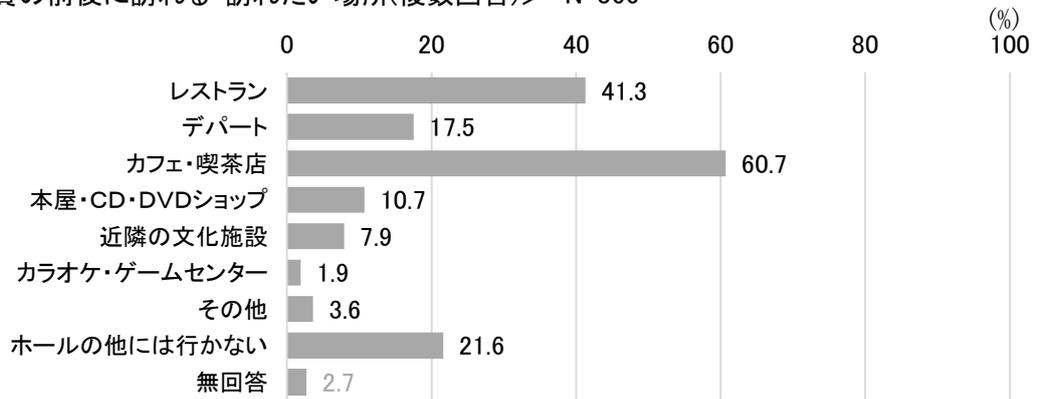
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
オーケストラ等	27.3%	44.4%	39.1%	45.1%	37.7%	32.2%	27.5%	33.3%
合唱・声楽・オペラ	9.1%	0%	13%	9.8%	23%	21.8%	31.3%	23.8%
軽音楽	0%	22.2%	26.1%	17.6%	24.6%	17.2%	5%	9.5%
演劇	81.8%	22.2%	17.4%	9.8%	23%	25.3%	33.8%	28.6%
舞踊	0%	0%	17.4%	11.8%	4.9%	6.9%	10%	4.8%
伝統芸能	9.1%	11.1%	4.3%	13.7%	9.8%	23%	17.5%	21.4%
演芸	18.2%	33.3%	13%	15.7%	21.3%	31%	41.3%	38.1%
映画	27.3%	44.4%	34.8%	17.6%	24.6%	14.9%	17.5%	11.9%
その他	9.1%	0%	8.7%	11.8%	11.5%	12.6%	13.8%	16.7%
無回答	0%	0%	0%	2%	1.6%	0%	0%	0%

<その他の自由意見>

- コンサート(クラシック含む) (9)
- ウクレレ (2)
- 講演会 (8)
- リーディング (1)
- 各種発表会・大会 (5)
- 和太鼓 (1)
- 祭 (3) : 文化祭・市民芸能祭・福祉祭り
- 詩吟 (1)
- 夏期大学 (2)
- フラダンス (1)

- ・ 公演鑑賞の前後に訪れる・訪れたい場所は「カフェ・喫茶店」、「レストラン」と飲食店の人気が高いことが分かる。これは、性別、年齢、職業、地域に関わらず、同様の傾向が見られる。
- ・ 公演鑑賞時の居場所として、飲食の場が望まれることから、施設に併設するか、建設場所を考慮するかなど、検討を要する。

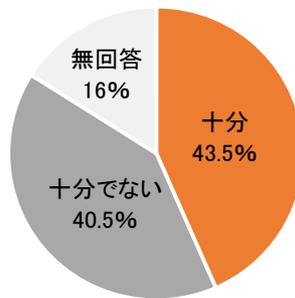
＜公演鑑賞の前後に訪れる・訪れたい場所(複数回答)＞ N=366



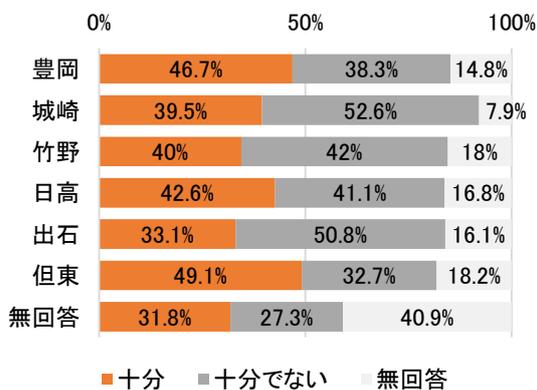
カ 鑑賞機会の提供

- ・ 公演鑑賞の機会については、十分 43%、不十分 40%となっている。
- ・ 年齢別では、50・60代が鑑賞機会の提供について、不十分が上回っている。
- ・ 地域別に見ると、竹野、城崎、出石において、大きく不十分が上回っている。

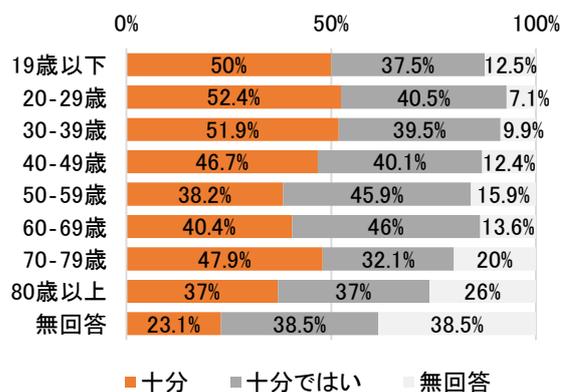
＜公演鑑賞の機会や環境の提供は十分か＞ N=992



＜地域×鑑賞機会の提供＞ N=992



＜年齢×鑑賞機会の提供＞ N=992



<その他の自由意見>

【公演内容について】

- 鑑賞したいと思うものがない (41)
- 機会、公演回数が少ない (18)
- 鑑賞ジャンルが少ない、限られている (若者向けのものが少ない、都会に比べて企画が少ない等) (12)
- 有名なアーティストが来ない (12)
- チケットが取りにくい (3)

【建物・設備について】

- 施設が少ない、設備が古い (13)
- 音響が良くない (6)

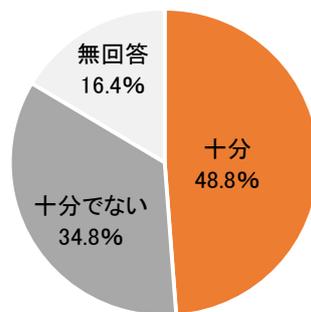
【その他】

- 興味がないためよく分からない (35)
- 駐車場の不足 (11)
- アクセスが悪い (15)
- ひぼこホールが使用出来なくなったため (6)

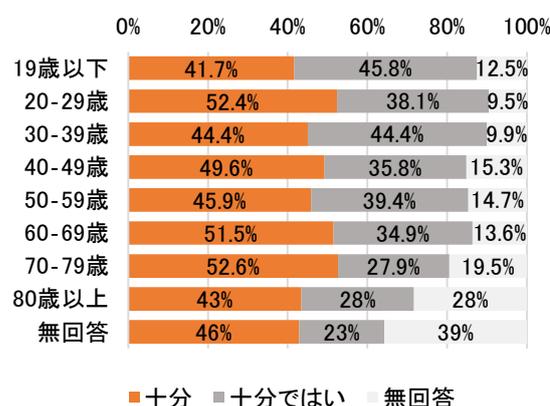
キ 鑑賞情報の提供

- ・ 公演に関する情報については、十分 48%、不十分 35%となっている。情報はあつもの、見たい公演は少ないという状況が推察される。
- ・ 19歳以下、20代と若い世代が、十分が不十分を下回っている。一方で、情報提供については、各地域とも十分が上回っている。

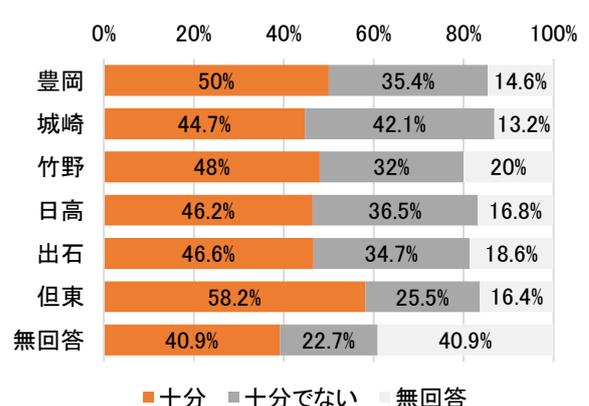
<公演鑑賞についての情報提供は十分か> N=992



<年齢×鑑賞情報の提供> N=992



<地域×鑑賞情報の提供> N=992



<その他>

【「十分」に対する意見】

○情報はあると感じる (4)

【「十分でない」に対する意見】

○情報が少ない (38)

○公演情報が分かりにくい (10)

○どこで情報を得られるのかが分からない (9)

○SNS やウェブをより活用すべき (6)

○目立つところに看板やチラシを掲示すべき (3)

【その他】

○興味がないためよく分からない (42)

○どちらでもない、満足かは人による (4)

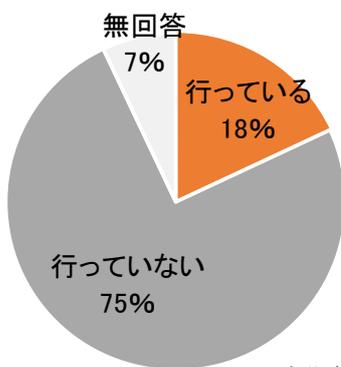
(4) 文化芸術活動について

文化芸術活動の有無、その目的や場所などの詳細は下記の通りです。

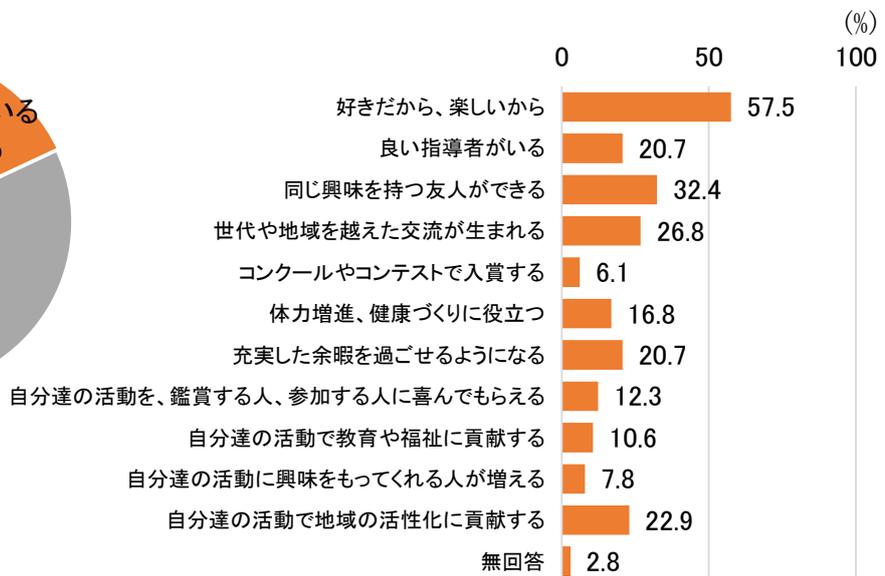
ア 文化芸術活動への取り組みと目的

- ・ 文化芸術活動を行っている人は15%で、その目的は「好きだから、楽しいから」が7割となっている。他にも友人、交流、充実した余暇等、豊かな日生活に関わる回答も多数あった。
- ・ 10代、60～80代で2割以上が活動を行っている一方、20・30代の活動率は著しく低くなっている。
- ・ 地域別に見ると、出石、竹野、但東が2割前後、豊岡、城崎、日高は1割程度となっている。

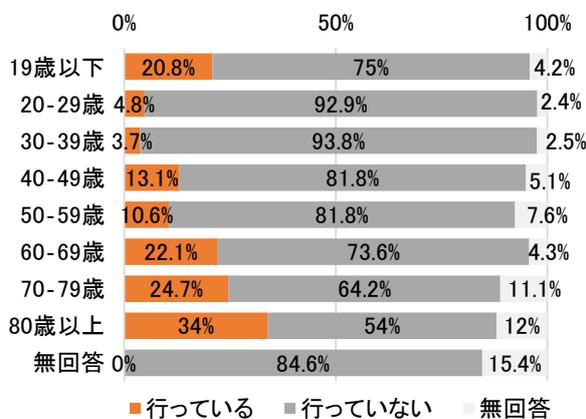
<文化活動への取り組み> N=992



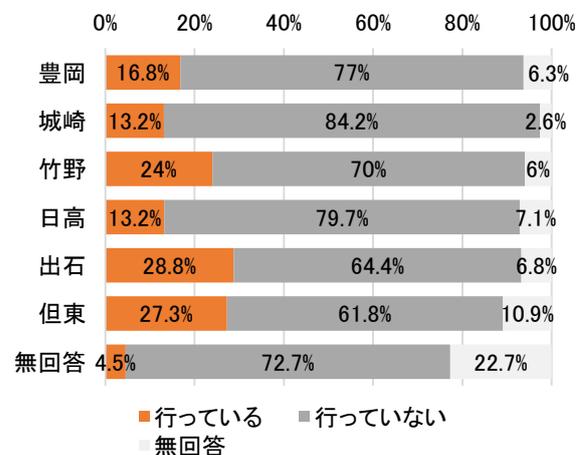
<活動を行う主な目的(複数回答)> N=179



<年代別×文化芸術活動> N=992



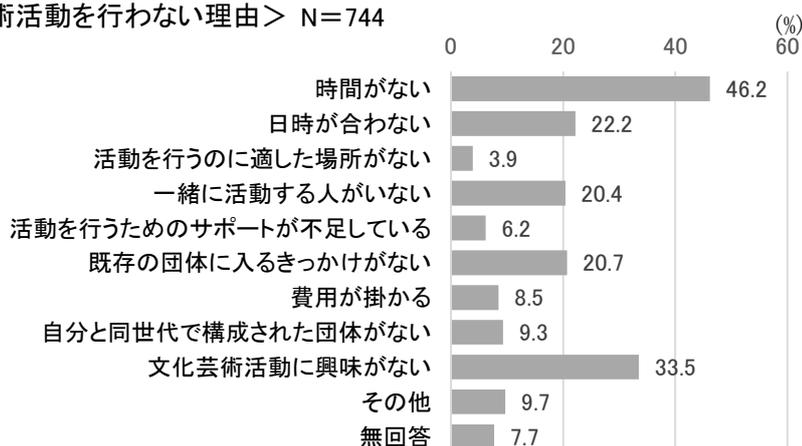
<年代別×文化芸術活動> N=992



イ 文化芸活動を行わない理由、行うきっかけ

- 文化芸術活動を行わない理由として、「時間がない」が約5割で最も多く、次いで「活動に興味がない」が約3割となっている。一方で、「日時が合わない、一緒に活動する人がいない、団体に入るきっかけがない」がそれぞれ2割となっており、きっかけがあれば、活動を行う可能性があると推察される。
- 文化芸術活動を行う主なきっかけは、「友人や仲間に誘われた」が約半数を占めている。

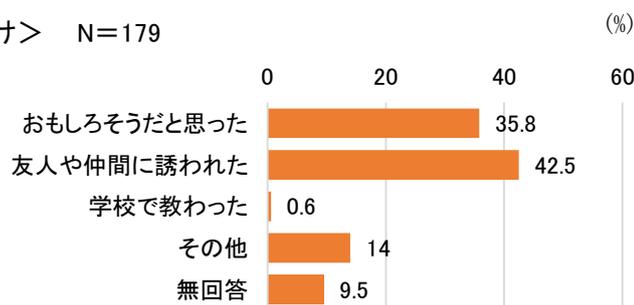
<文化芸術活動を行わない理由> N=744



<その他・活動を行わない理由>

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ○高齢・病気・けがのため (27) | ○移動手段がない (2) |
| ○文化活動を良く知らない (8) | ○スポーツをしている (2) |
| ○興味がないため (7) | ○趣味でしていた仕事をやめたから／ |
| ○介護・子育て等で余裕がない (4) | 文化活動と言えるものではない／一人 |
| ○人間関係が煩わしい (4) | でできることをしている／夜には行け |
| | ないため (1) |

<活動を行う主なきっかけ> N=179



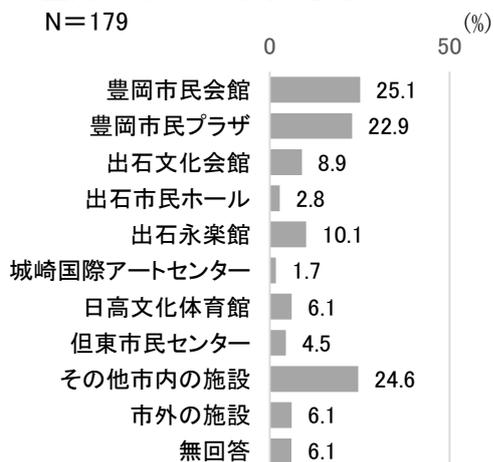
<その他・活動を行うきっかけ>

- 地域行事 (2)
- グループを立ち上げた、主催している (2)
- 区役員で活動に参加／前から活動していたから／趣味／部活動／自主的に始めた、若い頃からやりたかった／仕事で目にした／仕方なく (1)

ウ 豊岡市内でよく利用する活動場所

- ・ 豊岡市内でよく利用する活動場所は、市民会館が最も多くなっている。
- ・ 豊岡、日高、出石、但東においては、地元の施設の利用が多く、竹野、城崎においては、その他の市内の施設（各地区のコミュニティセンターや学校など）が多くなっている。なお、竹野については市民会館の利用も目立つ。

＜豊岡市内でよく利用する活動場所＞



＜豊岡市内でよく利用する活動場所×地域別＞

N=179

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
豊岡市民会館	36%	20%	33.3%	11.5%	8.8%	13.3%
豊岡市民プラザ	37.2%	0%	8.3%	7.7%	8.8%	13.3%
出石文化会館	4.7%	0%	0%	0%	29.4%	13.3%
出石市民ホール	1.2%	0%	0%	0%	11.8%	0%
出石永楽館	2.3%	0%	0%	3.8%	38.2%	13.3%
城崎国際アートセンター	1.2%	20%	0%	0%	2.9%	0%
日高文化体育館	0%	0%	0%	42.3%	0%	0%
但東市民センター	0%	0%	0%	0%	0%	53.3%
その他市内の施設	26.7%	60%	50%	26.9%	14.7%	0%
その他市外の施設	4.7%	0%	0%	3.8%	11.8%	13.3%

＜その他・市内の施設＞

- コミュニティセンター (12)
- 公民館 (9)
- 文教府 (5)
- 小学校 (4)
- オーベルジュ豊岡／コープデイズ豊岡／コスモス荘養護老人ホール／老人ホーム／デイサービス／長寿園／日高健康福祉センター／但馬高齢者生きがい創造学院／じばさん TAJIMA／豊岡市立総合体育館／中竹野ふるさと館／支社／玄関先／チームの練習場所／寺 (1)

＜その他・市外の施設＞

- 公民館／コミュニティセンター／京丹後市の施設／出石 B&G 海洋センター／京都市美術館／兵庫県立但馬文教府パフォーマンススペース (体育室)／阪急西宮ガーデンズ／TOHO シネマズ／養父市 (1)

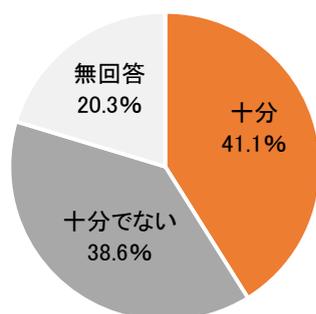
＜その他・その場所をよく利用する理由＞

- 自宅から近い (7)
- イベントや行事の開催場所であるため (3)
- 活動の場所であるため (2)
- 使用料を支払わなくていいため／他に良いホールがないため／友人に誘われたため／以前から使用していたため (1)

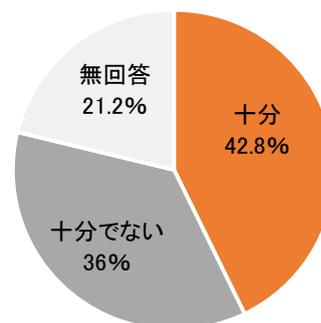
エ 文化芸術活動の機会・環境・情報提供について

- ・ 文化活動についての機会・環境提供については、十分・十分でないがほぼ同割合となっている。
- ・ 情報提供については十分が不十分を15ポイント上回っている。
- ・ 情報提供についての評価が活動機会・環境についての評価を上回っており、情報はあがるが必ずしも満足のいく文化活動機会・環境に関するものではない可能性がある。

＜文化活動に満足な機会・環境が提供されているか＞
N=992



＜文化活動情報提供は十分か＞
N=992



＜その他・文化活動について満足な機会・環境が提供されているか＞

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| ○文化活動の情報が少ない (29) | ○参加したい活動、できる活動が少ない (5) |
| ○会場が不足、取れない (14) | ○団体に入る敷居が高い (4) |
| ○活動分野を広げてほしい (7) | ○文化活動への支援が足りない (2) |
| ○施設の利便性（料金や規模）が悪い (7) | ○社会人になると難しい、力をいれていると思う (1) |
| ○自宅からのアクセスが悪い (7) | |
| ○どちらともいえない (5) | |
| ○文化活動をする機会がない (5) | ○わからない (86) |

＜その他・文化活動について満足な情報が提供されているか＞

- 興味がないためよく分からない (73)
- 情報が少ない (38)
- 公演情報が分かりにくい (22)
- どちらでもない、満足かは人による (9)
- 情報はあると感じる (4)
- 催し物の日時が被るなど、運営側の連絡もうまくいっていない (4)
- 情報提供の場への交通の便がない (3)
- SNS やウェブをより活用すべき (3)

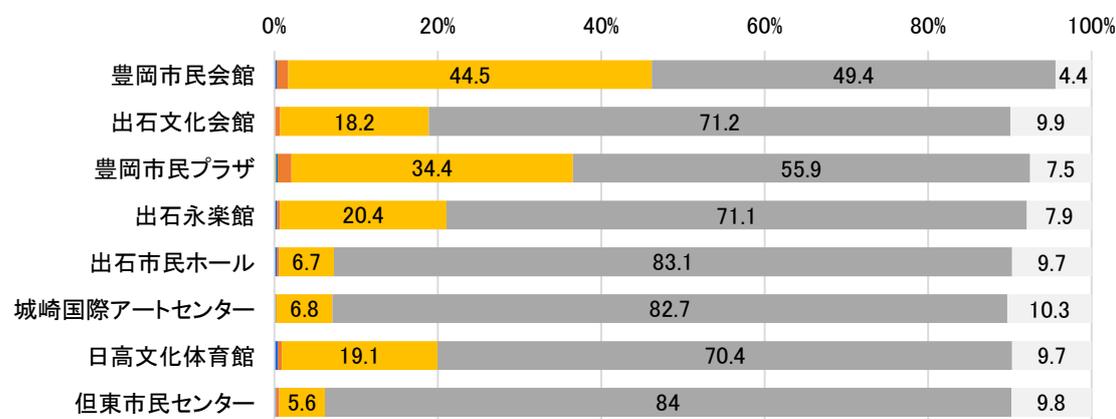
(5) 既存施設について

市民の既存の施設の利用とその内容については下記の通りです。

ア 施設来訪頻度とその目的

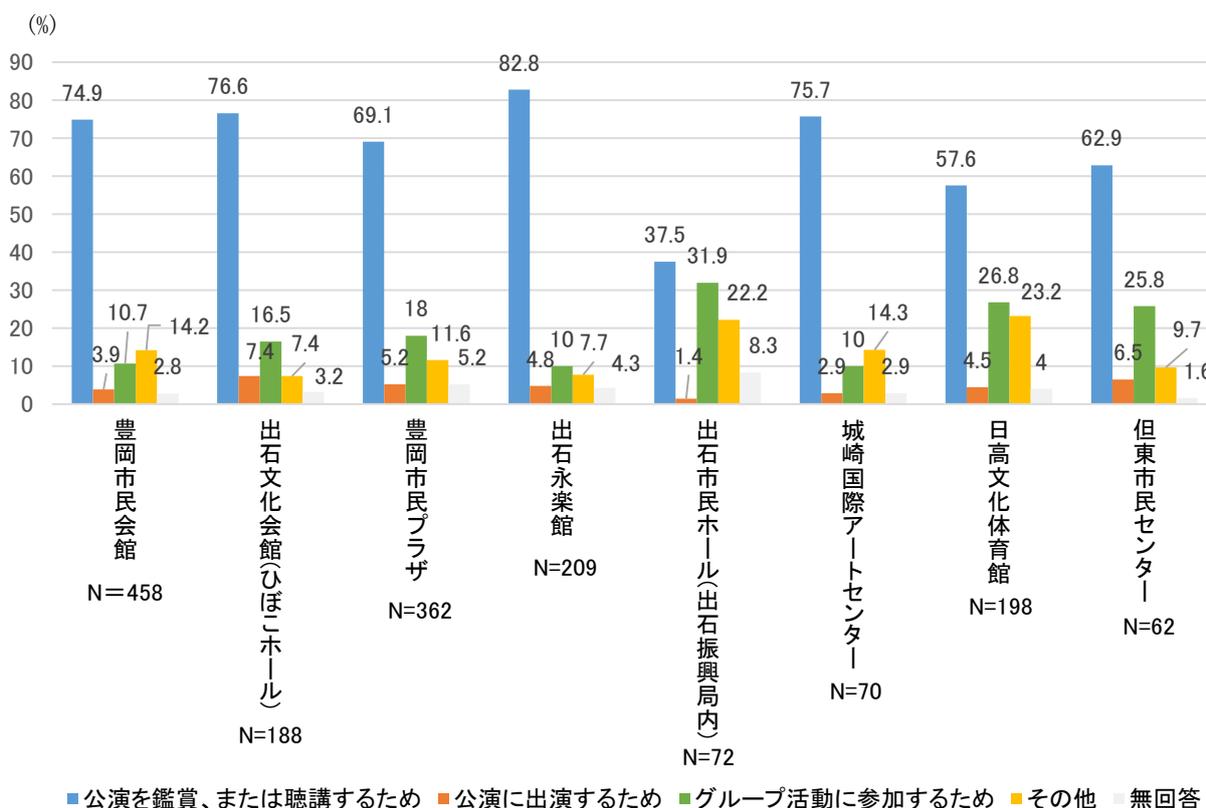
- ・ 過去3年間の施設来訪度が最も高いのは、市民会館となっており、その次に、豊岡市民プラザ、出石永楽館が続いている。
- ・ 各施設の来訪目的は、「公演を鑑賞、または聴講するため」が最も多くなっている。
- ・ 出石市民ホール、日高文化体育館、但東市民センターは「グループ活動」が比較的多くなっており、「公演に出演するため」は、少数ではあるが、いずれの施設でも行われている。

<過去3年間の施設来訪頻度> N=992



	豊岡市民会館	出石文化会館	豊岡市民プラザ	出石永楽館	出石市民ホール	城崎国際アートセンター	日高文化体育館	但東市民センター
■ ほぼ毎日	0	0	0.3	0	0	0.2	0	0
■ 週1回以上	0.3	0	0.1	0.3	0.3	0	0.4	0.2
■ 月1回以上	1.4	0.7	1.7	0.4	0.3	0.1	0.5	0.4
■ たまに利用	44.5	18.2	34.4	20.4	6.7	6.8	19.1	5.6
■ 来訪しなかった	49.4	71.2	55.9	71.1	83.1	82.7	70.4	84
■ 無回答	4.4	9.9	7.5	7.9	9.7	10.3	9.7	9.8

<施設の来訪目的>



■ 公演を鑑賞、または聴講するため ■ 公演に出演するため ■ グループ活動に参加するため ■ その他 ■ 無回答

<その他・施設への来訪目的>

【豊岡市民会館】

- 会議 (10)
- 式典・大会 (8)
- 展示会 (7)
- 研修 (5)
- 講習会・説明会 (3)
- 会社の行事 (2)
- 手続き・申請 (2)
- イベント (1)

【出石文化会館(ひぼこホール)】

- イベント (3)
- 講習会・説明会 (3)
- 式典・大会 (2)
- 会社の行事 (2)

【豊岡市民プラザ】

- 会議 (8)
- 育児 (4)
- イベント (4)
- 式典・大会 (3)
- 講習会・説明会 (2)
- 会社の行事 (2)
- 情報収集 (2)
- 見学 (1)
- 展示会 (1)

【出石永楽館】

- イベント (9)
- 見学 (2)
- 式典・大会 (1)
- 会社の行事 (1)
- 会議 (1)

【出石市民ホール】

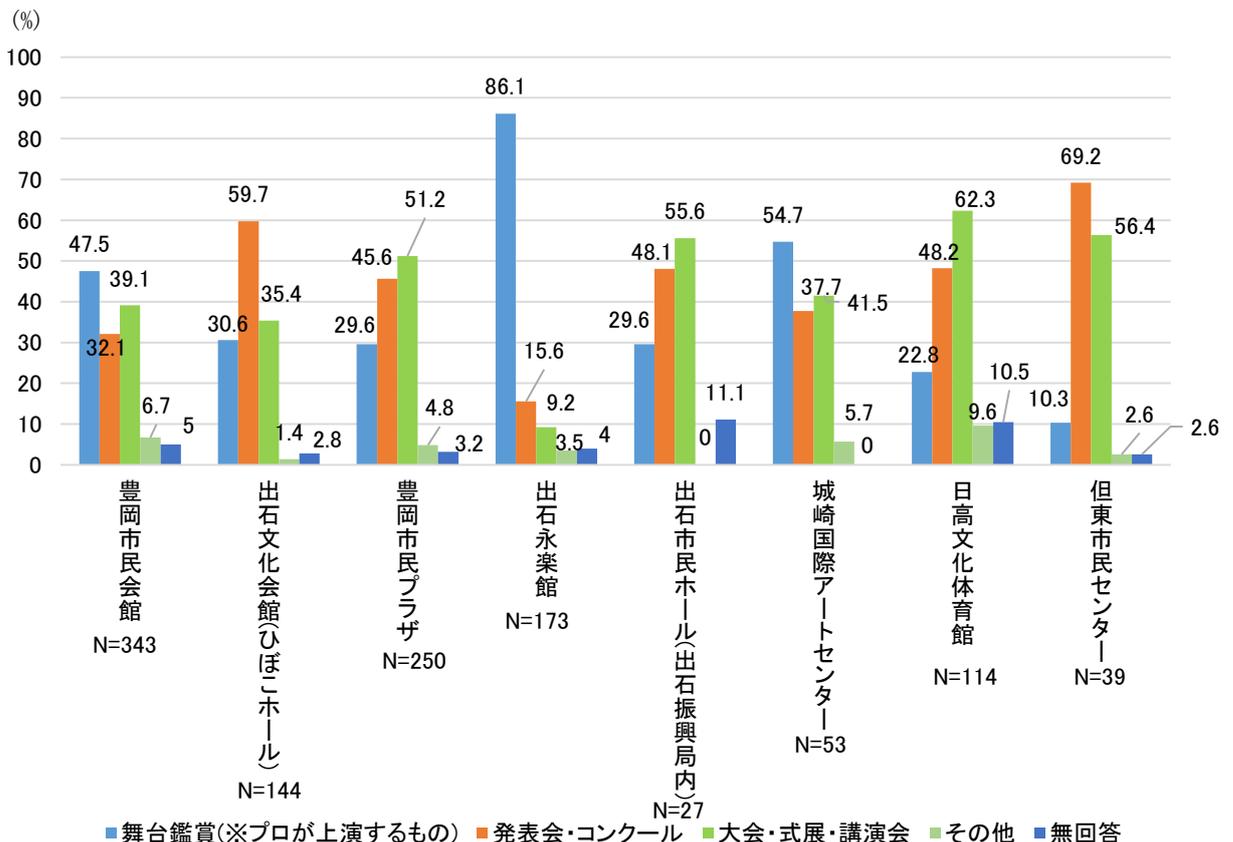
- 手続き・申請 (4)
- 展示会 (3)
- イベント (2)
- 会社の行事 (1)

【城崎国際アートセンター】		
○見学 (3)	○イベント (1)	○講習会・説明会 (1)
【日高文化体育館】		
○運動・試合 (13)	○イベント (3)	○会議 (1)
○展示会 (6)	○式典・大会 (2)	○研修 (1)
○講習会・説明会 (5)	○見学 (2)	
【但東市民センター】		
○式典 (1)	○イベント (1)	

イ 施設での鑑賞ジャンルと施設の魅力

- 各施設の鑑賞ジャンルは、施設の特性によって異なり、出石永楽館は舞台に特化し、ひぼこホール、但東市民センターは発表会がメイン、市民プラザ、出石市民ホール、日高文化体育館は大会式典・講演会が多くなっている。その他、市民会館、城崎国際アートセンターは舞台が最大となっているものの、他用途も多くなっている。
- 施設の魅力としては「自家用車で行きやすい」が多く、アクセスの重要性が分かる。自家用車以外の評価が高いのは、出石永楽館（催し、舞台の見やすさ、施設デザイン）、ひぼこホール（舞台の見やすさ）、城崎国際アートセンター（催し）豊岡市民会館は催しの評価が比較的高くなっている。

<鑑賞のジャンル>



<その他・鑑賞、聴講したジャンル>

【豊岡市民会館】

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| ○映画 (5) | ○発表会 (2) | ○文化祭 (1) |
| ○コンサート (4) | ○イベント (1) | ○会社の行事 (1) |
| ○展示会 (2) | | |

【出石文化会館 (ひぼこホール)】

- 展示会 (1)

【豊岡市民プラザ】

- | | | |
|------------|--------------|----------|
| ○映画 (4) | ○講習会・説明会 (2) | ○展示会 (1) |
| ○芸能 (2) | ○情報収集 (2) | ○舞台 (1) |
| ○会社の行事 (2) | ○コンサート (1) | ○見学 (1) |

【出石永楽館】

- | | | |
|---------|------------|---------|
| ○芸能 (2) | ○コンサート (1) | ○舞台 (1) |
|---------|------------|---------|

【出石市民ホール】

- 記述なし

【城崎国際アートセンター】

- 展示会 (1)

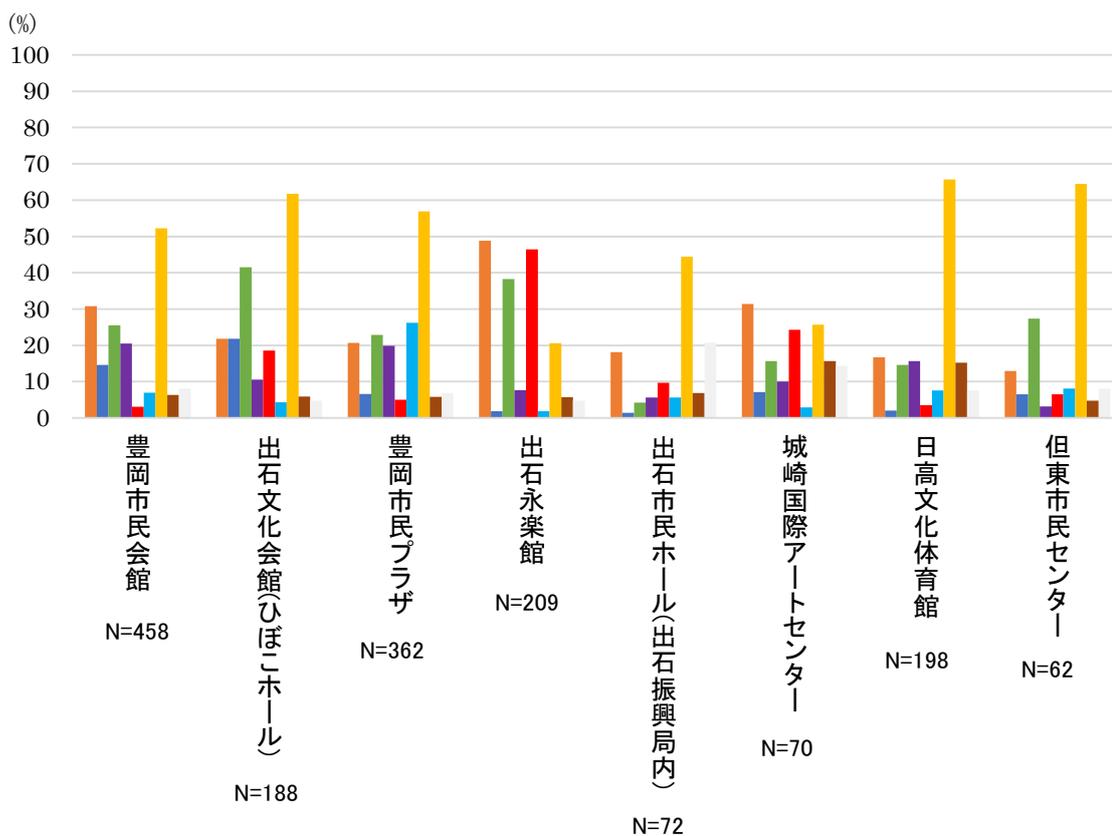
【日高文化体育館】

- | | | |
|-----------|---------|------------|
| ○イベント (3) | ○芸能 (2) | ○会社の行事 (1) |
|-----------|---------|------------|

【但東センター】

- 記述なし

<施設の魅力>



	豊岡市民会館	出石文化会館	豊岡市民プラザ	出石永楽館	出石市民ホール	城崎国際アートセンター	日高文化体育館	但東市民センター
好きな出演者や鑑賞したい (参加したい) 催しをしている	30.8	21.8	20.7	48.8	18.1	31.4	16.7	12.9
音響性能がよい	14.6	21.8	6.6	1.9	1.4	7.1	2	6.5
舞台が見やすい	25.5	41.5	22.9	38.3	4.2	15.7	14.6	27.4
料金が手頃	20.5	10.6	19.9	7.7	5.6	10	15.7	3.2
施設のデザインや雰囲気が良い	3.1	18.6	5	46.4	9.7	24.3	3.5	6.5
公共交通機関で行きやすい	7	4.3	26.2	1.9	5.6	2.9	7.6	8.1
自家用車で行きやすい	52.2	61.7	56.9	20.6	44.4	25.7	65.7	64.5
その他	6.3	5.9	5.8	5.7	6.9	15.7	15.2	4.8
無回答	8.1	4.8	6.9	4.8	20.8	14.3	7.6	8.1

<その他・施設の魅力>

【豊岡市民会館】

- 家から近い (1)
- 規模が大きい (1)
- 予約が取りやすい (1)

【出石文化会館 (ひぼこホール)】

- 家から近い (3)
- 歴史的価値がある (1)
- 規模が程よい (3)
- 客席がステージから近い (1)

【豊岡市民プラザ】

- 商業施設と一体である (6)
- 立地条件がよい (2)
- 規模が程よい (2)
- 家から近い (1)

【出石永楽館】

- 家から近い (3)
- 雰囲気がよい (1)
- 歴史的価値がある (3)

【出石市民ホール】

- 家から近い (3)

【城崎国際アートセンター】

- アーティスト活動を直に見ることが出来る (1)

【日高文化体育館】

- 家から近い (6)
- 広くて利用しやすい (2)
- 冷暖房完備である (3)
- 椅子に座りながら体育館を見学することができる (2)

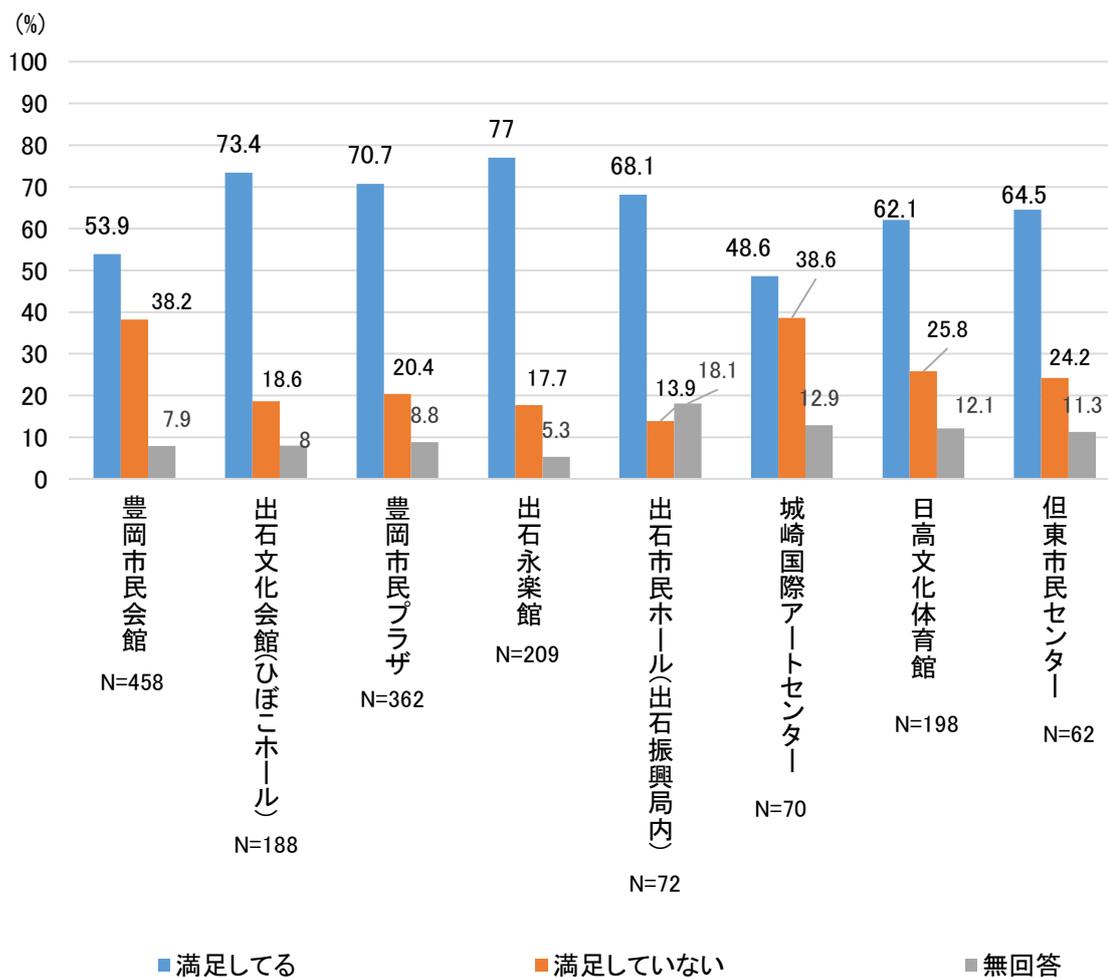
【但東市民センター】

記述なし

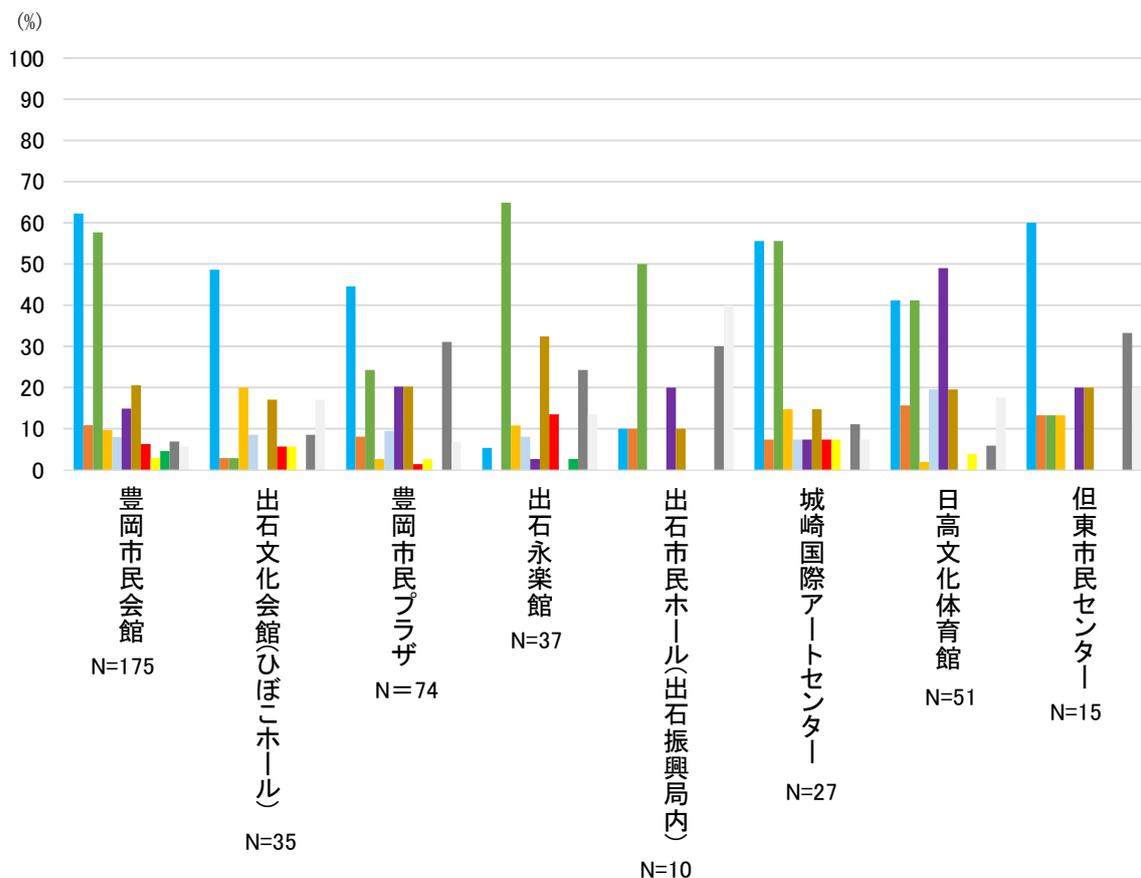
ウ 施設満足度とその理由

- ・ 施設満足度はほとんどの施設で「満足」が半数を大きく上回っていることが分かる。一方で、城崎国際アートセンターと市民会館は「満足」と「満足していない」の差は僅かとなっている。
- ・ 満足していない理由として、「鑑賞したい演目や参加したい事業がない」が全般的に多くっており、駐車場が不足しているという声も多数ある。他にも、施設によって公共交通機関によるアクセス、チケット取得の容易さ、音響、バリアフリー等、不満要因にバラつきが見られる。

<施設満足度>



<施設に満足していない理由>



	豊岡市民会館	出石文化会館	豊岡市民プラザ	出石永楽館	出石市民ホール	城崎国際アートセンター	日高文化体育館	但東市民センター
鑑賞したい演目や参加したい事業がない	62.3	48.6	44.6	5.4	10	55.6	41.2	60
施設の雰囲気が良くない	10.9	2.9	8.1	0	10	7.4	15.7	13.3
駐車場・駐輪場が不足している	57.7	2.9	24.3	64.9	50	55.6	41.2	13.3
公共交通機関を利用して行きにくい	9.7	20	2.7	10.8	0	14.8	2	13.3
舞台が見にくい	8	8.6	9.5	8.1	0	7.4	19.6	0
音響が良くない	14.9	0	20.3	2.7	20	7.4	49	20
建物の造りが良くない (バリアフリー等)	20.6	17.1	20.3	32.4	10	14.8	19.6	20
チケットがとりにくい	6.3	5.7	1.4	13.5	0	7.4	0	0
スタッフが不親切	2.9	5.7	2.7	0	0	7.4	3.9	0
託児サービスが不足している	4.6	0	0	2.7	0	0	0	0
その他	6.9	8.6	31.1	24.3	30	11.1	5.9	33.3
無回答	5.7	17.1	6.8	13.5	40	7.4	17.6	20

<その他・施設に満足していない理由>

【豊岡市民会館】

- 家から遠い (3)
- 席が狭い (3)
- トイレが少ない (2)
- 照明が暗い (1)
- ステージが狭い (1)
- 空調が効かない (1)
- 天井が低い (1)

【出石文化会館 (ひぼこホール)】

- 家から遠い (1)
- 一般人が利用する可能性が少ない (1)
- 規模が小さい (1)

【豊岡市民プラザ】

- 駐車場が不便 (5)
- 椅子が狭い (4)
- 規模が小さい (4)
- ホール入り口が前方にあり、
途中入退室がしづらい (2)
- 動線が悪い (2)
- 出口が分かりにくい (1)
- 家から遠い (1)
- スタッフの対応が悪い (1)

【出石永楽館】

- 車椅子席がない (5)
- トイレが少ない (2)
- 規模が小さい (2)
- 防音機能が弱い (1)
- 駐車場が有料である (1)
- 一般人が利用する可能性が少ない (1)

【出石市民ホール】

- 規模が小さい (2)
- 催し物が少ない (1)
- 家から遠い (1)

【城崎国際アートセンター】

- 情報が入ってこない (2)
- 家から遠い (1)

【日高文化体育館】

- 音響が悪い (1)
- 老朽化している (1)

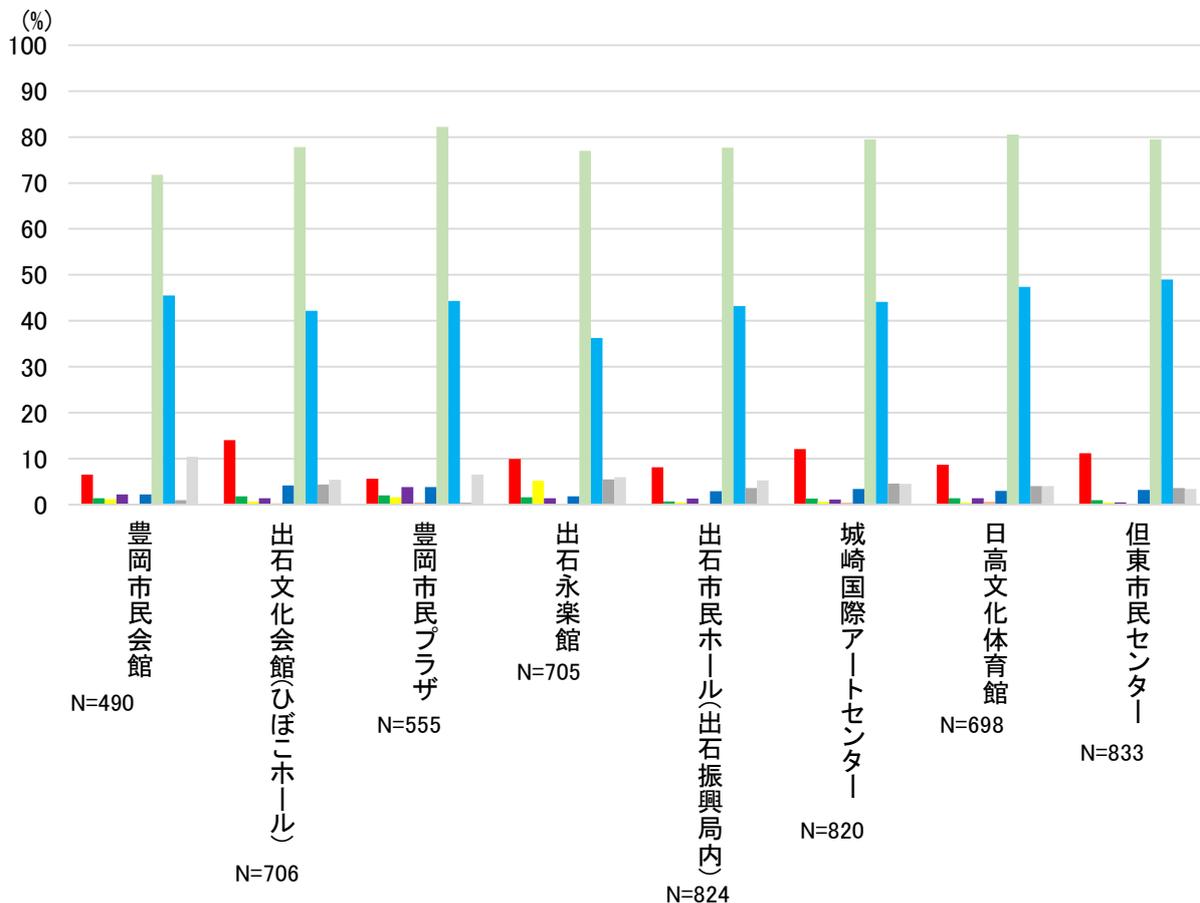
【但東市民センター】

- 家から遠い (1)
- 座席が心地悪い (1)
- 立地条件が悪い (1)
- 情報が入ってこない (1)

エ 施設に来訪しない理由

- 各施設に来訪しない理由は、「利用する機会がない」が最も多く、次いで、「利用する必要がない」、「アクセスが不便」となっている。

<施設に来訪しない理由>



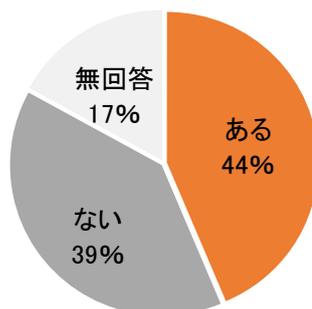
	豊岡市民会館	出石文化会館	豊岡市民プラザ	出石永楽館	出石市民ホール	城崎国際アートセンター	日高文化体育館	但東市民センター
■ アクセスが不便	6.5	14	5.6	9.9	8.1	12.1	8.7	11.2
■ 使用時間に不満	1.4	1.8	2	1.6	0.7	1.3	1.4	1
■ 利用料金に不満	1.2	0.7	1.6	5.2	0.5	0.6	0.4	0.4
■ 施設に不満	2.2	1.4	3.8	1.4	1.3	1.1	1.4	0.5
■ 備品に不満	0.2	0.3	0.4	0	0.1	0.4	0.6	0.2
■ 他市の類似施設を利用している	2.2	4.2	3.8	1.8	2.9	3.4	3	3.2
■ 利用する機会がない	71.8	77.8	82.2	77	77.7	79.5	80.5	79.5
■ 利用する必要がない	45.5	42.2	44.3	36.3	43.2	44.1	47.4	49
■ その他	1	4.4	0.4	5.5	3.6	4.6	4	3.6
■ 無回答	10.4	5.4	6.5	6	5.3	4.6	4	3.4

オ コミュニティセンター

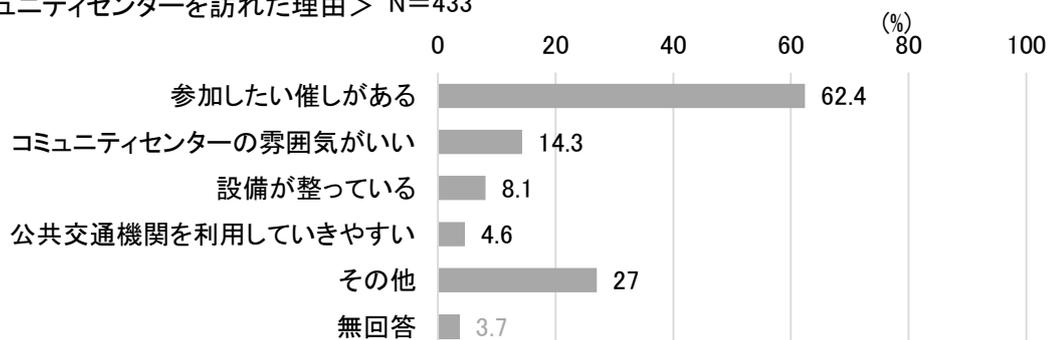
市民のコミュニティセンターの来訪の有無と、その場所、理由は下記の通りである。

- ・ コミュニティセンターの来訪経験があるのは約4割で、特に豊岡地区と五荘地区、日高地区の来訪が多くなっている。
- ・ 施設の訪問理由としては、「参加したい催しがある」が7割を超えている。

<過去3年間の豊岡市内のコミュニティセンター来訪の有無> N=992



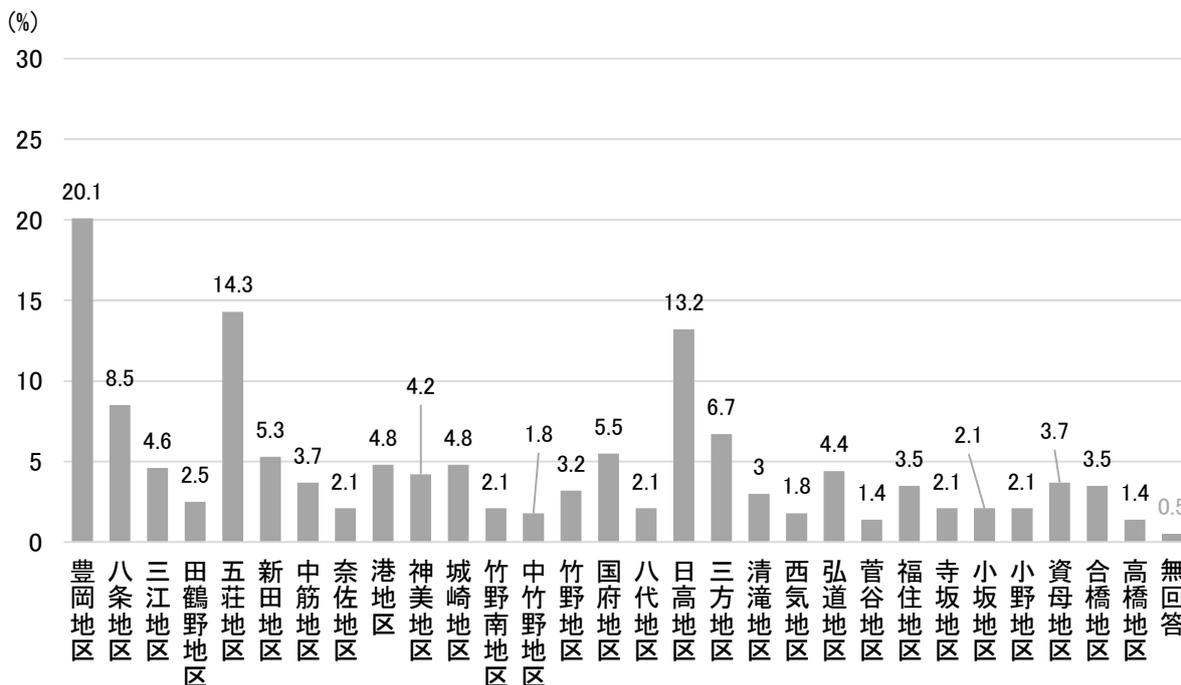
<コミュニティセンターを訪れた理由> N=433



<その他・施設を訪れた理由>

- | | |
|------------|-------------|
| ○イベント (42) | ○サークル活動 (7) |
| ○会議 (25) | ○検診 (4) |
| ○選挙 (9) | ○災害時の避難 (3) |
| ○家から近い (9) | ○会社の行事 (2) |

＜過去3年間に来訪した豊岡市内のコミュニティセンター＞ N=433

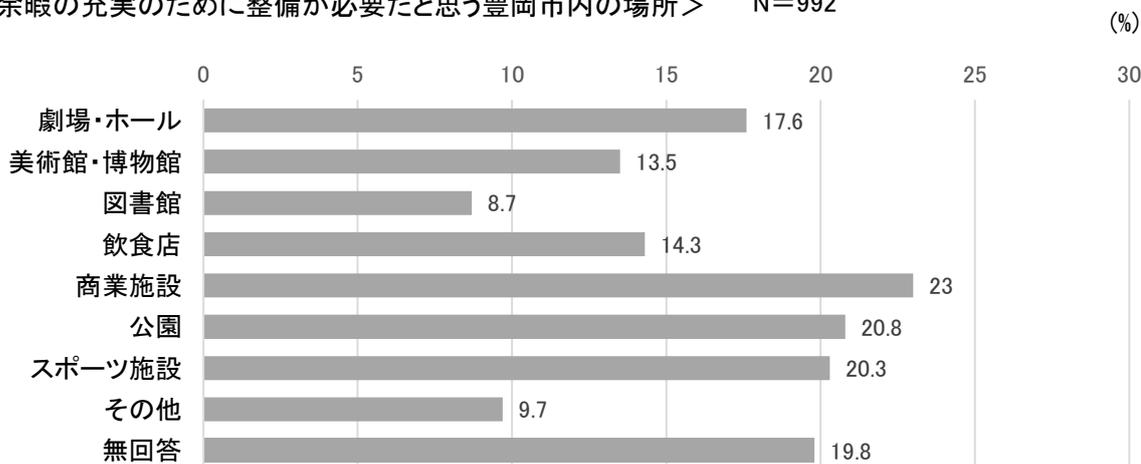


(6) 余暇について

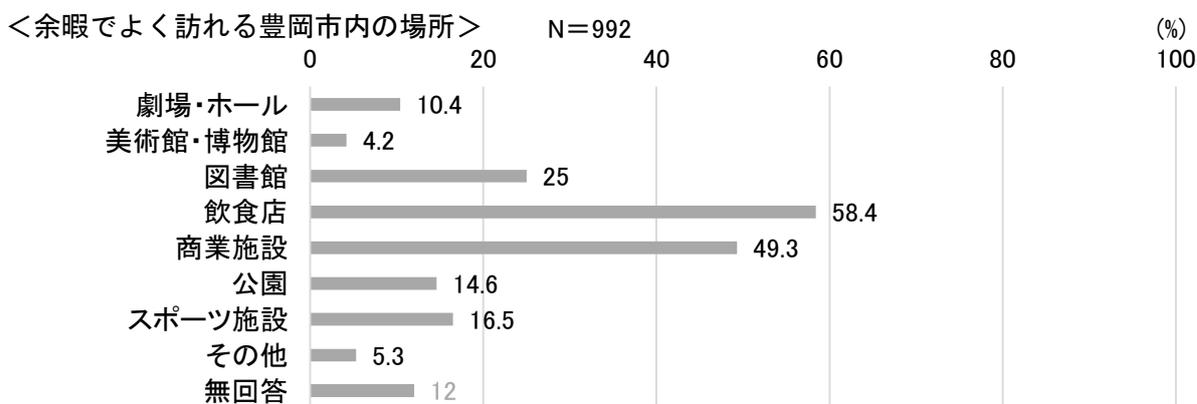
市民が整備が必要だと考える豊岡市内の場所、余暇に訪れる場所は下記の通りである。

- ・ 現在、余暇でよく訪れる場所は、飲食店が 58.4%と半数を超え、商業施設が約半数となっている。
- ・ 一方、余暇の充実のために整備が必要だと思う豊岡市内の場所は、商業施設、公園、スポーツ施設の順に並んでいる。
- ・ 劇場・ホールや美術館・博物館などの文化施設、公園やスポーツ施設などのレクリエーション施設については、整備が必要とする割合が余暇でよく訪れる割合を上回っており、これらの施設に対するニーズが伺われる。

＜余暇の充実のために整備が必要だと思う豊岡市内の場所＞ N=992



- ＜その他・余暇の充実のために整備が必要だと思う豊岡市内の場所＞
- 映画館 (8)
 - 子供の遊び場 (4)
 - テーマパーク・カラオケ (4)
 - 温泉施設 (3)
 - 公園 (3)
 - バッティングセンター (3)
 - ショッピングセンター (3)
 - 雨天で遊べる場 (3)
 - 川沿いの道・ジョギングコース (3)
 - 駐車場 (3)
 - 壁打ち用の壁 (1)
 - 若者の場 (1)
 - 講演会 (1)
 - バス料金 (1)
 - カッター通り (1)
 - 但馬ドーム (1)
 - ウェルストーク (1)
 - 市場 (1)
 - 喫茶店 (1)
 - インテリアショップ (1)
 - 駅通り (1)
 - スキー場 (1)
 - 文具・雑貨 (1)
 - 道路 (1)
 - 大開通り (1)
 - 若者の場 (1)
 - バリアフリー整備済みの場所 (1)
 - 生活環境・経済的支援 (1)
 - 和の空間のある施設 (1)
 - 必要ない (5)



- ＜その他・余暇でよく訪れる豊岡市内の場所＞
- 映画館 (4)
 - 買い物 (2)
 - 自然が豊かな場所 (2)
 - カラオケ・ゲームセンター (2)
 - 温泉 (2)
 - 菅谷地区コミュニティセンター (1)
 - 行かない (13)
 - 歴史的建造物 (1)
 - 病院 (1)
 - スキー場 (1)
 - 高齢者福祉センター (1)
 - 子育てセンター (1)
 - 兵庫県立但馬ドーム (1)
 - 余暇がない (3)
 - 市外 (3)

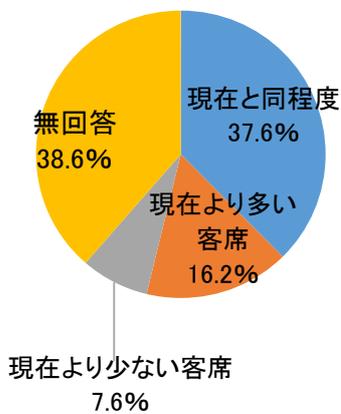
(7) 新施設に望むこと

市民が新施設に望むホール規模、付帯施設は下記の通りである。

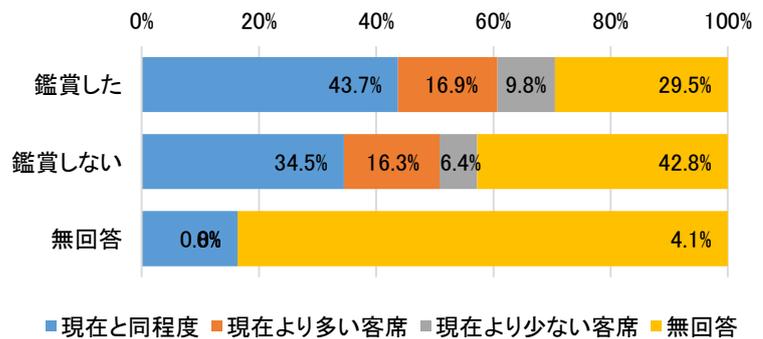
ア ホール規模

- 全体では、現在と同規模、無回答それぞれ約 4 割。現在より多い客席が 16%、現在より少ない客席が 8%となっている。その内、公演鑑賞や文化活動を行っている市民の方が、そうでない市民より大きなホールに対する意向が低い傾向が見られる。

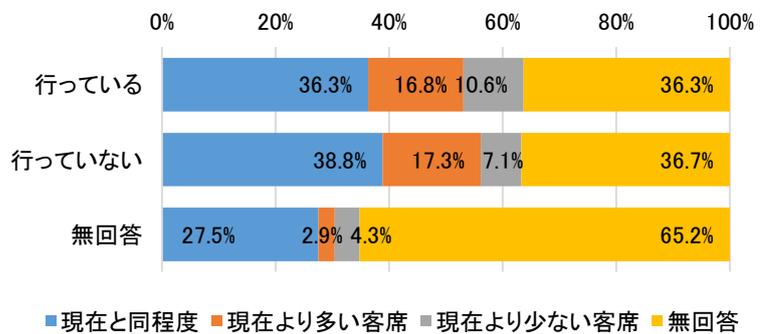
＜望ましいホール規模＞ N=992



＜鑑賞した・しない×客席数＞N=992



＜文化芸術活動した・しない×客席数＞ N=992



＜自由意見・新たな施設に期待する客席規模＞

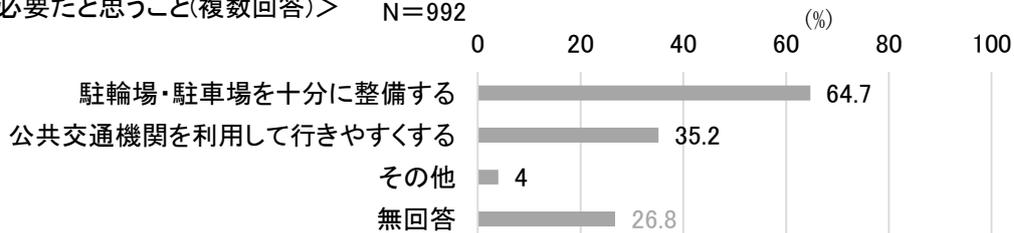
○小・中ホールがほしい (5)	○広さ、キャパの大きさ (2)
○100 席程度の発表会用のホール (2)	○500 席程度の小さなホール (1)

イ 付帯施設

- ・ 自家用車のための駐車場を求める声が半数を超え、その他、バリアフリーの充実、カフェを求める声が3割を超えている。

<立地環境に必要なだと思うこと(複数回答)>

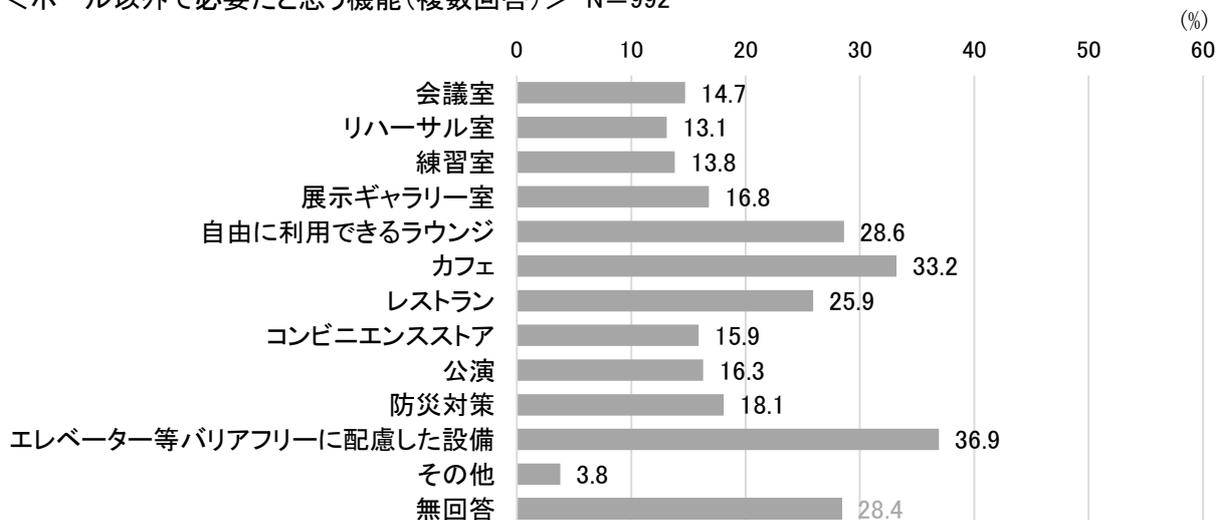
N=992



<自由意見・新たな施設に必要なと思う立地環境>

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------|
| ○防災に強い立地 (5) | ○ロータリー周辺 (1) |
| ○駅からシャトルバス (5) | ○外にトイレ (1) |
| ○市街地 (4) | ○家から近い (1) |
| ○広い駐車場 (3) | ○町中以外の広い場所 (1) |
| ○公共交通機関の整備 (2) | ○旧豊岡市内 (1) |
| ○但東地区 (1) | ○日高町より (1) |
| ○城崎・豊岡地域に集中し過ぎ (1) | ○現在の場所は反対 (1) |
| ○山の中 (1) | ○古代からの歴史上の位置の考慮 (1) |
| ○気軽に行ける場所 (1) | ○広場などの空間活用可能な場所 (1) |
| ○駅から近い (1) | ○施設自体必要ない (1) |
| ○駐車場を機関車がある方へ持って
いく (1) | ○各施設の催しの案内を道路側に表示
してほしい (1) |
| ○公園あり、カフェあり、レストラン
ありの楽しい憩いの場 (1) | ○移動を助けてくれるスタッフ (1) |

<ホール以外に必要なと思う機能(複数回答)> N=992



<自由意見・ホール以外に、新たな施設に必要だと思う機能>

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ○託児サービス (7) | ○多目的ホール (1) |
| ○駐車場 (3) | ○雨天時利用可 (1) |
| ○広場・遊び場 (2) | ○施設の集約化 (1) |
| ○体育館・スポーツ施設 (2) | ○出演者の控室 (1) |
| ○防音設備のある練習室、教室 (2) | ○イオンモール (1) |
| ○コンビニ (2) | ○イオンモール (1) |
| ○ATM (1) | ○映画館 (1) |
| ○200 席程度の小ホール (1) | ○ドーム (1) |
| ○更衣室 (1) | ○茶室 (1) |
| ○キッチン (1) | ○トイレ (1) |
| ○空調設備 (1) | ○木、花、自然をめぐる環境 (1) |
| ○災害時の避難場所 (1) | |

ウ 新たな施設に期待すること<自由意見>

【設備・施設・空間】

- | | |
|------------------------------------|--|
| ○良い舞台機構・空調 (37) | ○後世残せる施設 (3) |
| ○充実した駐車場・駐輪場 (33) | ○出演者動線・環境がいい (2) |
| ○複合型施設(映画館・スポーツ施設・
図書館) (14) | ○ピアノ・パイプオルガン設備 (2) |
| ○座席シートのグレード (12) | ○可動式の座席の多目的ホール (2) |
| ○バリアフリー (9) | ○エレベーターの充実 (2) |
| ○トイレ・障害者用トイレの充実 (8) | ○テーマパーク・アトラクション・レジヤ
ー (2) |
| ○現状で満足・新施設不要 (8) | ○小さな会館でもいいからすべてにこだわ
ったつくり (2) |
| ○植木や庭園がある遊歩道や広場 (7) | ○円形舞台 (1) |
| ○洗練された空間 (7) | ○観客席の出入り口の二重化 (1) |
| ○気軽に出入りできる雰囲気 (6) | ○整備された練習部屋 (1) |
| ○見やすい舞台 (5) | ○クロークの充実 (1) |
| ○地産の売店・マーケット・スーパー (5) | ○個人利用できるギャラリースペース (1) |
| ○防災設備 (4) | ○身体で感じて心に残せる施設 (1) |
| ○レストランやカフェの充実 (4) | ○文化施設ゾーンの構築 (1) |
| ○豊岡の名所になるような外観 (4) | ○小動物に触れられる (1) |
| ○インターネット・Wifi の充実 (3) | ○旧 1 市 5 町産の木材をふんだんに活用し
た暖かみのある木造施設 (1) |
| ○ユニバーサルデザイン (3) | |
| ○周辺にも集まりやすい施設があり、
街並みに魅力がある (3) | |

【運営面】

- 老若男女問わず鑑賞・利用できる (22)
- 利用料金が安い (10)
- 魅力的で多様な公演の企画 (9)
- 広域・都会から集客できる仕組みづくり (9)
- 地域の人が参加しやすい (6)
- 多種多様なスポーツ (3)
- 有名アーティストを呼ぶ (3)
- 充実した展示 (2)
- 市民が自ら運営に関われる (2)
- ロビー等公共の場の提供 (2)
- 充実した託児サービス (2)
- 市内文化施設をリードしていくような長期的ビジョンを持った事業展開 (2)
- 但馬から甲子園出場高校を目指す (1)
- 世間と同時期の映画上映 (1)
- 朗読・ドラマリーディングができる (1)
- 都会の施設に準じた鑑賞演目 (1)
- 豊岡の食を発信してほしい (1)
- 働いている人向けの夕方以降の講座 (1)
- レベルの高い舞台演出 (1)
- 市内の特色ある劇場との連携 (1)
- 美術展の開催 (1)
- イベントができる (1)
- イルミネーション (1)
- スタッフの充実 (1)
- 介護の一部として利用可能なシステム (1)
- ホテル並みの接遇 (1)
- 営業時間を長くして欲しい (1)
- チケットが簡単に取れる (1)
- 少人数で落ちついて見られる (1)
- 海・山の観光地を巻き込む (1)
- 維持管理費用の低減 (1)
- 財政が潤いに繋がる仕組み (1)
- 税金を使わないでほしい (1)
- もっと意見を求めて欲しい (1)
- 目的の明示 (1)
- 情報が入手しやすい (1)
- 愛称をつけてほしい (1)
- 「このとり」という愛称はやめてほしい (1)
- 夜間の公共交通 (1)
- 施設スタッフによる舞台設備の利用のバックアップ体制 (1)
- プロの接遇ができる非常勤スタッフの雇用 (1)
- 一人でも気軽に参加できるイベントの企画 (1)
- 新しい変化に対応できるような順応性のある施設であってほしい (1)
- 建設においてすべての業種に豊岡市の業者に建設させ、市に税金を入れたい (1)

エ 新たな施設で鑑賞したいこと＜自由意見＞

【音楽】

- オーケストラ／クラシック／吹奏楽
／室内楽 (52)
- ジャズ (3)
- ポップス／ロック (39)
- 合唱／声楽／アカペラ (2)
- 音楽祭・野外音楽鑑賞 (5)
- 外国人音楽鑑賞会 (1)
- オペラ (5)
- 自衛隊の音楽演奏 (1)

【演劇系】

- ミュージカル (2.5次元・宝塚・ディズニー含む) (23)
- 演劇 (15)
- 伝統芸能 (歌舞伎・能・狂言・舞踊等) (20)
- 朗読 (1)
- 演芸 (落語、お笑い) (16)
- サーカス (1)

【舞踊】

- ダンス (1)

【鑑賞・観戦活動】

- 映画 (25)
- 定期公演 (1)
- 子ども向け鑑賞 (9)
- 野球観戦 (1)
- 質の高い自主事業 (3)
- NHKのど自慢 (1)
- 都市部でしか観られないもの (3)
- 嵐のワクワク学校 (1)
- 多様なジャンル (2)
- 専門職大学および城崎アートセンターと連動させた公演 (1)

【生活】

- 書道 (2)
- 陶芸 (1)
- 手芸 (1)
- 生け花 (1)

【集会・講演会】

- 講演会 (3)

【展示】

- 展示会 (美術・写真・豊岡鞆) (9)

【健康】

- スポーツ (5)

【施設・設備】

- 新たな施設は要らない (6)
- 合併前の施設を集約して再検討 (1)
- 音響が良い (6)
- 全天候型のドーム (1)
- 住民の施設活用 (1)
- 出石ホールの改築 (1)

【その他要望・意見】

- 交通の便の改善 (7)
- アーティストの卵向けの企画考案 (1)
- 参加しようと思わない (6)
- 少人数で楽しめる企画考案 (1)
- 地域に密着した演目の上演 (1)
- 掲示板で外へアピールする (1)
- 各公演ランダムに選ばれた市民にプレゼントするチケットを作る (1)
- 防災などの安全性の確保 (1)

オ 新たな施設で参加したいこと＜自由意見＞

【音楽】

- コンサート・ライブ (7)
- 有名アーティストの公演 (1)
- 声楽・合唱 (6)

【演劇系】

- 舞台・演劇 (3)
- 朗読・ドラマリーディング (1)
- 伝統芸能 (3)

【演芸】

- お笑いライブ (2)

【舞踊】

- 子どもと一緒に楽しめる歌・ダンス (1)

【鑑賞・観戦活動】

- 映画 (5)

【健康】

- スポーツ・ジム (11)
- 美味しいものを食べる (2)
- 新しいスポーツ (2)
- グランドゴルフ場 (1)

【イベント】

- 子ども向けの催し (4)
- ユーチューバーのイベント (1)
- 高齢者向けイベント (2)
- キャンプファイヤー (1)
- 芸能・文化祭 (2)
- 学校・地域の行事 (1)
- 教育に関するイベント (1)

【集会・講演会】

- 講演会・討論会・座談会 (7)
- ワークショップ (3)

【展示】

- 展示会 (2)

【学習・学び】

- 習い事教室・サークル活動 (11)
- 参加したくない・できない (8)

【施設・設備】

- 防災対策 (3)
- 高齢者でも行きやすい環境 (3)
- 子どもと遊べるアトラクション (2)
- カフェ・レストラン (1)
- 健康維持のためのアドバイザーがいる施設 (1)
- 雨天体操場 (1)
- 公園 (1)
- 温水プール (1)
- 図書館 (1)
- 雨天体操場 (1)

【その他意見】

- 参加したくない・できない (8)

4 市民ワークショップの結果

(1) 第1回市民ワークショップ概要

日 時: 2018年12月9日(日) 14時~16時

場 所: 豊岡市民会館 大会議室

参加人数: 18名(男12名、女6名)

事務局: 豊岡市民会館 4名、(株)シアターワークショップ 4名

ア 内容

テーマ: 「豊岡市のまちじまん・文化じまん」

ワークショップの事始めとして、市民から日ごろ豊岡に対して思っていることを気軽に書いて共有するという取り組みを行った。

時刻	内容
14:00~14:05	市あいさつ(5分)
14:05~14:10	導入 ・ワークショップの目的のご説明
14:10~14:30	参加者自己紹介(20分)
14:30~14:35	ワークショップのやり方のご説明(5分)
14:35~15:25	グループワーク「豊岡のまちじまん・豊岡の文化じまん」(50分)
15:25~15:50	各班発表(25分)
15:50	今後の予定、次回予告(5分)
15:55	なんでもアンケートの記入(5分)
16:00	終了

イ 参加者のご意見 (抜粋)

○グループワークのご意見

【豊岡のまちじまん】

産 業 日本一のかぼんの街／土木会社が多い(土木の神様アメリポコ) 等

食 べ 物 カニ／但馬牛／海産物おいしい 等

観 光 城崎や出石の町並み／歴史的な建物が多い／温泉がある 等

自 然 コウノトリ／円山川／豊かな自然に恵まれている／山陰ジオパーク 等

【豊岡の文化じまん】

拠 点 永楽館／城崎国際アートセンター／お菓子の神様中嶋神社 等

著 名 人 加藤弘之、植村直己、伊藤清永 等

活 動 合唱団が多い／吹奏楽が盛ん／市による文化芸術による街づくり構想 等

歴 史 街ごとに独自の歴史・文化がある／出石城 等

【豊岡のまちにあったらいいこと(足りないこと)】

- ・交通が乏しい
- ・市民が交流する場が少ない
- ・若い人が住みたいと思える施設や設備が少ない
- ・企業が芸術などを支援してくれる仕組みがあったらよい 等

【豊岡の文化に思うこと(足りないこと)】

- ・旧市町ごとの活動、バラバラ、一体感の欠如
- ・文化情報が希薄
- ・芸術に触れる機会が少ない 等



(2) 第2回市民ワークショップ概要

日 時: 2018年12月20日(木) 19時~21時

場 所: 豊岡市民会館 大会議室

参加人数: 18名(男8名、女10名)

事務局: 豊岡市民会館 4名、(株)シアターワークショップ 4名

ア 内容

テ マ: 「新しい施設の年間スケジュールを考えよう！」

かわら版の名称を決定した。それと同時に、既にある豊岡市内のイベントと、開催・参加したいイベントを季節ごとに整理し、新施設の年間イベントスケジュールの考案する取組みを行った。

時刻	内容
19:00~19:05	あいさつ(5分)
19:05~19:20	導入 ・前回の振り返り~かわら版の名称決め(15分)
19:20~19:30	ワークショップの進め方、お約束について(10分)
19:30~19:30	グループワーク「新しい施設の年間スケジュールを考えよう！」(60分)
19:30~19:50	グループ発表(20分)
19:50~21:00	次回予告・なんでもアンケート(10分)

イ 参加者のご意見 (抜粋)

○グループワークのご意見

【春】

ステージイベント Spring コンサート/シニアコンサート/小・中・高向け音楽会/合唱隊 等

展覧会 生花展/造形展 等

その他 菓子祭り/子ども映画祭り/花見/能楽/サーカス 等

【夏】

ステージイベント 吹奏楽コンクール/おんぷの祭典/子ども芸能発表会/市民演劇祭 等

展覧会 絵画展/書道展/花展 等

講座・交流・練習 奏法講習/民謡教室/体操教室/工作教室/講談教室 等

その他 かばん見本市/盆踊り大会/豊岡温泉ツアー 等

【秋】

ステージイベント ブラスフェスタ/朗読劇/演劇/市民芸能祭/但馬合唱祭/観月会 等

展覧会 全国かな書展/豊岡市展/美術展/手工芸展 等

講座・交流・練習 地域シンポジウム/講演会/秋のお茶会 等

その他 ハロウィン祭り/社会福祉フェスタ/柳まつり/フリーマーケット 等

【冬】

ステージイベント 第九コンサート/クリスマスコンサート/カウントダウンコンサート/歌舞伎等

展覧会 絵画展・美術展 等

その他 骨董市/文化祭/お茶会/福祉祭 等

【通年】

ステージイベント バレエ/ミュージカル/ポップスコンサート/ロックコンサート/能楽/落語等

講座・交流・練習 ヨガ教室/歌舞伎教室/ダンス教室/書道教室/絵画教室 等

その他 フリーマーケット/ハンドメイド市/骨董市 等



(3) 第3回市民ワークショップ概要

日 時: 2019年1月26日(土) 14時~16時

場 所: 豊岡市民会館 大会議室

参加人数: 17名(男10名、女7名)

事務局: 豊岡市民会館 4名、(株)シアターワークショップ 4名

ア 内容

テーマ: 「必要な機能や施設を考えよう！」

第2回ワークショップで出された意見、開催したいイベント・講座などを行うには、どのような機能があればいいのか、どのような施設であればいいのかを考案する取り組みを行った。

時刻	内容
14:00~14:05	あいさつ(5分)
14:05~14:25	導入 ・前回の振り返り(5分) ・事例のご紹介(15分)
14:25~14:35	ワークショップの進め方、お約束について(10分)
14:35~15:35	グループワーク「必要な機能や施設を考えよう！」(60分)
15:35~15:55	グループ発表(20分)
15:55~16:00	次回予告・なんでもアンケート(5分)

イ 参加者のご意見 (抜粋)

○グループワークのご意見

【ホール】

大ホール 現在と同程度の1000~1200席/小ホールとの舞台共有/多機能ホール 等

中ホール 400~500席/500~600席/600席 等

小ホール 200~300席/200~350名程度の可動式ホール/多目的で300~500席 等

その他 車椅子席の設置/ガラス張りの親子鑑賞ルーム/広い搬入スペース 等

【楽屋】

・ホール横に設置

・個室5、男女別20名程度の大部屋2~3、中部屋、小部屋、洗面場、シャワールーム 等

【練習室・リハーサル室】

・ホール・舞台に近く、同時並行で使える、舞台と同サイズの遮音完備のリハーサル室

・コンクールなどのチューニングができる部屋/ソロ使用できる部屋5~10 等

【展示室】

・衣装、楽器、美術本などの展示スペース/大・小ギャラリー

- ・天井高 4m 以上を確保したオープンスペース
- ・天井のレールによって多角的に移動、設置、大きさの可変が出来る展示パネル 等

【工房・アートファクトリー】

- ・アトリエ(工作室)/アートワークショップの出来る部屋とその準備室、作品収蔵室の設置 等

【フリースペース/図書・学習室】

- ・勉強、談話、作業の出来る無料スペース
- ・芸術関係・CD・DVD が充実した図書室兼、他のホール美術館等の情報スペース 等

【交通関係】

- ・直接建物に入れる、500 台以上収容可能な立体駐車場
- ・大型バスが駐車できるスペース 等



豊岡市新文化会館整備基本構想

平成 31 年 3 月

発行 豊岡市役所
豊岡市地域コミュニティ振興部 文化振興課 豊岡市民会館
〒668-0046 兵庫県豊岡市立野町 20 番 34 号
TEL 0796-23-0255 FAX 0796-24-0952
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>
E-mail shiminkaikan@city.toyooka.lg.jp

編集協力 株式会社 シアターワークショップ
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6 丁目 23 番 3 号
TEL 03-5766-3555 FAX 03-6433-5390